

遠野市教育委員会の権限に属する
事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価報告書
(平成28年度実施事業)



遠野市教育委員会関係機関 共通ロゴマーク
(平成27年7月10日制定)

平成29年10月
遠野市教育委員会

目 次

I	はじめに	1
II	教育委員会の活動	2
1	遠野市教育委員会の構成	2
2	教育委員会の会議の招集状況	2
3	教育委員会の会議の審議及び協議の状況	2
(1)	教育委員会定例会及び臨時会	2
(2)	総合教育会議	5
4	教育委員会の会議以外の活動状況	7
III	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価の結果	13
1	ふるさと教育の推進	16
(1)	就学前教育の充実	16
(2)	学校教育の充実	20
(3)	高等学校への支援	33
2	生涯学習の推進	35
(1)	社会教育の充実	35
(2)	芸術文化活動の推進	39
3	ふるさとの文化の継承・創造	40
(1)	郷土文化の保存と活用	40
(2)	文化財の保護と継承	43
(3)	郷土の文化を生かした地域創生	47
4	健康づくりの推進	50
(1)	健康づくり活動の推進	50
5	子育て支援の推進	54
(1)	少子化対策・子育て支援	54
IV	外部評価の実施	59

【附属資料】

資料1 第2次 遠野市総合計画 前期基本計画 平成28年度まちづくり指標実績
(第2期 遠野市教育振興基本計画掲載事業関連 34指標)

資料2 平成28年度 主要な施策の成果説明
(第2期 遠野市教育振興基本計画掲載事業関連 47事務事業)

掲載事務事業一覧

ページ	基本方針	方向	展開	事業費の名称	担当課
16	1	(1)	①	わらすっこプラン推進事業費	子育て総合支援課
17	1	(1)	②	わらすっこの育ち療育支援事業費	子育て総合支援課
17	1	(1)	②	障害児通所支援事業費	子育て総合支援課
18	1	(1)	②	保育所等運営事業費	子育て総合支援課
19	1	(1)	②	幼稚園応援事業費	子育て総合支援課
20	1	(2)	①	体育・文化行事奨励費	学校教育課
20	1	(2)	①	外国語指導助手招へい事業費	学校教育課
21	1	(2)	①	特色ある学校づくり事業費	学校教育課
21	1	(2)	①	平成・南部藩寺子屋交流事業費	学校教育課
22	1	(2)	①	特別支援教育推進事業費	学校教育課
22	1	(2)	①	遠野わらすっこ「夢の教室」事業費	学校教育課
23	1	(2)	①	いじめ防止等総合対策事業費	学校教育課
23	1	(2)	①	学力向上対策事業費	学校教育課
24	1	(2)	①	特定教科集中対策事業費	学校教育課
25	1	(2)	②	通学対策費（小学校）	教務課
26	1	(2)	②	教材整備費（小学校）	教務課
26	1	(2)	②	就学援助費（小学校）	教務課
27	1	(2)	②	特別支援教育関係費（小学校）	教務課
27	1	(2)	②	小学校プール整備事業費	教務課
27	1	(2)	②	通学対策費（中学校）	教務課
28	1	(2)	②	教材整備費（中学校）	教務課
29	1	(2)	②	就学援助費（中学校）	教務課
29	1	(2)	②	特別支援教育関係費（中学校）	教務課
30	1	(2)	②	中学校屋内運動場整備事業費	教務課
30	1	(2)	②	プール改修事業費（繰越明許費）	教務課
31	1	(2)	③	学校給食事業費	学校給食センター
32	1	(2)	④	地域教育文化振興事業費	生涯学習スポーツ課
33	1	(3)	①	育英事業費	教務課
34	1	(3)	①	高校魅力化サポート事業費	中高連携サポート室
35	2	(1)	①	学びのまちづくり推進事業費	生涯学習スポーツ課
36	2	(1)	①	若者と女性の活躍推進事業費	生涯学習スポーツ課

ページ	基本方針	方向	展開	事業費の名称	担当課
37	2	(1)	③	青少年健全育成活動事業費	生涯学習スポーツ課
38	2	(1)	⑤	放課後子どもプラン推進事業費	生涯学習スポーツ課
39	2	(2)	②	芸術文化振興事業費	生涯学習スポーツ課
40	3	(1)	①	博物館費	文化課
41	3	(1)	②	図書館費	文化課
42	3	(1)	②	ブックスタート事業費	文化課
42	3	(1)	①	視聴覚教育振興費	文化課
43	3	(2)	①	文化財調査保護費	文化課
43	3	(2)	③	埋蔵文化財発掘調査費	文化課
44	3	(2)	①	重要文化財千葉家住宅整備事業費	文化課
45	3	(2)	①	重要文化財千葉家住宅整備事業費（継続費）	文化課
45	3	(2)	①	文化的景観保存事業費	文化課
45	3	(2)	①	歴史文化基本構想策定事業費	文化課
46	3	(2)	③	遠野遺産認定事業費	文化課
47	3	(3)	①	遠野文化調査研究費	調査研究課
48	3	(3)	②	遠野「語り部」1000人プロジェクト事業費	調査研究課
48	3	(3)	③	「遠野市史」編さん事業費	市史編さん室
50	4	(1)	①	健康スポーツプログラム推進事業費	生涯学習スポーツ課
51	4	(1)	①	子どもの体力づくりプログラム推進事業費	生涯学習スポーツ課
51	4	(1)	②	競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	生涯学習スポーツ課
52	4	(1)	③	ぱすぼる推進事業費	総合食育推進課
54	5	(1)	①	家庭児童・女性相談事業費	子育て総合支援課
55	5	(1)	①	児童福祉事務費（繰越明許費）	子育て総合支援課
55	5	(1)	①	看護保育安心サポート事業費	子育て総合支援課
55	5	(1)	①	わらすっこの居場所事業費	子育て総合支援課
56	5	(1)	②	児童扶養手当給付費	子育て総合支援課
56	5	(1)	②	子育て応援宣言のまち推進事業費	子育て総合支援課
58	5	(1)	②	児童館施設整備事業費	子育て総合支援課

I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第 162号）第26条第 1 項の規定に基づき、すべての教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

また、この点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

この報告書は、遠野市教育委員会（一部の事業にあっては、首長部局）が平成28年度に実施した施策、事業等の管理及び執行の状況を、第 2 期 遠野市教育振興基本計画（計画年度：平成28年度から平成37年度まで）の施策体系ごとにまとめ、点検及び評価を実施し、その結果を公表するものです。

また、附属資料として、平成29年 9 月に遠野市議会に提出された「地方自治法（昭和22年法律第67号）第 233条第 5 項に規定する決算に係る主要な施策の成果を説明する書類（主要な施策の成果説明書）」のうち、第 2 期 遠野市教育振興基本計画に登載している事業に関連する部分を抜粋して掲載しています。

II 教育委員会の活動

1 遠野市教育委員会の構成

(平成29年10月1日現在)

職名	氏名	任期
教育長	中 浜 艶 子	平成28年4月1日から平成31年3月31日まで
委員 (教育長職務代理者)	角 田 直 樹	平成28年11月26日から平成32年11月25日まで
委員	千 田 由美子	平成27年11月26日から平成31年11月25日まで
委員	菊 池 崇	平成28年4月1日から平成32年3月31日まで
委員	菊 池 和 子	平成28年6月17日から平成30年11月25日まで

2 教育委員会の会議の招集状況

平成28年度は、定例会を毎月1回(計12回)、臨時会を2回(2月及び3月)、計14回会議を招集しました。

3 教育委員会の会議の審議及び協議の状況

(1) 教育委員会定例会及び臨時会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条及び遠野市教育長に対する事務委任規則(平成17年遠野市教育委員会規則第7号)第2条に規定する事項のうち、平成28年度に教育委員会定例会及び臨時会において審議した案件は、28件です。

【議案の性質別件数】

分類	項 目	件 数
1	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	1
2	教育委員会の規則及び訓令の制定又は改廃に関すること	9
3	学校その他の教育機関の施設、設備、組織編制、教育課程、教材の取扱いその他管理運営の基本方針を定めること	2
4	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること	—

5	職員の人事異動の方針を定めること	1
6	職員の分限、懲戒、任免、給与その他の人事を行うこと（県費負担教職員の任免その他の進退に関する内申を含む。）	5
7	附属機関の委員の任免に関すること	8
8	文化財の指定及び解除並びに修理又は復旧の勧告及び現状変更の許可に関すること	—
9	表彰に関すること	1
10	教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価に関すること	1
計		28

【平成28年度 教育委員会会議 提出議案一覧】

議案番号	件名	提出日	決議	分類
平成28年4月定例会				
16	遠野市総合食育センター運営審議会委員の解嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成28年4月25日	承認	7
17	遠野市就学指導委員会委員の任免の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成28年4月25日	承認	7
18	遠野市奨学生選考委員会委員の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成28年4月25日	承認	7
19	遠野市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成28年4月25日	承認	2
20	遠野市教育委員会専決代決規程の一部を改正する訓令の制定の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成28年4月25日	承認	2
平成28年5月定例会				
21	遠野市教育委員会委員の辞職につき同意を求めることについて	平成28年5月25日	可決	6
平成28年6月定例会				
22	遠野市民センター運営協議会委員の委嘱に関し議決を求めることについて	平成28年6月22日	可決	7
23	遠野市総合食育センター運営審議会委員の解嘱及び委嘱に関し議決を求めることについて	平成28年6月22日	可決	7

議案 番号	件 名	提出日	決議	分類
平成28年7月定例会				
24	平成29年度使用小学校教科書用図書の採択に関し議決を求めることについて	平成28年 7月22日	可決	3
25	平成29年度使用中学校教科書用図書の採択に関し議決を求めることについて	平成28年 7月22日	可決	3
平成28年8月定例会				
26	平成28年度遠野市教育委員会表彰の受賞者に関し議決を求めることについて	平成28年 8月24日	可決	9
平成28年9月定例会				
27	遠野市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について	平成28年 9月29日	可決	2
28	遠野市教育委員会の権限に属する事務の一部の委任及び補助執行に関する規則の一部を改正する規則の制定について	平成28年 9月29日	可決	2
29	遠野市教育長の権限に属する事務の委任に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	平成28年 9月29日	可決	2
30	遠野市教育委員会事務局職員等の服務規程の一部を改正する訓令の制定について	平成28年 9月29日	可決	2
31	遠野市立小中学校で使用する諸表簿の様式を定める規程の一部を改正する訓令の制定について	平成28年 9月29日	可決	2
平成28年10月定例会				
32	教育委員会事務局職員等の人事の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成28年 10月28日	承認	6
33	平成29年度遠野市立小中学校教職員の定期人事異動方針に関し議決を求めることについて	平成28年 10月28日	可決	5
平成28年12月定例会				
34	遠野市総合食育センター運営審議会委員の解嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成28年 12月22日	可決	7
35	遠野市総合食育センター運営審議会委員の委嘱に関し議決を求めることについて	平成28年 12月22日	可決	7
平成29年2月定例会				
1	平成29年度遠野市教育行政推進の基本方針に関し議決を求めることについて	平成29年 2月15日	可決	1

議案 番号	件 名	提出日	決議	分類
平成29年 2 月臨時会				
2	遠野市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令の制定について	平成29年 2月24日	可決	2
3	平成29年度教職員定期人事異動の内申に関し議決を求めることについて	平成29年 2月24日	可決	6
平成29年 3 月臨時会				
4	教育委員会事務局職員等の人事に関し議決を求めることについて	平成29年 3月14日	可決	6
平成29年 3 月定例会				
5	教育委員会事務局職員等の人事の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成29年 3月22日	承認	6
6	遠野市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について	平成29年 3月22日	可決	2
7	遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価に関し議決を求めることについて	平成29年 3月22日	可決	10
8	遠野市文化財保護審議会委員の委嘱に関し議決を求めることについて	平成29年 3月22日	可決	7

(2) 総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（平成27年4月1日施行）により、首長は、首長及び教育委員会で構成する「総合教育会議」を設けることとされています。

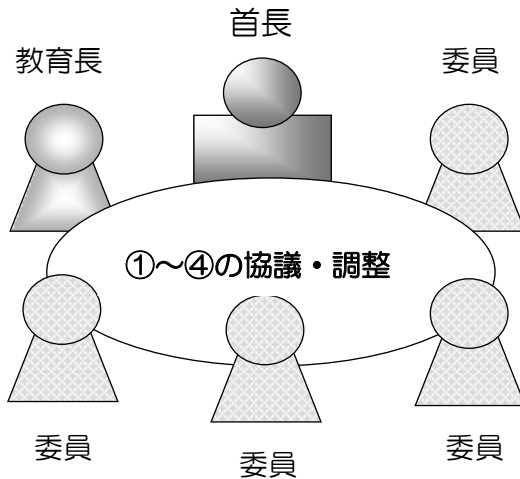
総合教育会議は、首長と教育委員会とが、対等な執行機関として相互の十分な意思疎通を図るため、下の図に掲げる協議や調整を行い、地域における教育に関する課題やあるべき姿を共有することにより、より一層の民意を反映した教育行政を推進することを目的としています。

平成28年度においては4回招集され、以下の内容に関する協議が行われました。

開催期日等	協議内容
第1回 平成28年7月1日	魅力ある高校づくり応援事業 アクションプランの策定に向けた意見交換
第2回 平成28年8月25日	学力向上に向けた取組について
第3回 平成28年11月4日	市内小・中学校施設の環境整備プランについて

回数・開催期日	協議内容
第4回 平成29年1月10日	(1) 中高連携サポート・アクションプラン（案）について (2) 市内保育施設及び児童館の整備について

【総合教育会議の概要】



※ 市長の諮問を受けて調査・研究・審議を行う「附属機関」には当たらないとされている。

- 首長が招集する。
- 会議は原則として公開する。
- 構成員は首長と教育委員会。
(必要に応じて、意見聴取者の出席を要請する。)

- 「協議」とは・・・
幅広く行われる、首長と教育委員会相互の自由な意見交換。
- 「調整」とは・・・
教育委員会の権限に属する事務と、首長の権限に属する事務の調和を図ること。

- ① 教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定に関する協議
- ② 教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策についての協議
- ③ 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置についての協議
- ④ ①から③までの事項に関する構成員の事務の調整



- 首長が教育行政に果たす責任や役割を明確にするとともに、
首長が公の場で教育政策について議論することが可能に
- 首長と教育委員会が上記①～④の協議・調整を行うことにより、
両者が教育政策の方向性を共有し、一致して事務の執行に当たることが可能に

4 教育委員会の会議以外の活動状況

教育委員会の構成員（教育長及び教育委員）は、上記に掲げる会議のほか、以下のとおり各種行事、会議等に出席しました。

【遠野市議会】（教育長のみ）

月	会 議 名 等
6月	本会議、予算等審査特別委員会、議員全員協議会
9月	本会議、予算等審査特別委員会、決算特別委員会、議員全員協議会
11月	本会議、議員全員協議会
12月	本会議、予算等審査特別委員会、議員全員協議会
3月	本会議、予算等審査特別委員会、議員全員協議会

【学校訪問】

月	行 事 名 等
6月	学校懇談会（達曽部小学校）
9月	学校公開研究会（土淵小学校、遠野西中学校） 学校懇談会（遠野北小学校） 交流すまいる給食（小友小学校）
10月	交流すまいる給食（達曽部小学校）
11月	交流すまいる給食（遠野東中学校）

【各種行事、会議等】（教育長、教育委員が出席したものを列記）

月	行 事 名 等
4月	平成28年4月1日付け教育委員会事務局定期人事異動辞令交付式 新採用教職員辞令交付式 遠野市立小中学校転入教職員等着任式 特別支援教育支援員研修会・特定教科支援員研修会 小学校入学式 中学校入学式 武蔵野さくらまつり 岩手県保育協議会遠野地区双葉会定期総会 岩手県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換 遠野市役所本庁舎建設工事起工式及び安全祈願祭 遠野市奨学生選考委員会 遠野市学校保健会定期総会 遠野市体育協会定期評議員会・栄賞受賞者祝賀会

月	行 事 名 等
4 月	遠野市老人クラブ連合会定期総会 希望郷いわて国体遠野市実行委員会総会 遠野ユネスコ協会総会
5 月	遠野さくらまつり「南部氏遠野入部行列」 学力向上対策会議 教育研究所連盟定期総会 小学校運動会 中学校体育祭 釜石・遠野地区教科書採択協議会 第68回全国都市教育長協議大会並びに研究大会徳島大会 遠野市生徒指導推進協議会総会 遠野市教育研究会研修会 岩手県市町村教育委員協議会定期総会 遠野市P T A連合会定期総会 第39回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式実行委員会 遠野市交通安全対策協議会総会 遠野市消防演習 遠野市総合教育会議
6 月	遠野市学校・家庭・地域の連携による子どもの学び推進委員会 各町町民運動会 遠野納涼花火まつり実行委員会 遠野市緑化祭「里山フェスタ2016」 教育委員会委員辞令交付式 中学校総合体育大会遠野地区大会 釜石地区租税教育推進協議会定期総会 生徒指導主事会議 熊本地震に係る友好都市菊池市等の訪問及び台湾ミッション合同報告会 遠野市内小学校陸上記録会
7 月	希望郷いわて国体100日前イベント 宮崎県西米良中学校と遠野東中学校との交流会 国指定重要文化財千葉家住宅保存修理工事始動式 遠野市総合食育センター運営審議会 日本のふるさと遠野まつり臨時実行委員会 県中学校総合体育大会 柏木平リバーサイドまつり・遠野わらすっこまつり・全国やぶさめ競技大会 遠野市老人クラブ連合会さわやかスポーツ大会 平成・南部藩寺子屋交流事業「八戸市との児童交流」八戸市児童受入れ

月	行 事 名 等
7月	市内小学校水泳記録会 チャレンジ防災スクールTONO2016開校式 遠野市教育研究所全体研修会
8月	遠野市防災会議 平成・南部藩寺子屋交流事業「八戸市との児童交流」 遠野市児童派遣 学力向上対策会議 遠野市総合教育会議 遠野市少年消防クラブ防火野球大会 社会を明るくする運動遠野地区大会 遠野西中学校プール改築工事落成式 遠野市地域教育協議会連絡会研修会 遠野市青年団体協議会合併10周年記念事業 遠野納涼花火まつり 愛知県大府市小学生都市間交流事業 大府市児童受入れ 遠野市戦没者追悼式・平和祈念式 市民野球大会 遠野文化フォーラム 遠野市中学校駅伝競走大会 中高生海外派遣事前研修会 市立小学校長会議 遠野じんぎすかんマラソン 平成28年度鍋城祭（県立遠野高等学校文化祭）
9月	わたしの主張 遠野地区大会 学校公開研究会（土淵小学校） 遠野市防災訓練 遠野市中学校新人大会 アメリカ合衆国テネシー州チャタヌーガ市訪問団 市長表敬訪問 日本のふるさと遠野まつり 県立高校再編を考える市民会議 懇談会 石上の園創立20周年記念式典 遠野市中学生英語暗誦大会 重要文化財千葉家住宅保存活用委員会
10月	第71回国民体育大会 希望郷いわて国体総合開会式 第71回国民体育大会 希望郷いわて国体 少年男子サッカー競技 2016年度遠野地区児童・生徒歌ごえ発表会 遠野市産業まつり 第29回スポーツ少年団親睦野球小友大会

月	行 事 名 等
10月	平成28年度岩手県教職員表彰式 第39回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式 小学校学習発表会 遠野市就学指導委員会 岩手県市町村教育委員会協議会 教育長部会 遠野市民生児童委員協議会創立10周年記念式典 第16回全国障害者スポーツ大会開会式・閉会式 遠野市いじめ問題対策委員会 平成28年度遠野市内小学校音楽祭 遠野納涼花火まつり実行委員会 遠野市民グラウンドゴルフ交流大会 平成28年度緑峰祭（県立遠野緑峰高等学校文化祭）
11月	釜石・遠野地区教科書採択協議会 遠野市立青笹小学校創立50周年記念式典 遠野市市制施行11周年記念式典 総合教育会議 遠野中学校区授業交流会 第5回遠野カップ杯中学校バレーボール大会 遠野市内継走大会 遠野市納税貯蓄組合連合会女性部研修会 第15回遠野地区中学校総合文化祭 岩手県保育協議会遠野地区双葉会研修会 遠野市生徒指導推進協議会 遠野のもの・こころ海外交流推進委員会 第43回ことばの教室校外学習発表会 遠野西中学校吹奏楽部演奏会「第4回Smileコンサート」 NHKラジオ「真打ち競演」公開収録 第11回シルバー文化祭 学力向上対策会議 遠野西中学校区授業交流会 幼保小アプローチ・スタートカリキュラム作成担当者研修会 遠野市学校・家庭・地域の連携による子どもの学び推進委員会 第6回遠野市社会福祉大会 平成28年青笹町しし踊り保存会踊り納め会 遠野市教育委員会委員辞令交付式 遠野市就学指導委員会 板沢しし踊り保存会大感謝祭

月	行 事 名 等
11月	遠野市教育研究所運営委員会 市内小中学校長会議 遠野のもの・こころ海外交流推進委員会報告会 税についての作文 財務大臣賞受賞報告
12月	ハートフルステージ 「第15回絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展表彰式 遠野物語ファンタジー旗揚げ会 清養園保養センタースケート場安全祈願祭 平成28年度遠野市内中学校長・高等学校長連絡会議 第39回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式実行委員会 遠野市地域教育協議会連絡会 赤羽根スキー場安全祈願祭 第95回全国高等学校サッカー選手権大会出場激励会 飯豊神楽活動反省会 第15回遠野市少年少女空手道選手権大会 遠野一輪車クラブスポーツ少年団発表会 中高生海外派遣交流事業結団式
1月	平成29年遠野市民新年交賀会 青笹町新年交賀会 消防出初式 成人式「はたちのつどい」 遠野市総合教育会議 遠野市教育研究所研究発表会 平成28年度地域で子どもを育てる活動発表会 岩手県青少年育成県民会議結成50周年記念式典 管内教育長会議 遠野のもの・こころ海外交流プロジェクト報告会 平成28年度遠野緑峰高校 校内プロジェクト発表会
2月	平成28年度遠野市学校保健会研究大会 中高生海外派遣・チャタヌーガ市民視察ツアー報告会 市内小中学校環境科学研究発表会 第44回保育のつどい 岩手県高校ユネスコ研究大会参加報告会 第34回清養園氷上まつり 遠野みらい創りカレッジ テレワーク開所式 希望郷いわて国体盛岡市実行委員会 感謝のつどい

月	行 事 名 等
2月	平成28年度遠野市特別支援研究会 交流発表会 平成28年度岩手県市町村教育委員会協議会 教育長・教育委員研修会 平成28年度（第60回）岩手県教育研究発表会 重文千葉家住宅保存活用委員会 学力向上対策会議 県教委と市町村教育委員会との意見交換 遠野市学校・家庭・地域の連携による子どもの学び推進委員会 遠野市総合食育センター運営審議会 一般財団法人遠野市教育文化振興財団顕賞式 市内小中学校長会議 遠野市いじめ防止等対策委員会 遠野市教育研究所運営委員会 小友町裸参り 遠野物語ファンタジー
3月	遠野高等学校卒業式 ぱすぽるヘルスアップライブ 遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検・ 評価会議 遠野市健康づくり総合大学「とすぽ」大学祭 小・中学校卒業証書授与式 「遠野の景観」保存調査委員会 遠野市文化財保護審議会 平成28年度職員研修参加報告会 防災の集い ～災害に負けない遠野を創る～ 市長と語ろう会 退職・市外転出教職員辞令交付式 地域教育協議会連絡会 遠野市民センター運営協議会 希望郷いわて国体遠野市実行委員会総会 教育委員会退職者等辞令交付式

Ⅲ 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価の結果

平成28年度において、遠野市教育委員会は、

- ・ 第2次 遠野市総合計画 前期基本計画（計画期間：平成28年度～平成32年度）
- ・ 第2期 遠野市教育振興基本計画（計画期間：平成28年度～平成37年度）

に基づき、教育行政を推進しました。

第2次 遠野市総合計画 前期基本計画においては、教育委員会は、下図に示す2つの大綱及び5つの政策にかかわっています。

【第2次遠野市総合計画 前期基本計画 体系図】

○ 基本理念 「遠野スタイルの創造・発展」

○ 将来像 「永遠の日本のふるさと遠野」

大 綱	政 策	施 策
1 自然を愛し共生するまちづくり	1 自然と共生する環境づくり 2 快適な居住環境の形成 3 道路交通基盤の充実 4 安心安全な地域づくり	
2 健やかに人が輝くまちづくり	1 健康づくりの推進	1 健康づくり活動の推進 2 医療体制の充実
	2 地域福祉の充実	
	3 子育て支援の推進	1 少子化対策・子育て支援 2 児童・母子等福祉の充実
3 活力を創意で築くまちづくり	1 農畜林業の振興 2 商工業の振興 3 観光と交流のまちづくり	
4 ふるさとの文化を育むまちづくり	1 ふるさと教育の推進	1 就学前教育の充実 2 学校教育の充実
	2 生涯学習の推進	1 社会教育の充実 2 芸術文化活動の推進
	3 ふるさとの文化の継承・創造	1 郷土文化の保存と活用 2 文化財の保護と継承 3 郷土の文化を生かした地域創造
5 みんなで考え支えあうまちづくり	1 住民主体のふるさとづくり 2 行財政基盤の強化 3 行政サービスの向上	

また、第2期 遠野市教育振興基本計画においては、5つの基本方針と、基本方針を推進するための施策の方向及び展開を明確化し、これらに沿って、各種の具体的事業を実施し、教育行政を推進しました。

【第2期 遠野市教育振興基本計画 体系図】

○ 基本理念

「ふるさとの文化を生かし、「夢」と「誇り」を育む学びのまちづくり」

基本方針	施策の方向	施策の展開
1 ふるさと教育の推進	(1) 就学前教育の充実	①家庭や地域での教育 ②教育・保育の充実
	(2) 学校教育の充実	①教育内容の充実 ②教育環境の充実 ③学校給食の充実 ④学校と家庭、地域との連携の充実
	(3) 高等学校への支援	①魅力ある高校づくり応援事業の推進
2 生涯学習の推進	(1) 社会教育の充実	①総合推進体制の整備 ②家庭や地域教育の充実 ③成人教育の充実 ④高齢者教育の充実 ⑤青少年の健全育成と指導者の養成
	(2) 芸術文化活動の推進	①芸術文化団体の育成と支援 ②創作芸術文化活動の振興
3 ふるさとの文化の継承・創造	(1) 郷土文化の保存と活用	①博物館活動の推進 ②図書館活動の推進
	(2) 文化財の保護と継承	①文化財調査・保護 ②郷土芸能活動の推進 ③遠野遺産の認定と保護活動及び活用の推進
	(3) 郷土の文化を生かした地域創生	①郷土文化の調査・研究の推進 ②次世代へのふるさと文化の継承 ③市史編さん事業の推進
4 健康づくりの推進	(1) 健康づくり活動の推進	①健康づくり総合プログラムの推進 ②スポーツの振興 ③食育の推進
5 子育て支援の推進	(1) 少子化対策・子育て支援	①少子化対策・子育て支援総合プランの推進 ②子育て支援の充実

【主な事務事業の管理及び執行の状況の点検】

次の表により、平成28年度に実施した主な事務事業を、第2期 遠野市教育振興基本計画に定める「基本方針」「施策の方向」「施策の展開」ごとに区分し、その取組状況、成果及び課題を整理しました。

施策の展開に係る全体総括	「施策の展開」に基づき実施した事務事業全体の成果など、総括的事項を記載しています。
課題	「施策の展開」に基づき実施した事務事業全体の課題を記載しています。

事業費名	「平成28年度遠野市一般会計歳入歳出決算書」に記載している事業費の名称を記載しています。	平成28年度 決算額	事務事業の決算額を記載しています。(単位：円)	
担当課	事務事業を実施した担当課名を記載しています。		評価	※
取組状況	事務事業の概要、取組状況等を記載しています。			
成果	事務事業の実施による成果を記載しています。 (具体的な数値等による成果がある場合は、その内容についても記載しています。)			

【主な事務事業の管理及び執行の状況の評価】

担当課において、各事務事業の取組の成果について、下記により自己評価を行い、その結果（「達成」「概ね達成」「未達成」の3つの区分のうち、該当する区分）を、前ページの表の「評価」欄（※）に記載しています。

区分	担当課による自己評価の判断
達成	事務事業の目的が十分に達成されたと考えられる場合 ※計画及び実績を数値により示すことができる場合は、その達成率が100パーセント以上となる場合
概ね達成	事務事業の目的が概ね達成されたと考えられる場合 ※計画及び実績を数値により示すことができる場合は、その達成率が90パーセント以上100パーセント未満となる場合
未達成	課題が生じた等の理由により、事務事業の目的が概ね達成された、とまではいえないと考えられる場合 ※計画及び実績を数値により示すことができる場合は、その達成率が90パーセント未満となる場合)

1 ふるさと教育の推進

(1) 就学前教育の充実

①家庭や地域での教育

施策の展開に係る 全体総括	<p>遠野市少子化対策・子育て支援総合計画（通称：遠野わらすっこプラン）に基づき社会全体で子育て支援に取り組む必要があることから、地域及び事業所を巻き込んで事業を展開した。</p> <p>また、遠野テレビを活用し、「子育て情報ガイド わらすっこナビ!」の制作に取り組み、子育て関連事業を周知した。</p>
課題	<p>わらすっこ条例応援事業者とさらに連携することにより、子育て世代の就労環境の充実を推進する必要がある。</p>

事業費名	わらすっこプラン推進事業費	平成28年度 決算額	4,129,520円		
担当課	子育て総合支援センター子育て総合支援課				
取組状況	<p>遠野わらすっこプランに基づき、市内の子どもや保護者だけでなく子どもの権利を保障する大人（保護者、地域、学校、事業者）も対象とした事業を展開した。</p>	評価	達成		
成果	<p>○遠野市わらすっこ条例普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わらすっこ条例応援事業者認定制度により、子育て支援を積極的に実施している事業者を認定することで、地域全体で子育てを応援する環境を促進することができた。 (わらすっこ条例応援認定事業者 22事業所) ・遠野テレビにおいて「子育て情報ガイド わらすっこナビ!」を放送し、子育て支援関連事業を周知することができた。 <p>○遠野市わらすっこ支援委員会運営事業</p> <p>遠野わらすっこプラン関連事業における審議や、事業等の評価などについて審議するため、遠野市わらすっこ支援委員会を3回開催した。</p> <p>○遠野市わらすっこ基金事業</p> <p>寄附金7件 1,496,868円、運用利子 28,112円、ふるさと納税分（わらすっこプラン事業への寄附のうち経費等を除いた分） 1,761,800円、計3,286,780円を遠野市わらすっこ基金に積み立てた。</p>				

②教育・保育の充実

施策の展開に係る 全体総括	<p>平成28年4月1日から市立幼稚園・保育所3園を民営化し、新たな保育基盤のもと市内12箇所の子育て環境の提供を実現した。</p> <p>民営化した各園については、順調に運営されており、子どもへのサービスの一元化が図られた。</p>
課題	<p>保育業務において、保育士、心理士等のマンパワーのさらなる充実を図る必要がある。</p>

事業費名	わらすっこの育ち療育支援事業費	平成28年度 決算額	7,509,507円	
担当課	子育て総合支援センター子育て総合支援課			
取組状況	<p>○市内の障がいがある児童が健やかに安全で安心して過ごすことができるよう、療育支援の場の提供を行うとともに、軽中等度の難聴児に対する補聴器具の購入に係る費用の一部補助を行った。</p> <p>○日中一時支援事業を利用した児童の保護者に対し、その自己負担分を助成することにより、保護者の経済的負担を軽減するとともに、療育支援を図った。</p>	評価	達成	
成果	<p>○支援が必要と思われる就学前の児童に対して、療育支援教室及び幼児ことばの教室を開催し、個別活動等適正な指導により、心身や言語の発達を助長するとともに、保護者への子育て支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療育支援教室 24人（のびっこ教室 16人、ジャンプ教室 8人） ・幼児ことばの教室 12人 <p>○軽度・中等度の難聴児に対し補聴器の購入費用を助成し、言語の習得及びコミュニケーション能力の向上を促すとともに、保護者の経済的負担の軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補聴器購入助成 2件 <p>○児童の生活機能の向上や社会的な自立生活に向けた支援の充実を図るため、日中一時支援事業利用料の自己負担額の全額を助成し、保護者の経済的負担の軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中一時支援事業利用者負担助成 4人 			

事業費名	障害児通所支援事業費	平成28年度 決算額	3,032,200円	
担当課	子育て総合支援センター子育て総合支援課			
取組状況	<p>障害児施設措置費（給付費等）国庫負担金等を活用し、放課後や土日・祝日及び夏休み等の長期休業期間中に、障がい児に生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流促進等を図ることを目的に、県が指定する障害児通所支援事業所を利用した際の費用等を支給した。</p>	評価	達成	

成果	<p>障害児通所支援事業所を利用し、未就学の障がい児については日常生活における基本的動作の指導や集団生活への適応訓練、就学している障がい児については学校の休業日に生活能力の向上に必要な訓練や社会との交流促進を図るとともに、保護者は原則自己負担1割（上限額あり）でサービスを利用することができ、残りの9割については国、県及び市が負担することにより、保護者の負担軽減が図られた。</p>													
	<p>・事業利用対象者 4名（児童発達支援 1名、放課後等デイサービス 3名）</p>													
	<p>【財源】… 国1/2、県1/4、市1/4</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>受領済額</th> <th>平成28年度実績額</th> <th>平成29年度返還額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国庫負担金</td> <td>1,626,666円</td> <td>1,399,430円</td> <td>227,236円</td> </tr> <tr> <td>県費負担金</td> <td>813,333円</td> <td>699,715円</td> <td>113,618円</td> </tr> </tbody> </table>			区分	受領済額	平成28年度実績額	平成29年度返還額	国庫負担金	1,626,666円	1,399,430円	227,236円	県費負担金	813,333円	699,715円
区分	受領済額	平成28年度実績額	平成29年度返還額											
国庫負担金	1,626,666円	1,399,430円	227,236円											
県費負担金	813,333円	699,715円	113,618円											

事業費名	保育所等運営事業費	平成28年度 決算額	1,037,914,818円																															
担当課	子育て総合支援センター子育て総合支援課																																	
取組状況	<p>○保護者や同居の親族が仕事や病気、障がい、出産等のため、児童を保育できないと認められる場合、保護者等に代わって保育所において児童の保育を実施した。</p> <p>○平成28年度から、市立幼稚園保育所3園の運営を社会福祉法人遠野市保育協会に移管したことから、その運営費を負担した。また、学校法人岩手キリスト教学園 認定こども園めぐみ 遠野聖光こども園における保育の実施に係る運営費を負担した。</p> <p>○保育サービスの向上を図るため、特別保育事業として「障がい児保育事業」「保育所地域活動事業」「地域子育て支援拠点事業」「延長保育事業」「一時預かり事業」の実施を社会福祉法人遠野市保育協会及び認定こども園めぐみ 遠野聖光こども園に委託した。</p> <p>○私立認可保育所の円滑な運営を図るため、社会福祉法人遠野市保育協会に対し、運営費を補助した。</p>	評価	達成																															
成果	<p>○市立幼稚園・保育所3園を民営化し、新たな保育基盤のもと、平成28年度事業を実施した。市内12箇所の保育所の運営を委託するとともに、2箇所の認定こども園の運営費を負担することにより、安心して充実した子育て環境の提供を実現し、児童の健全な育成に寄与した。</p> <p>・平成28年度末における入所児童数</p> <table border="1"> <tr> <td>遠野</td> <td>103人(93.6%)</td> <td>神明</td> <td>87人(96.7%)</td> <td>綾織</td> <td>55人(91.7%)</td> </tr> <tr> <td>岩滝</td> <td>33人(82.5%)</td> <td>附馬牛</td> <td>35人(87.5%)</td> <td>白岩</td> <td>108人(98.2%)</td> </tr> <tr> <td>松崎</td> <td>60人(100.0%)</td> <td>土淵</td> <td>65人(92.9%)</td> <td>青笹</td> <td>101人(101.0%)</td> </tr> <tr> <td>上郷</td> <td>52人(104.0%)</td> <td>宮守</td> <td>73人(73.0%)</td> <td>達曾部</td> <td>35人(87.5%)</td> </tr> <tr> <td>鱒沢</td> <td>8人(40.0%)</td> <td>聖光</td> <td>89人(72.4%)</td> <td>合計</td> <td>904人(89.2%)</td> </tr> </table> <p>※ 括弧内記載の割合は、定員に対する充足率。</p> <p>○生活・就労形態の多様化に応じた特別保育事業を実施することにより、良質で充実した子育て環境の提供に寄与した。</p>				遠野	103人(93.6%)	神明	87人(96.7%)	綾織	55人(91.7%)	岩滝	33人(82.5%)	附馬牛	35人(87.5%)	白岩	108人(98.2%)	松崎	60人(100.0%)	土淵	65人(92.9%)	青笹	101人(101.0%)	上郷	52人(104.0%)	宮守	73人(73.0%)	達曾部	35人(87.5%)	鱒沢	8人(40.0%)	聖光	89人(72.4%)	合計	904人(89.2%)
遠野	103人(93.6%)	神明	87人(96.7%)	綾織	55人(91.7%)																													
岩滝	33人(82.5%)	附馬牛	35人(87.5%)	白岩	108人(98.2%)																													
松崎	60人(100.0%)	土淵	65人(92.9%)	青笹	101人(101.0%)																													
上郷	52人(104.0%)	宮守	73人(73.0%)	達曾部	35人(87.5%)																													
鱒沢	8人(40.0%)	聖光	89人(72.4%)	合計	904人(89.2%)																													

	<ul style="list-style-type: none"> ・特別保育事業（利用者 延べ1,161人） 6,459,680円 ・地域子育て支援拠点事業（利用者 延べ3,018人） 7,516,035円 ・平成27年度子ども・子育て支援交付金返還金 521,000円 <p>○社会福祉法人遠野市保育協会に対し運営費補助金を交付し、保育所及び認定こども園の円滑な運営に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営費補助金 40,772,000円
--	---

事業費名	幼稚園応援事業費	平成28年度 決算額	8,874,700円	
担当課	子育て総合支援センター子育て総合支援課			
取組状況	市内に設置する私立幼稚園を運営する法人に対し、運営費及び就園等に係る補助金を交付し、幼児教育の振興を図った。		評価	達成
成果	<p>○私立幼稚園運営費補助金 5月1日現在の児童数に2,500円を乗じた額に400,000円を加えた金額を上限額とし、幼稚園環境整備費等に係る補助金を交付し、運営を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象幼稚園 1園 ・補助金交付額 527,500円 <p>○私立幼稚園就園奨励費補助金 私立幼稚園に就園する園児の保護者の所得状況に応じて助成し、保護者の経済的負担を軽減した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象園児数 56人 ・補助金交付額 7,731,500円 <p>○私立幼稚園保育料助成事業補助金 私立幼稚園に児童を通園させている保護者の保育料から私立幼稚園就園奨励費補助金の額を減じた額を助成し、市内認定こども園及び保育所に児童を通園させる保護者との経済的負担の均衡化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象園児数 35人 ・補助金交付額 615,700円 			

(2) 学校教育の充実

①教育内容の充実

施策の展開に係る 全体総括	平成28年度に実施した事業については、ほとんどの事業で目標を達成することができた。特に、新規に立ち上げた特定教科集中対策事業では、中学校数学の向上を目指して支援員を配置し、課題解決に向けた一歩を踏み出すことができた。
課題	学力向上について、施策が浸透し、徐々に充実してきている。新規に立ち上げた特定教科支援事業を継続し、さらに充実させるとともに、さらなる課題や将来に向けて子どもたちに必要な資質・能力を育成するために新たな取組が必要である。

事業費名	体育・文化行事奨励費	平成28年度 決算額	4,023,296円	
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>○次代を担う児童・生徒に対し、「ふるさと遠野」のよさ、自分の将来や地域の未来について考える機会をつくり、文章に表現することや読むことを通して、言語能力を養い豊かな人間性を育むことを目的に、遠野市内小中学校児童・生徒文集「遠野」を発刊した。</p> <p>○文化創造活動の能力を育み、もって豊かな情操を養うことを目的に遠野市内小中学校児童生徒作品展を開催した。</p>	評価	達成	
成果	<p>○小学生76名、中学生22名の作品を掲載した文集「遠野」を発刊し、各小中学校及び関係者に配布した。</p> <p>○平成28年12月26日から平成29年1月19日まで、遠野ショッピングセンターとぴあを会場に、遠野市内小中学校児童生徒作品展を開催し、絵画や書などの作品を展示し、多くの市民に作品を觀賞していただくことができた。</p>			

事業費名	外国語指導助手招へい事業費	平成27年度 決算額	5,158,080円	
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	小学校の外国語活動、中学校の英語教育及び小中学校の国際理解教育の推進を図るため、専門業者から外国語指導助手の派遣を受け、児童生徒が本物の英語に触れる機会を設けた。	評価	達成	
成果	<p>児童生徒が外国語指導助手の生きた英語に触れることで、英語力の4つの要素のうち、「聞く」「話す」のコミュニケーションに関する能力を養い、英語による表現力を育み、英語力の向上を図ることができた。</p> <p>・派遣回数 205回（小学校85回、中学校120回）</p>			

事業費名	特色ある学校づくり事業費	平成28年度 決算額	1,250,763円	
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	児童生徒一人一人の学習・生活の基礎力の充実及び個性と能力の伸長に努め、生命と体と心を育む教育の具現化を図るため、市内各小中学校においてそれぞれ企画・立案した事業計画をもとに、地域の歴史・文化・伝統・特徴を生かして、農業体験、伝統芸能の継承など地域理解学習に取り組んだ。	評価	達成	
成果	<p>○市内全ての小中学校が事業に取り組み、各校の教育目標や地域の特色に応じて、歴史、文化、自然等を学ぶ活動を積極的に展開した。</p> <p>○多くの学校が、郷土芸能の伝承活動や農業を通じた食育活動に取り組んだ。</p> <p>○地域住民が講師となって授業が実施されており、遠野に伝わる伝統や文化に触れることにとどまらず、児童生徒や学校が地域住民と繋がりをもつ貴重な機会となっており、地域に開かれた学校づくりの一助となっている。</p>			

事業費名	平成・南部藩寺子屋交流事業費	平成28年度 決算額	760,000円	
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>○根城南部氏の縁でつながる八戸市との相互訪問による交流活動を行った。</p> <p>○日常生活と環境の異なる集団活動の中で郷土の歴史や自然に親しみ集団生活のあり方や公衆道徳などの体験を積むことにより、郷土を愛し将来を担う人材の育成を図った。</p>	評価	達成	
成果	<p>○市内小学校11校の代表児童が一堂に集まり、八戸市の児童と交流活動を行う中で、南部氏の歴史や両市の文化について学んだ。</p> <p>○学校とは異なる集団の中でのコミュニケーションの取り方や、リーダーとしてのあり方を学ぶとともに、ふるさと遠野の良さを自ら振り返ることができ、事業の目的とする人材の育成を図ることができた。</p> <p>○特にも、平成28年度は30周年事業として八戸市児童との交流内容を一新したことにより例年以上に活発な交流が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入交流 7月26日～28日 八戸市児童41人が来遠 ・派遣交流 8月3日・4日 遠野市児童26人が八戸市を訪問 			

事業費名	特別支援教育推進事業費	平成28年度 決算額	17,788,015円	
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>○市内小中学校の通常学級に在籍し、個別に特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活における介助及び学習活動における支援を行うため、担任教諭の補助等を行う特別支援教育支援員を配置した。</p> <p>○要支援児童生徒に対する指導の充実を図るため、巡回指導を行う学習指導講師を配置した。</p> <p>○市内小中学校に在席する外国人児童生徒に対し、日本語の個別指導を行う日本語指導講師を外国人児童生徒在席校に配置した。</p>	評価	達成	
成果	<p>○特別支援教育支援員が児童生徒の学習や生活面において適切な指導と必要な支援を行うことで、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成するとともに、特別支援教育の充実を図ることができた。</p> <p>・配置数 小学校11校（15名）、中学校1校（1名）</p> <p>○学習指導講師の巡回指導により、児童のニーズに応じて適切な「ことば」の指導が実施され、児童6人がことばの教室を退級することができた。</p> <p>・巡回指導実施数 6校、12名</p> <p>○外国人児童生徒が転入した小・中学校に日本語指導講師を配置し、日本語の習熟指導を行うとともに、学校生活でのコミュニケーション支援を行うことで、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう支援した。</p> <p>・配置数 小学校1校（1名）、中学校1校（1名）</p>			

事業費名	遠野わらすっこ「夢の教室」事業費	平成28年度 決算額	1,304,440円	
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>児童の心身の健全な発達に向けて、公益財団法人日本サッカー協会が取り組んでいるところのプロジェクト「夢の教室」を活用し、現役スポーツ選手やトップアスリート経験者が「夢先生」として、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを伝える授業を行った。</p>	評価	達成	
成果	<p>○各小学校では、「夢の教室」をキャリア教育の一環として、児童が自分の将来を考えるきっかけづくりの一つとなるよう位置付けて取り組んだ。</p> <p>○夢先生の実体験に基づいた話に感動する児童たちの姿が見られ、授業前後に実施したアンケートの結果では、授業後に「夢を実現すること」や「自信を持つこと」「失敗してもあきらめないこと」といった前向きな回答が大幅に増加した。</p> <p>○実施状況 遠野小学校、遠野北小学校、宮守小学校（5・6年生） 青笹小学校（5年生）</p>			

事業費名	いじめ防止等総合対策事業費	平成28年度 決算額	89,820円	
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>○「遠野市いじめ防止等基本方針」に基づき、遠野市生徒指導推進協議会の専門委員会として設置する「遠野市いじめ防止等対策委員会」を年2回開催し、いじめ防止対策について協議した。</p> <p>○市内小中学校を通じてリーフレット等を配付し、児童生徒及び保護者に対する周知・啓発を行った。</p>	評価	達成	
成果	<p>○「遠野市いじめ防止等対策委員会」を9月及び2月に開催し、市内のいじめの現状について情報共有を図るとともに、いじめ防止対策について協議を行った。この会議での協議事項に基づき、市内3中学校の生徒会役員が集まり、いじめ防止について意見交換を行う会が開催され、生徒による主体的な取組がスタートした。</p> <p>○いじめ防止啓発リーフレットは、ネットいじめについての啓発内容とし、市内全児童生徒及び保護者に対し、学校を通じて配付を行った。</p>			

事業費名	学力向上対策事業費	平成28年度 決算額	19,742,000円	
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>○児童生徒等の学校生活に関する教育相談等の担当として、教育相談員を配置した。</p> <p>○市内小中学生（小2～中3）を対象に、標準学力検査（NRT）及び知能検査を実施し、その結果をもとに、各中学校区で研究部会を開催し、課題の解決に向けての調査、研究及び発表を行い、各学校に還元した。</p> <p>○教育課程に関する実践研究を行い、その成果は学校公開の場で発表し、市内小・中学校に還元した。</p>	評価	概ね達成	
成果	<p>○中学校区ごとの授業改善のための「2つの視点」に基づき、小・中学校が連携した授業改善を図り、教員の「一人一授業」の評価研修等に取り組んだ。</p> <p>○市内3校において学校公開研究会を開催したほか、1月には研究成果を中学校区ごとに発表し合い、研究授業の成果を皆で共有した。また、先進地である秋田県東成瀬村の小・中学校の授業の様子を視察することで、教員の意識改革が進んでおり、徐々に授業の質向上につながっている。</p> <p>○遠野市教育研究所及び市内中学校3校に教育相談員を配置し、生徒や保護者の教育相談を通して不安や悩みの解消に努めた。また、適応指導教室を設置し、学校への登校が困難な生徒に対して、学校復帰に向けた支援を行うとともに、卒業に向けての進路指導等を行った。</p> <p>○小学校標準学力検査偏差値（まちづくり指標） 目標値 53.8 実績 52.8 達成率 98.1%（概ね達成） ・各学校においては、この結果をもとに5月に分析を行い、成果と課題を明らかにし、中学校区ごとの視点に基づく授業改善の取組により改善を図っている。</p>			

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・特に、平成28年度は、日常の授業での実践の徹底と家庭学習の充実が課題であることから、各校が共通認識、共通目標をもって共通実践できるように、校長のリーダーシップのもとに取り組んだ。 ・家庭学習については、各校で工夫して取組を進めるとともに、学校以外の機関との連携が進むよう体制づくりを行った。 <p>○中学校標準学力検査偏差値（まちづくり指標） 目標値 48.5 実績 47.9 達成率 98.8%（概ね達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな傾向として、数学に課題があり、中学1年生における指導の充実が必要である。 ・家庭学習と中学校から始まる部活動との両立に課題があることから、「特定教科集中対策事業」として、数学支援員を各校に配置し中学1年生を中心に、授業と家庭学習での支援を行った。 ・また、小学校と同様に、全教科、全学年において日常の授業の徹底と家庭学習の充実が課題であることから、各校が共通認識、共通目標をもって共通実践できるように、校長のリーダーシップのもとに取り組んだ。
----	---

事業費名	特定教科集中対策事業費	平成28年度 決算額	3,095,550円	
担当課	教育委員会事務局学校教育課			
取組状況	<p>○中学校3校に、教育委員会が指定する特定教科（平成28年度は数学）の学習支援を行うための特定教科学習支援員を配置した。</p> <p>○特定教科学習支援員は、教科担当教諭と協力して、生徒の学習状況を具体的にとらえ、適切な指導・助言を行い、効果的な学習活動が展開できるよう授業のサポートを行った。</p>	評価	概ね達成	
成果	<p>○中学校に1名ずつ特定教科学習支援員を配置し、1年生を中心とした数学の授業においてチームティーチングを行い、生徒一人一人の理解度に応じた指導が実践された。</p> <p>○授業で学んだ内容の習熟状況を確認するための家庭学習プリントを作成し、生徒が繰り返し取り組むことで、「わかる」から一歩進んだ「できる」状態となるよう学習サポートを行った。</p>			

②教育環境の充実

<p>施策の展開に係る 全体総括</p>	<p>学校施設等を長期間にわたり安全に使用することができるよう、維持管理等の実施に努めるとともに、児童生徒が質の高い充実した教育環境で学ぶことができるよう、教材備品等の充実を図った。 また、義務教育の円滑な実施に資するため、スクールバスの運行など通学対策の実施、就学援助制度の実施及び特別支援教育への支援を図った。</p>
<p>課題</p>	<p>スクールバスの運行については、教育委員会、学校及び運行業務受託事業者の三者連携をさらに強化するとともに、児童生徒の安全の確保、運転手の健康の保持等のため、より迅速な連絡体制の構築及び特別運行のあり方について今後検討していく必要がある。 建築後相当の年数が経過している学校施設等については、緊急性を考慮しながら、児童生徒の安全確保のため、適宜改修、修繕等を実施していく必要がある。 就学援助制度については、保護者の経済的負担の軽減に資するよう、制度の一層の周知に努める。</p>

事業費名	通学対策費（小学校）	平成28年度 決算額	33,921,441円	
担当課	教育委員会事務局教務課			
<p>取組状況</p>	<p>○遠距離から小学校に通学する児童のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図った。</p> <p>○小友小、附馬牛小、土淵小、宮守小、達曽部小、鱒沢小に遠距離から通学する児童を対象にスクールバス等を運行した。また、路線バスで遠野北小に通学する松崎地区の児童を対象に、定期券を購入し配付するとともに、上郷小に通学する来内地区の児童の一部を対象にタクシーを運行した。</p> <p>○遠距離（片道4km以上）から通学する児童を対象に、通学費を助成した。</p> <p>○教育課程における児童の移動手段としてスクールバスの特別運行を行うとともに、児童のより安全な通学に資するため、スクールバスを更新した。</p>	<p>評価</p>	<p>達成</p>	
<p>成果</p>	<p>○スクールバス等の運行により、遠距離から小学校に通学する児童の負担の軽減と通学時の安全が図られた。 ・バス5台、ワゴン3台、タクシー1台の運行及び路線バス委託</p> <p>○遠距離通学児童のうちスクールバス等の通学対策の対象とならない児童に対しては、遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。 ・支給児童数 22人</p> <p>○学校運営上必要な行事や、市が主催する各種事業等における児童の送迎のため、スクールバス等の特別運行を行い、有効活用を図った。 ・特別運行許可件数 176件</p> <p>○宮守小で使用するスクールバスを1台更新し、より安全な通学手段を確保することができた。</p>			

事業費名	教材整備費（小学校）	平成28年度 決算額	13,917,257円	
担当課	教育委員会事務局教務課			
取組状況	<p>○小学校における教育活動に必要な教材備品及び図書を購入するとともに、パーソナルコンピュータの借上げを行った。</p> <p>○国の補助事業を活用し、観察、実験等を通じた理科・算数の効果的な教育活動に資する教材備品を整備した。</p>	評価	達成	
成果	<p>○教育活動に必要な教材備品の購入、読書による言語活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためのパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境のさらなる整備充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品購入数 64品目 ・図書購入数 1,540冊 ・パーソナルコンピュータ借上げ 375台 <p>○理科・算数教材備品の整備により、観察、実験等を通じた実践的な教育活動の充実を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な整備内容 <ul style="list-style-type: none"> 宮守小学校：双眼実体顕微鏡、光電池 等 達曽部小学校：双眼実体顕微鏡、昆虫標本 等 鱒沢小学校：車輪式距離測定器、月と太陽の位置関係モデル 等 遠野小学校：顕微鏡、生物飼育用具 等 			

事業費名	就学援助費（小学校）	平成28年度 決算額	8,683,313円													
担当課	教育委員会事務局教務課															
取組状況	<p>経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、通学費、クラブ活動費、PTA会費、学校病医療費、学校病医療通院費及び学校給食費を支給し、義務教育の円滑な実施を図った。</p>		評価	達成												
成果	<p>○就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給児童数 131人 <p>○下記のうち被災児童8人分の就学援助費（570,596円）については、国補助金（10/10）の対象として交付した。</p> <p>○支給項目及び支給内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">学用品費（128人） 1,388,480円</td> <td style="width: 50%;">通学用品費（120人） 255,892円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（128人） 241,672円</td> <td>新入学用品費（7人） 143,290円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費（30人） 782,955円</td> <td>通学費（1人） 8,000円</td> </tr> <tr> <td>クラブ活動費（3人） 720円</td> <td>PTA会費（89人） 288,430円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療費（36人） 300,360円</td> <td>学校病医療通院費（15人） 18,270円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費（128人） 5,255,244円</td> <td></td> </tr> </table>				学用品費（128人） 1,388,480円	通学用品費（120人） 255,892円	校外活動費（128人） 241,672円	新入学用品費（7人） 143,290円	修学旅行費（30人） 782,955円	通学費（1人） 8,000円	クラブ活動費（3人） 720円	PTA会費（89人） 288,430円	学校病医療費（36人） 300,360円	学校病医療通院費（15人） 18,270円	学校給食費（128人） 5,255,244円	
学用品費（128人） 1,388,480円	通学用品費（120人） 255,892円															
校外活動費（128人） 241,672円	新入学用品費（7人） 143,290円															
修学旅行費（30人） 782,955円	通学費（1人） 8,000円															
クラブ活動費（3人） 720円	PTA会費（89人） 288,430円															
学校病医療費（36人） 300,360円	学校病医療通院費（15人） 18,270円															
学校給食費（128人） 5,255,244円																

事業費名	特別支援教育関係費（小学校）	平成28年度 決算額	1,210,508円														
担当課	教育委員会事務局教務課																
取組状況	特別支援教育の円滑な実施を図るため、特別支援学級の活動に対する支援を行うとともに、保護者の経済的負担を軽減するため、児童の就学のための学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費及び学校給食費を支給し、特別支援教育の円滑な実施を図った。	評価	達成														
成果	<p>○特別支援学級を開設する小学校に対し、消耗品費及び印刷製本費を計 603,227円配当し、特別支援教育に関する活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象校 11校、18学級 ・対象児童 33人 <p>○特別支援教育の機会均等を図るため、児童の保護者に対して必要な援助を行い、特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減した。（支給児童数 20人）</p> <p>○支給項目及び支給内訳</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>学用品費（19人）</td> <td>106,705円</td> <td>校外活動費（8人）</td> <td>3,197円</td> </tr> <tr> <td>新入学用品費（4人）</td> <td>37,209円</td> <td>修学旅行費（3人）</td> <td>31,770円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費（20人）</td> <td>428,400円</td> <td>計</td> <td>607,281円</td> </tr> </table>					学用品費（19人）	106,705円	校外活動費（8人）	3,197円	新入学用品費（4人）	37,209円	修学旅行費（3人）	31,770円	学校給食費（20人）	428,400円	計	607,281円
学用品費（19人）	106,705円	校外活動費（8人）	3,197円														
新入学用品費（4人）	37,209円	修学旅行費（3人）	31,770円														
学校給食費（20人）	428,400円	計	607,281円														

事業費名	小学校プール整備事業費	平成28年度 決算額	4,644,000円		
担当課	教育委員会事務局教務課				
取組状況	昭和44年に建築され、老朽化の著しい宮守小学校のプールを改築し児童が安全に、かつ、安心して水泳実習を受けることができる環境を整備する。	評価	未達成		
成果	<p>○平成28年11月に国庫補助金の決定を受けたため、年度内の改築工事及び監理業務の発注が困難であることから、事業費92,255,000円を平成29年度に繰り越した。</p> <p>○学校の意見を取り入れ、児童の動線の確保及び施設管理の効率化を図るとともに、地盤の補強を盛り込んだ実施設計とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計業務委託料 4,644,000円 				

事業費名	通学対策費（中学校）	平成28年度 決算額	47,283,095円		
担当課	教育委員会事務局教務課				
取組状況	<p>○遠距離から中学校に通学する生徒のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図った。</p> <p>○遠野中、遠野東中、遠野西中に遠距離から通学する生徒を対象に、スクールバス等を運行した。</p>	評価	達成		

	<p>○遠距離（片道6km以上）から通学する生徒を対象に、通学費を助成した。</p> <p>○教育課程における生徒の移動手段としてスクールバスの特別運行を行った。</p>		
成果	<p>○スクールバス等の運行により、遠距離から中学校に通学する生徒の負担の軽減と通学時の安全が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行台数 18台（バス10台、ワゴン8台） <p>○遠距離通学生徒のうちスクールバス等の通学対策の対象とならない生徒に対しては、遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給生徒数 5人 <p>○学校運営上必要な行事やクラブ活動等における生徒の送迎のため、スクールバス等の特別運行を行い、有効活用を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別運行許可件数 282件 		

事業費名	教材整備費（中学校）	平成28年度 決算額	13,523,018円	
担当課	教育委員会事務局教務課			
取組状況	<p>○中学校における教育活動に必要な教材備品及び図書を購入するとともに、パーソナルコンピュータの借上げを行った。</p> <p>○教員の指導力の向上と生徒の学力の向上に資するため、教科書の改訂により必要となる教師用指導書及び指導資料を購入した。</p> <p>○国の補助事業を活用し、観察、実験等を通じた理科の効果的な教育活動に資する教材備品を整備した。</p>	評価	達成	
成果	<p>○教育活動に必要な教材備品の購入、読書による言語活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためのパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境のさらなる整備充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品購入数 22品目 ・図書購入数 553冊 ・パーソナルコンピュータ借上げ 164台 <p>○教師用指導書及び指導資料を購入し、教員の指導力の向上を図った。</p> <p>○理科教材備品の整備により、観察、実験等を通じた実践的な教育活動の充実を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な整備内容 <ul style="list-style-type: none"> 遠野中学校：電子てんびん、電気分解・燃料電池実験セット 等 遠野東中学校：天体望遠鏡、電源装置 等 遠野西中学校：電子てんびん、電源装置 等 			

事業費名	就学援助費（中学校）	平成28年度 決算額	13,082,658円																									
担当課	教育委員会事務局教務課																											
取組状況	<p>経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、学校病医療費、学校病医療通院費及び学校給食費を支給し、義務教育の円滑な実施を図った。</p>		評価	達成																								
成果	<p>○就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給生徒数 105人 <p>○下記のうち被災生徒4人分の就学援助費（575,246円）は、国補助金(10/10)の対象として交付した。</p> <p>○支給項目及び支給内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費（101人）</td> <td>2,200,380円</td> <td>通学用品費（62人）</td> <td>137,517円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（101人）</td> <td>229,085円</td> <td>新入学用品費（35人）</td> <td>824,250円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費（30人）</td> <td>2,191,652円</td> <td>クラブ活動費（100人）</td> <td>2,080,960円</td> </tr> <tr> <td>生徒会費（101人）</td> <td>216,000円</td> <td>PTA会費（92人）</td> <td>234,000円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療費（12人）</td> <td>73,670円</td> <td>学校病医療通院費（4人）</td> <td>5,520円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費（100人）</td> <td>4,889,624円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				学用品費（101人）	2,200,380円	通学用品費（62人）	137,517円	校外活動費（101人）	229,085円	新入学用品費（35人）	824,250円	修学旅行費（30人）	2,191,652円	クラブ活動費（100人）	2,080,960円	生徒会費（101人）	216,000円	PTA会費（92人）	234,000円	学校病医療費（12人）	73,670円	学校病医療通院費（4人）	5,520円	学校給食費（100人）	4,889,624円		
学用品費（101人）	2,200,380円	通学用品費（62人）	137,517円																									
校外活動費（101人）	229,085円	新入学用品費（35人）	824,250円																									
修学旅行費（30人）	2,191,652円	クラブ活動費（100人）	2,080,960円																									
生徒会費（101人）	216,000円	PTA会費（92人）	234,000円																									
学校病医療費（12人）	73,670円	学校病医療通院費（4人）	5,520円																									
学校給食費（100人）	4,889,624円																											

事業費名	特別支援教育関係費（中学校）	平成28年度 決算額	328,016円													
担当課	教育委員会事務局教務課															
取組状況	<p>特別支援教育の円滑な実施を図るため、特別支援学級の活動に対する支援を行うとともに、保護者の経済的負担を軽減するため、生徒の就学のための学用品費、新入学用品費、修学旅行費及び学校給食費を支給し、特別支援教育の円滑な実施を図った。</p>		評価	達成												
成果	<p>○特別支援学級を開設する中学校に対し、消耗品費及び印刷製本費を計 169,767円配当し特別支援教育に関する活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象校 2校、3学級 ・対象生徒 6人 <p>○特別支援教育の機会均等を図るため、生徒の保護者に対して必要な援助を行い、特別支援学級に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減した。（支給生徒数 3人）</p> <p>○支給項目及び支給内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費（3人）</td> <td>31,139円</td> <td>新入学用品費（2人）</td> <td>23,550円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費（1人）</td> <td>28,335円</td> <td>学校給食費（3人）</td> <td>75,225円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>158,249円</td> </tr> </table>				学用品費（3人）	31,139円	新入学用品費（2人）	23,550円	修学旅行費（1人）	28,335円	学校給食費（3人）	75,225円			計	158,249円
学用品費（3人）	31,139円	新入学用品費（2人）	23,550円													
修学旅行費（1人）	28,335円	学校給食費（3人）	75,225円													
		計	158,249円													

事業費名	中学校屋内運動場整備事業費	平成28年度 決算額	4,536,000円		
担当課	教育委員会事務局教務課				
取組状況	遠野東中学校屋内運動場は、昭和63年の旧青笹中学校屋内運動場としての建築後28年が経過していることから、大規模改造工事を実施し施設の長寿命化を図る。	評価	未達成		
成果	<p>○平成28年11月に国庫補助金の決定を受けたため、年度内の大規模改造工事及び監理業務の発注が困難であることから、事業費73,482,000円を平成29年度に繰り越した。</p> <p>○学校の意見を取り入れ、大規模改造により既存の施設のさらなる利活用を図った実施設計とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計業務委託料 4,536,000円 				

事業費名	プール改修事業費（繰越明許費）	平成28年度 決算額	43,332,880円		
担当課	教育委員会事務局教務課				
取組状況	<p>○遠野西中学校のプールを改築し、生徒が安全に、かつ、安心して水泳実習を受けることができる環境を整備した。</p> <p>○平成27年11月の国庫補助金の追加決定を受け、平成28年2月から既存プールの解体を開始したため、事業を平成28年度に繰り越した。</p> <p>○事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期 平成28年2月1日から7月29日まで ・工事内容 プール改築（25メートル×14メートル、6コース） 附属建物（玄関、更衣室、トイレ、機械室及び用具室） 	評価	達成		
成果	<p>○プール改築工事を実施し、安全かつ安心な教育環境の整備を図った。</p> <p>○プール本体はメンテナンスと長寿命に長けたステンレス製とし、設備配管は点検及び修繕に対応しやすいピット型を採用した。また、生徒の利便性に資するため、温水シャワー設備を設置するとともに、トイレは汲取り式から水洗式に改修し、清潔感ある洋式トイレを採用した。</p> <p>○工事の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成年月日 平成28年7月29日 ・建築工事 34,411,440円 ・機械設備工事 7,067,440円 ・工事監理業務委託 1,836,000円 ・完成検査申請手数料 18,000円 				

③学校給食の充実

施策の展開に係る 全体総括	学校給食における7つの目標を根底に、安心安全な給食を提供することができた。 また、交流給食等を通じて食育を推進するとともに、栄養教諭の指導により、児童生徒の健全な食生活や、食に関する正しい知識を養うことができた。
課題	地産地消率については、まちづくり指標の目標は達成しているものの、冬期間及び天候不良時の地場産食材の確保が難しいという課題がある。 また、地場産野菜は、品種数に限りがあるため、栄養とメニューに偏りが出ないような工夫が必要である。

事業費名	学校給食事業費	平成28年度 決算額	208,615,803円	
担当課	学校給食センター			
取組状況	<p>○市内の児童生徒に対し、適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図るとともに、伝統的な食文化と日常生活における食事について正しい理解を深め、望ましい食習慣を養成することや、好ましい人間形成等を目標として学校給食を実施した。</p> <p>○学校給食の実施に当たっては、遠野産の食材を積極的に使用し、地産地消を推進するとともに、衛生管理を徹底し、安全安心でおいしい給食の提供に努めた。</p>	評価	達成	
成果	<p>○遠野産の食材を積極的に使用し、地産地消の推進と消費拡大を図るとともに、栄養バランスのとれたおいしい給食を安全かつ確実に提供することができた。また、国体おもてなしメニューを給食に取り入れ、多彩なメニューを提供した。</p> <p>○アレルギー専用設備と人員配置により、アレルギーを持つ児童生徒に対し、主菜の代替食を継続して提供した。</p> <p>○「交流すまいる給食」を実施し、給食食材の生産者や関係者との共食を通して、食文化や地域の農産物への理解など食育の推進に努めた。</p> <p>○学校給食の試食の機会を、PTAや学校関係者だけでなく一般の方にも提供し、試食後のアンケートをその後の学校給食献立に反映させることができた。</p> <p>・給食実施校数 小学校 12校（うち1校は県立特別支援学校） 中学校 4校（うち1校は県立特別支援学校）</p> <p>・給食供給人数 2,232人</p> <p>・年間給食実施回数 168回（米飯 126回、パン 42回）</p> <p>○学校給食に使用する遠野産食材の割合（まちづくり指標） 目標値 65.5% 実績 67.6% 達成率 103.2%</p> <p>・平成28年度は、天候不良による野菜の不作と台風被害による地場産の野菜不足が影響したが、目標は達成することができた。</p> <p>・平成27年度まで実施していた「遠野まるごと給食」に代わり、平成28年度から「交流すまいる給食」を実施し、生産者や関係者等と共食することで、感謝の気持ちと食の大切さを培う機会となったほか、郷土食の継承と地域の農産物への理解を深める機会となった。</p>			

④学校と家庭、地域との連携の充実

施策の展開に係る全体総括	地域教育協議会や家庭教育ゼミナール等を通じ、岩手県が取り組む「みんなで教振！5か年プラン」を地域や家庭に周知することができた。
課題	地域教育協議会は、地域づくり連絡協議会や地区センター行事と類似性が高く、他団体との共催が協議会活動の中心となっている。

事業費名	地域教育文化振興事業費	平成28年度 決算額	79,714円		
担当課	市民センター生涯学習スポーツ課				
取組状況	子どもたちの学習環境の充実を目的に、児童生徒、保護者、地域関係者等を対象に、様々な課題に応じた講演会・研修会等を小・中学校等と連携して開催した。	評価	達成		
成果	<p>○小・中学校と連携して「家庭教育ゼミナール」を市内14会場で開催した。情報モラルや食育講座、東日本大震災の体験を踏まえた講演など、各校の課題やニーズに対応した講座を実施し、保護者等の家庭教育に対する意識の向上に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 14回 ・参加者数 1,033人 <p>○学校・PTA・地域による実践活動について、市内2小学校と教育委員会から事例発表を行う「地域で子どもを育てる活動発表会」と「家庭教育講演会」を同時開催した。秋田県東成瀬村の取組についての講演会と2小学校の事例発表を行い、地域の中で子どもたちを育てる機運を高めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 280人 <p>○家庭教育講座等の延べ参加者数（まちづくり指標） 目標値 1,200人 実績 1,313人 達成率 109.4%</p>				

(3) 高等学校への支援

①魅力ある高校づくり応援事業の推進

<p>施策の展開に係る 全体総括</p>	<p>奨学資金の償還は、奨学生自身が立てた償還計画（15年以内に償還）に基づき行われるが、滞納者からの未償還額の回収に時間を要している状況にある。</p> <p>現在奨学生に貸与している奨学金は、過去に貸与を受けてきた奨学生からの償還金によって成り立っていることを十分に説明するとともに、定期的な連絡や戸別訪問による催告により納付を促しているほか、償還計画の見直し等にも随時対応している。</p> <p>また、岩手県教育委員会の「新たな県立高校再編計画」において統合予定校とされた遠野高等学校及び遠野緑峰高等学校の2校を存続させ、中学生の多様な進路希望を実現させるため、両校への各種支援策を実施するとともに、両校の魅力を市内外の中学生、保護者、市民等に広く周知した。</p>
<p>課題</p>	<p>奨学資金償還金の滞納額は微減している状況であるが、長期滞納者については、定期的に本人及び保証人への連絡、催告等を行い、未償還額の回収に一層努める。</p> <p>また、岩手県教育委員会では、平成29年度を「新たな県立高校再編計画」における統合予定校の状況の判断の目処としていることから、市内外の中学生や保護者への両校の魅力の周知をさらに充実させるため、「高校魅力化アクションプラン」登載事業を確実に実行する必要がある。</p>

<p>事業費名</p>	<p>育英事業費</p>	<p>平成28年度 決算額</p>	<p>38,178,066円</p>	
<p>担当課</p>	<p>教育委員会事務局教務課</p>			
<p>取組状況</p>	<p>○遠野市奨学資金貸与条例に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって、経済的事由により修学困難な者に対し学資の貸与を行った。</p> <p>○遠野わらすっこプランの子育て支援策として、平成20年度から大学生等の採用枠を23人から30人に拡大している。</p> <p>○貸与額 高校生 15,000円以内/月 大学生等 40,000円以内/月</p>		<p>評価</p>	<p>概ね達成</p>
<p>成果</p>	<p>○新規奨学生の募集を行い、新たに27人の奨学生を決定し、継続奨学生59人と合わせて86人に奨学金を貸与した。</p> <p>○平成29年3月末で、継続奨学生のうち24人が貸与期間を満了した。また、平成28年度当初に2人、年度途中で2人の計4人から、自己都合による貸与辞退の申出があった。</p> <p>○貸付状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規奨学生 <ul style="list-style-type: none"> 採用数 27人（大学生等23人、高校生4人） 貸付額 11,680,000円 ・継続奨学生数 <ul style="list-style-type: none"> 人数 59人（大学生等56人、高校生3人） 貸付額 26,460,000円 			

事業費名	高校魅力化サポート事業費	平成28年度 決算額	1,258,684円	
担当課	教育委員会事務局中高連携サポート室			
取組状況	<p>○平成28年3月に岩手県教育委員会が策定した「新たな県立高校再編計画」の前期計画期間（平成28年～平成32年）において統合予定校とされた遠野高等学校及び遠野緑峰高等学校の2校を存続させ、地域の高校教育の質の維持と中学生の多様な進路希望を実現させることを目的に、「高校魅力化アクションプラン」を策定した。</p> <p>○併せて、両校の特徴的な取組に対する各種支援策を実施するとともに、市内外の中学生、保護者、市民等への両校の魅力の周知に努めた。</p>	評価	概ね達成	
成果	<p>○高校魅力化アクションプランの策定 中高生及び保護者対象のアンケート調査結果の分析により、進学や進路に関する意向の現状等を把握し、遠野市総合計画審議会、遠野市総合教育会議、高校再編を考える市民会議等での意見を取り入れ、「高校魅力化アクションプラン」を策定した。</p> <p>○両校の活動や魅力の周知に関する取組への支援 中学生や保護者への積極的な情報提供を行うとともに、中高生同士の交流や両校の新たな魅力の創出に関する取組への支援を行った。</p> <p>(1) 高校説明会の早期開催 (2) 両校の魅力紹介プロモーションビデオの作成業務委託 (3) 両校の一日体験入学への支援（中学生参加に係る送迎バス特別運行） (4) 高校生出前講座の実施、中学校文化祭への高校生の参加 (5) 両校の文化祭の周知支援（新聞折込チラシ配布、ケーブルテレビでの紹介） (6) 両校応援モバイルサイト「学び場遠野」の作成及び公開業務委託 (7) 地域学習やスマートフォンを活用した授業カリキュラムの検討、準備 (8) 小学校・中学校・高校教職員の授業交流会の実施 (9) 学力向上対策先進地視察研修（秋田県東成瀬村）の実施</p>			

2 生涯学習の推進

(1) 社会教育の充実

- ①総合推進体制の整備 ②家庭や地域教育の充実 ③成人教育の充実
④高齢者教育の充実 ⑤青少年の健全育成と指導者の養成

施策の展開に係る全体総括	学習講座の実施や、青年団体、女性団体、老人クラブ等各世代の活動支援を実施し健やかに人が輝くまちづくりを実践した。
課題	参加者や各種会員の確保が近年の課題となっているが、魅力ある講座の開催や活動を展開し、活動内容を広く周知することで関心を高めたい。

事業費名	学びのまちづくり推進費	平成28年度 決算額	55,088,671円	
担当課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	<p>○各地区センターにおいて地域のニーズ把握に努め、ちぎり絵や手芸講座など各種講座を開催した。</p> <p>○生涯学習講座、芸術振興事業に関する業務を一般財団法人遠野市教育文化振興財団に委託し、民間活力を活かした事業を推進した。</p>	評価	概ね達成	
成果	<p>○生涯学習講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IT講座、郷土理解講座、絵画教室等 45回開催 延べ 469人参加 ・青少年活動サポート事業 ・少年少女ふるさと発見探偵団 6回開催 延べ 159人参加 ・囲碁・将棋教室 8回開催 延べ 177人参加 <p>○芸術振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美川憲一コンサート 鑑賞者 860人 ・遠野市民センターバレエスタジオ第39回発表会 参加者38人 鑑賞者 530人 ・遠野少年少女合唱隊第27回発表会 参加者19人 鑑賞者 108人 <p>○全講座における継続的講座数（まちづくり指標） 目標値 5講座 実績 10講座 達成率 200%</p> <p>○市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数（まちづくり指標） 目標値 4,800人 実績 4,308人（うち各地区センター分 2,005人、外部委託分 2,303人） 達成率 89.8% ・講座を企画する際には、関係機関団体と連携し、より多くの市民が受講することができるような工夫をするよう支援していく。</p> <p>○中学生の海外派遣数（まちづくり指標） 目標値 9人 実績 9人 達成率 100.0% ・アメリカ合衆国テネシー州チャタヌーガ市に中学生を9名派遣した。 ・海外での生活を経験し、国際的な視野を持ち、他文化・他者への理解を深めることにより、人材育成を図ることができた。</p>			

事業費名	若者と女性の活躍推進事業費	平成28年度 決算額	1,532,124円		
担当課	市民センター生涯学習スポーツ課				
取組状況	青少年育成団体等及び女性団体の活動を支援した。	評価	達成		
成果	<p>○青年育成団体の活動支援</p> <p>①成人式実行委員会 新成人が主体的に式典を運営するために実行委員会を組織し、式典の企画・運営を自ら行うことで、新成人としての意識を高め、地域のために活動する意欲の醸成を図ることができた。 ・成人式への新成人の参加者数 221人</p> <p>②遠野わらすっこまつり 遠野市保育協会をはじめとする関係団体と協力し、様々な遊びや体験を通じて子どもたちの健やかな成長を促す機会を提供することができた。 ・参加者数 5,500人</p> <p>③青年団体協議会 青年団体協議会に補助金を交付し、合併10周年記念式典やスポーツ事業、出会い創出事業等の取組を支援した。</p> <p>○青年団体加入者数（累計）（まちづくり指標） 目標値 80人 実績 97人 達成率 121.3% ・遠野市青年団体協議会に対し補助金の交付と助言、指導等の活動支援を行い、会員の維持・確保と団体活動の活発化に努めた。今後も、団体活動が活発かつ円滑に進むようにサポートしていく。</p> <p>○女性団体の活動支援 ・女性の視点で地域と暮らしを支える活動に取り組む女性団体に対し、補助金の交付や助言・活動支援を行い、活動の活発化を図ることができた。 ・希望郷いわて国体では、郷土料理のお振る舞いを行い、全国からの選手や来場者を歓迎した。</p> <p>○各委員、協議会の女性参画率（まちづくり指標） 目標値 27.6% 実績 28.4% 達成率 102.9% ・条例等で設置されている4つの審議会等において、女性委員の登用人数が増えたことと、新たに調査対象となった審議会等において女性委員の登用率が高かったことにより、目標値を達成した。 ・今後も、女性委員の登用を呼びかけるとともに、女性の活躍に対する理解が進むよう、男女共同参画の啓発に努めていく。</p>				

事業費名	青少年健全育成活動事業費	平成28年度 決算額	1,438,189円	
担当課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	遠野市少年センターに関する規則に基づく街頭補導等の活動事業を実施した。		評価	達成
成果	<p>下校後から夕方にかけて遊んでいる児童生徒を対象に、少年委員による街頭補導を定期に実施し、青少年の健全育成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回回数 197回 ・参加延べ人数 597人（補導件数は0件） 			

事業費名	高齢者元気アップ活動事業費	平成28年度 決算額	2,938,201円	
担当課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	高齢者の心身の健康保持増進と他地域との交流を推進するため、各種大会等の実施を支援した。		評価	達成
成果	<p>○高齢者が生きがいを持ち、健康で豊かな生活を過ごすことができるよう、老人クラブ活動への支援を行った。また、老人クラブが組織的に活動し、会員及び老人クラブが意欲的に地域活動等に参加するよう指導・助言を行った。</p> <p>○各種スポーツ大会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲートボール・ペタンク大会 326人参加 ・女性部グラウンドゴルフ大会 140人参加 ・さわやかスポーツ大会 約400人参加 ・壮年部グラウンドゴルフ大会（台風により中止） ・いきいきシニアスポーツ大会 90人参加 ・健康ウォーキング 102人参加 ・シルバー室内競技大会 約400人参加 <p>○その他の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シルバー文化祭「展示部門・舞台部門」 舞台部門 約500人参加 ・県老人クラブ大会参加 26人参加 ・リーダー研修会 160人参加 ・女性部料理教室 24人参加 ・シルバー室内競技大会 24人参加 ・環境整備ボランティア 約140人参加 <p>○老人クラブ加入者数（累計）（まちづくり指標）</p> <p>目標値 2,570人 実績 2,564人 達成率 99.8%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国老人クラブ連合会、岩手県老人クラブ連合会が推進する会員増強運動と連動し市老人クラブ連合会においても会員拡大に取り組んだことにより、目標値を概ね達成した。 ・平成28年度は、休会していた単位クラブ（1団体）が活動を再開するなど、市老人クラブ連合会を中心とした積極的な取組が功を奏したことから、引き続き、魅力的で生きがいある老人クラブ活動の支援に努める。 			

事業費名	放課後子どもプラン推進事業費	平成28年度 決算額	2,706,975円		
担当課	市民センター生涯学習スポーツ課				
取組状況	児童を対象に、放課後や夏休み期間中の学習機会の提供を行い、家庭学習の習慣化を図るため、放課後子ども教室を実施した。	評価	達成		
成果	<p>市内全小学校区で学習アドバイザーと安全管理員を配置し、学校の一室や児童館等を活用して、放課後の時間（夏休みは午前中）に放課後子ども教室を実施し、家庭学習の習慣化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加延べ人数 12,406人 ・開催延べ日数 1,251人 ・一日当たり利用数 25.5人 				

(2) 芸術文化活動の推進

①芸術文化団体の育成と支援 ②創作芸術文化活動の振興

施策の展開に係る 全体総括	市民の芸術鑑賞を目的とした自主事業と、市民の芸術活動への支援として、芸術文化協会及び市民の舞台制作団体への補助を行った。
課題	芸術団体の活動を市民芸術祭にとどまらず、市民へのさらなる周知を図りたい。

事業費名	芸術文化振興事業費	平成28年度 決算額	3,632,960円		
担当課	市民センター生涯学習スポーツ課				
取組状況	市民センター自主事業を開催するとともに、芸術文化団体への支援を行い、市民協働による活動発表の場の提供等により、芸術文化の高揚を図った。	評価	概ね達成		
成果	<p>○市民センター自主事業の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美川憲一コンサート 鑑賞者 860人 <p>○自主事業の顧客満足度（まちづくり指標）</p> <p>目標値 85.0% 実績 83.5% 達成率 98.2%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞者に対してアンケートを実施した結果、多くの鑑賞者が、事業に満足しているという結果が得られた。今後も、市民に満足していただけるような自主事業を企画していく。 <p>○芸術文化団体への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第11回遠野市民芸術祭 合同茶会、舞台合同発表会、総合展示会、菊花展 参加者 443人 鑑賞者 3,165人 ・芸術文化協会等主催事業 <ul style="list-style-type: none"> 大ホール 2回 参加者 200人 鑑賞者 1,300人 中ホール 3回 参加者 130人 鑑賞者 190人 あえりあ遠野 1回 参加者 49人 みやもりホール 3回 参加者 100人 鑑賞者 500人 その他会場 4回 参加者 75人 鑑賞者 761人 <p>○市民協働による活動発表の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第42回市民の舞台 遠野物語ファンタジー「目覚めよ！進尽～未だ忍峠」 2日間、3回公演 参加者 360人、鑑賞者 1,447人 <p>○市民協働の芸術文化事業の参加者数（まちづくり指標）</p> <p>目標値 1,900人 実績 1,357人 達成率 71.4%</p> <p>○市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数（まちづくり指標）</p> <p>目標値 8,770人 実績 8,223人 達成率 93.8%</p>				

3 ふるさとの文化の継承・創造

(1) 郷土文化の保存と活用

① 博物館活動の推進

施策の展開に係る全体総括	<p>特別展や企画展を開催し、遠野の歴史や民俗、文化について市内外に発信するとともに、市民向けの講座や児童生徒を対象とした博物館教室を開催し、文化に親しむ機会を提供した。</p> <p>平成29年の伊能嘉矩生誕150年に向けて「伊能嘉矩に関する文化交流及び協力に関する協定」を国立台湾大学人類学系と締結、今後の交流に向けた環境を整えた。</p>
課題	<p>近年入館者数が減少傾向にあることから、魅力的な企画展や事業を実施し、より多くの方々に来館していただけるような工夫が必要である。</p> <p>伊能嘉矩生誕150年を機に、台湾との交流拡大に向けた施策の実施に努める。</p>

事業費名	博物館費	平成28年度決算額	14,860,448円	
担当課	遠野文化研究センター文化課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○特別展を開催し、遠野の歴史や民俗、文化について市内外に発信し交流人口の拡大を図った。 ○学校教育に対応した「博物館教室」を開催し、郷土愛の醸成を図り豊かな人間性を有する人材の育成に努めた。 ○市民対象の講座を開催し、文化に親しむ機会を提供した。 ○博物館資料の充実と資料の収集・整理・保存に努めた。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○夏季特別展「金山繁昌 —黄金に魅せられた人々—」や企画展「加守田章二とその弟子たち」、遠野町家のひなまつりに合わせた特別展「遠野のひな人形」を開催し、商工会と連携して、中心市街地への集客に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・特別展「金山繁昌 —黄金に魅せられた人々—」 観覧者数 4,694人 (会期 平成28年7月22日～9月19日) ・企画展「加守田章二とその弟子たち」 観覧者数 1,810人 (会期 平成28年10月14日～11月23日) ・特別展「遠野のひな人形」 観覧者数 1,741人 (会期 平成29年2月10日～3月12日) ○博物館入館者数(まちづくり指標) <ul style="list-style-type: none"> 目標値 20,000人 実績 16,349人 達成率 81.7% ・中心市街地の入込客数が減少したことや、夏季特別展の来館者数が昨年に比べて減少したことにより、目標に達しなかった。今後も、魅力的な特別展を開催し、PRを強化して目標の達成に努める。 ○児童生徒を対象とした博物館教室等を開催し、郷土の歴史、文化、民俗などの学習機会を提供し、市民の学習ニーズに応えた。 <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数 1,131人 ○博物館講座等の受講者数(まちづくり指標) <ul style="list-style-type: none"> 目標値 950人 実績 1,131人 達成率 119.1% 			

②図書館活動の推進

施策の展開に係る 全体総括	<p>本に親しむ場所を提供するため、館内で季節ごとの図書の企画展、映画会、ボランティア等による読み聞かせの活動を行いながら、利用者の拡大を図った。</p> <p>また、学校との連携を図りながら、図書の選書、研修会、読書ボランティアによる読み聞かせ活動に努めた。</p>
課題	<p>館内での企画展等やレファレンスサービスの充実に努め、利用しやすい、親しみやすい環境づくりに努めていく。</p>

事業費名	図書館費	平成28年度 決算額	23,149,175円	
担当課	遠野文化研究センター文化課			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○読書普及活動と図書館の利用促進、図書館資料の収集保存・館外奉仕活動と施設貸出の利用促進、自主活動グループへの支援と育成図書館総合システムを活用し、図書館業務の効率化と迅速化を図った。 ○図書館の利用促進につなげるため、広報紙、ホームページ等の情報発信に努めた。 ○学校図書館及び読書ボランティアとの情報共有を図るとともに、学校図書館、児童館及び福祉施設と連携し、貸出しに努め、配架図書の普及促進を図った。 ○移動図書館車の効率的な運行を推進し、読書の普及に努めた。 ○貴重な郷土資料、図書館資料の情報収集、整理、保存の適切な管理に努めた。 	評価	達成	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○図書の貸出しや図書館教室、館内での企画展の開催などの活動を通じて、子どもたちが本に親しむ機会を増やし、読書環境を整備した。 ○児童を対象にした図書館教室、総合学習のための資料の貸出し、多読者表彰を実施し、図書館の利用と読書普及を図ることができた。 ○中高生を対象に職場体験学習を実施したほか、職場体験研修を受け入れるなど、図書館への関心を高めた。 ○移動図書館車を巡回し、利用者の利便性を図った。 ○本の読み聞かせなど自主的に活動しているグループに、館内外活動の支援として本の貸出しを実施した。 ○岩手の読書週間に遠野地区学校図書館協議会と連携して、「読書と子ども」をテーマに講演会等を行い、読書活動の推進を図った。 ○台風10号により水損被害を受けた図書資料を用いて、自然災害時などの有事において迅速な資料救出活動を行う人材育成のため、「水損資料レスキュー」講習会を実施した。 			

<p>○図書館の利用者数（まちづくり指標） 目標値 16,300人 実績 17,972人 達成率 110.3%</p> <p>○市民への図書貸出冊数（まちづくり指標） 目標値 65,200冊 実績 68,528冊 達成率 105.1%</p> <p>○移動図書館車の貸出冊数（まちづくり指標） 目標値 11,200冊 実績 11,899冊 達成率 106.2%</p> <p>○学校図書館等への貸出冊数（まちづくり指標） 目標値 20,900冊 実績 20,930冊 達成率 100.1%</p>
--

事業費名	ブックスタート事業費	平成28年度 決算額	399,176円	
担当課	遠野文化研究センター文化課			
取組状況	<p>○遠野市に生まれた赤ちゃんとその親、家族が、本を通じたふれあいの中からお互いに幸せを感じ、成長するための機会をつくった。</p> <p>○子どもが生まれたときから本と触れ合うことにより、本に興味をもってもらうための取組を行った。</p>	評価	達成	
成果	<p>○遠野健康福祉の里での1歳児健康相談時に、本等の配布を実施した。 参加できなかった対象者へは、後日、民生児童委員を通じて配布を実施した。 ・対象者 164組（配布率100%） 1歳児健康相談時に配布 140組 民生児童委員による配布 24組</p> <p>○1歳児健康相談時に、絵本等の読み聞かせや本の紹介を行い、図書館の利用の促進を図ることができた。少子化により対象者は微減しているものの、本を手にとって身近に活用できることから、好評を得ている。 ・読み聞かせ回数 12回 ・対象者 164組</p>			

事業費名	視聴覚教育振興費	平成28年度 決算額	401,987円	
担当課	遠野文化研究センター文化課			
取組状況	遠野市立図書館内、市内の児童館等の施設を利用し、映画会等の開催及び学習教材としての映像での情報を広く伝えた。	評価	達成	
成果	<p>○遠野市立図書館内 子ども映画会 12回 参加者数 82人 特別子ども映画会 4回 参加者数 40人</p> <p>○市内児童館（11館）特別映画会 11回 参加者数 496人</p>			

(2) 文化財の保護と継承

- ①文化財調査・保護 ②郷土芸能活動の推進
③遠野遺産の認定と保護活動及び活用の推進

施策の展開に係る 全体総括	<p>文化財の指定、遠野遺産の認定、説明板の設置、郷土芸能保存育成の補助・支援を行った。また、記録保存を目的とした発掘調査を実施し、資料のデータベース化を推進した。</p> <p>国指定重要文化財千葉家住宅の保存修理工事関連事業を計画どおり実施し、保存活用委員会の開催、「重文千葉家の活用を考える会」の活動支援を通じて、保存活用基本計画の策定に向けた取組を推進したことにより、目標は概ね達成された。</p>
課題	<p>文化財の保護と活用を目的とした調査を継続していくとともに、少子高齢化を踏まえた情報収集と情報発信、後継者の育成に努めていく必要がある。</p>

事業費名	文化財調査保護費	平成28年度 決算額	3,602,225円		
担当課	遠野文化研究センター文化課				
取組状況	文化や歴史を物語る貴重な文化財の調査・保護、啓発を行うことにより、文化の向上を図った。	評価	達成		
成果	<p>○「旧遠野寶物館」の調査を実施し、国の登録無形文化財としての価値付けを行うとともに「鞍迫観音堂算額」の調査を実施し、岩手県指定有形文化財として指定を受けた。</p> <p>○指定文化財「青笹のエゾエノキ」の樹勢回復事業を実施し、文化財の保護を図るとともに「田屋の大杉」「早池峯神社黒門」「旧遠野寶物館」の文化財説明板3基を更新・新設し周知に努めた。</p> <p>○指定文化財説明版設置件数（累計）（まちづくり指標） 目標値 90基 実績 93基 達成率 103.3%</p> <p>○郷土芸能の保存育成を目的として、「細越しし踊り」「一日市南部ばやし」「白山神楽」「塚沢神楽」の4団体に対し、備品整備費用を補助した。また、郷土芸能共演会及び神楽共演会の活動に対する支援を行った。</p> <p>○民俗芸能の映像記録件数（累計）（まちづくり指標） 目標値 24件 実績 24件 達成率 100.0%</p>				

事業費名	埋蔵文化財発掘調査費	平成28年度 決算額	9,854,912円		
担当課	遠野文化研究センター文化課				
取組状況	緊急開発に伴う発掘調査、埋蔵文化財分布調査・試掘調査・調査整理作業・調査報告書の作成により、各種開発事業の円滑な実施と埋蔵文化財の保護・活用を図り、文化の向上に努めた。	評価	達成		

成果	<p>○各種開発行為に伴う埋蔵文化財の取扱いについて調整し、開発行為が遺跡に該当した場合試掘調査を行い、円滑な事業の実施と埋蔵文化財の保護に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺跡照会回答数 142件 ・試掘調査 9件 <p>○個人住宅の建築に伴い、「和山遺跡」の発掘調査を行い、消滅する遺跡の記録保存を図った。</p> <p>○公開活用を視野に、市内遺跡出土遺物のデータベース作成を推進するとともに、「佐比内鉄鉱山遺跡展」「ミニひな祭り展」といった企画展を開催し、調査の成果を公開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベース入力 7遺跡分 3,022件 <p>○「縄文土器作り教室」「勾玉作り教室」などの文化財教室を開催し、埋蔵文化財に関する知識の普及啓発に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財教室 4回開催 参加者 151人
----	---

事業費名	重要文化財千葉家住宅整備事業費	平成28年度 決算額	59,696,827円	
担当課	遠野文化研究センター文化課			
取組状況	<p>○国指定重要文化財千葉家住宅を今後100年保存活用していくため、保存修理工事を実施し、併せて防災施設整備計画及び整備活用基本計画の策定に向け、各種調査、有識者及び市民の意見聴取のための委員会等を開催した。</p> <p>○事業の周知及び完成後の活用のため整備事業の映像記録を行った。</p>	評価	達成	
成果	<p>○保存修理工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土蔵は1階床板の解体、石蔵は後補の腰壁モルタル塗の解体を行った。 ・ハセ小屋は部材の調査を行いながら全解体を行った。 ・納屋は庇の一部を解体した。 ・主屋及び土蔵の解体のための足場設置のため、外便所及び鳥小屋を解体した。 ・解体部材の保存小屋を2棟設置し、防災道路からの仮設鉄橋を設置するなどの工事を実施した。 <p>○整備活用基本計画の策定作業等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を2回、復原ワーキンググループを2回開催し整備に関する検討を行った。 ・市民組織である「重文千葉家の活用を考える会」や高校生を交えて学習会等を行ったほか、周辺地域の建物等の各種調査を実施した。 ・整備事業に関する映像記録を行った。 <p>○防災施設整備調査</p> <p>消火配管理設位置掘削調査、稲荷社裏岩石ボーリング調査、避雷針接地抵抗調査、各種設備に関する調査を実施し、計画の素案をまとめた。</p>			

事業費名	重要文化財千葉家住宅整備事業費（継続費）	平成28年度 決算額	20,005,511円		
担当課	遠野文化研究センター文化課				
取組状況	平成27年度に入札不調のため着工できず繰り越した保存修理工事を速やかに着工し、必要な共通仮設工事を実施した。	評価	達成		
成果	保存修理工事に着工し、工事用通路の造成1,260㎡等を完成することができた。				

事業費名	文化的景観保存事業費	平成28年度 決算額	520,412円		
担当課	遠野文化研究センター文化課				
取組状況	<p>○国選定重要文化的景観「遠野荒川高原牧場 土淵山口集落」の保存及び活用を図るため、地域住民と景観点検を実施し、平成27年度に改修工事を実施した「山口の水車小屋」の活用の取組を支援した。</p> <p>○遠野の景観保存調査委員会を開催し、土淵山口集落の整備活用計画策定に向けた準備を進めた。</p>	評価	達成		
成果	<p>○地域の祭りにあわせて水車小屋改修工事完成披露会を開催するとともに、山口集落散策ガイド改訂版に水車小屋改修の経過を掲載し、改修した水車小屋の周知を図った。 ・山口集落散策ガイド改訂版印刷 5,000部</p> <p>○遠野市教育文化振興財団と連携し、地元住民が講師となって、遠野少年少女ふるさと発見探偵団に参加した小学生が水車小屋で粉挽きを体験した。</p> <p>○全国文化的景観地区連絡協議会金沢大会に参加し、山口地区の自治会長が事例発表を行い全国の景観地区との情報交換を行った。</p> <p>○遠野の景観保存調査委員会を開催し、山口集落整備計画策定に向けた方針を確認した。</p>				

事業費名	歴史文化基本構想策定事業費	平成28年度 決算額	2,910,842円		
担当課	遠野文化研究センター文化課				
取組状況	「永遠の日本のふるさと遠野」を具現化するため、文化を活かした地域づくりを推進する資料として、市内の指定・未指定を問わない多岐にわたる文化財情報を収集・整理し、その特徴や特性を明らかにすることをもって、文化財保護の方針や具体的な方法など、今後の文化財保護行政の根幹となる指針を基本構想としてまとめる。	評価	概ね達成		
成果	既存の文化財調査資料（指定文化財、埋蔵文化財、遠野遺産、石碑、郷土芸能、民俗資料等）について、種別ごとの一覧表と分布図を作成して整理を行い、基本構想を検討するための基礎資料をまとめた。				

事業費名	遠野遺産認定事業費	平成28年度 決算額	1,299,282円	
担当課	遠野文化研究センター文化課			
取組状況	<p>○市民から推薦された地域の文化的資産を「遠野遺産」として認定し光を当て、遠野遺産をめぐる活動を支援することにより、市内にある文化的遺産、自然遺産を市民協働で次世代に守り伝え、活気ある地域づくりを推進した。</p> <p>○市民センター市民協働課との連携により、活動に対する補助金の適用、活動に対する助言等を行った。</p>	評価	達成	
成果	<p>○新規の遠野遺産6件（新里の愛宕神社・卯子酉神社・程洞稻荷神社・長岡大日神社・鷹鳥屋獅子踊り・下同心丁枅形と法華題目の碑）を認定し、累計数は149件となった。</p> <p>○遠野遺産認定件数（まちづくり指標） 目標値 144件 実績 149件 達成率 103.5%</p> <p>○遠野遺産表示板等の設置、ガイドブック作成、広報遠野、視察・学習会対応を通じた周知・情報発信に努め、遺産保護活動が促進された。 ・遠野遺産表示板設置 3基 ・ガイドブック作成 3,000部 ・視察・学習会対応 6件</p> <p>○「みんなで築くふるさと遠野推進事業」を活用した環境整備事業等（鍋倉城跡、能傳坊神社、八坂神社、小友町裸参り、加茂神社、遠野南部ばやし、綾織駒形神社、新山神社、菅原神社、山口の薬師堂、行山流湧水鹿踊、一日市のお雛見）が実施され、市民協働の地域づくりが推進された。</p> <p>○遠野遺産保護活用活動実施割合（実施団体数／認定件数）（まちづくり指標） 目標値 60% 実績 100% 達成率 166.7% ・遠野遺産145件の推薦団体に対してアンケート調査を実施し、すべての遠野遺産の保護活動が行われ、認定後も地域の宝として保護されていることを確認した。</p>			

(3) 郷土の文化を生かした地域創生

- ①郷土文化の調査・研究の推進 ②次世代へのふるさと文化の継承
③市史編さん事業の推進

施策の展開に係る 全体総括	<p>遠野の歴史文化について調査研究し、地域に密着した発信力のあるテーマの学習活動を積み重ね、目標を達成することができた。</p> <p>遠野の文化を継承・発展する「遠野こだわりの語り部」を、小学校等との連携を図りながら発掘、育成した。</p> <p>また、市史編さん委員会を開催し、市民の調査研究員と協働して資料収集や教育普及等の市史編さん事業に努めた。</p>
課題	<p>今後も、遠野の文化を広く発信し、郷土の文化を担う人材の育成を図り、市民と協働しながら、刊行に向けて市史編さん事業を着実に推進していく。</p>

事業費名	遠野文化調査研究費	平成28年度 決算額	15,118,058円	
担当課	遠野文化研究センター調査研究課			
取組状況	<p>○遠野の文化を多角的に解明するとともに、次代を担う「人づくり」と未来を見据えた「まちづくり」を推進するため、遠野の文化に関する調査・研究に努めた。</p> <p>○出版物の刊行やフォーラムの開催などにより、研究成果の公開や啓発を行った。</p>	評価	達成	
成果	<p>遠野の文化を解明し、広く発信するため、以下の事業等を実施し、多くの参加者に遠野の文化を発信することができた。</p> <p>○遠野文化フォーラムの開催（平成28年8月21日・22日） 参加者 380人 遠野文化賞表彰、遠野遺産認定証及び遠野こだわりの「語り部」認定証の交付、遠野遺産活用事例発表、講演・シンポジウム「『遠野物語』の新時代」 参加者 380人</p> <p>○市民講座 顧問等による講座・遠野学叢書講座などの土曜講座、金曜夜の読書会、遠野学会など 開催数 19回 総参加者 447人</p> <p>○遠野文化研究センター活動の参加者（まちづくり指標） 目標値 400人 実績 827人 達成率 206.8% ・遠野の歴史や文化を学ぶ土曜講座（7回）では、野外や地区センターを会場にして活動の幅を広げるとともに、金曜夜の読書会「遠野古事記を読む」（11回）、昔話教室（3回）、遠野学会などの学習活動を積み重ねた。</p> <p>○遠野文化研究センター活動の参加者満足度（11段階評価）（まちづくり指標） 目標値 6.3点 実績 8.4点 達成率 133.3% ・遠野文化研究センター活動の実施ごとに、顧客推奨度指標11段階評価のNPS（ネット・プロモーター・スコア）による参加者アンケートを実施した結果、平均値8.4点の高い評価を得た。</p>			

<p>○出版事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠野学叢書 『三陸文化復興プロジェクトー遠野1500日の記録』 500部 『遠野案内』 300部 『上閉伊西部教育資料郷土のすがた』 300部 ・遠野文化フォーラム報告書 300部 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年に生誕150年を迎える郷土史家・台湾人類学者の伊能嘉矩の講座を遠野文化友の会と共催し、郷土研究に大きな足跡を残した伊能の功績を学ぶきっかけづくりを行った。 ・貴重な郷土資料をデジタル化し保存するため、ボランティア活動により資料保存に努めた。

事業費名	遠野「語り部」1000人プロジェクト事業費	平成28年度 決算額	1,484,596円	
担当課	遠野文化研究センター調査研究課			
取組状況	遠野の豊かな文化を継承・発展させるため、多様なジャンルの「語り部」を遠野の大切な人的文化資源と位置づけ、「昔話」「歴史」「郷土芸能」「食」「生業」の5ジャンルの「語り部」を育成し、遠野のにぎわい創りのきっかけとして、交流人口の拡大につなげた。	評価	達成	
成果	<p>○平成28年度の認定者数は45人（昔話2人、子ども語り部37人、食5人、生業1人）で、累計者数は837人となった。</p> <p>○遠野こだわりの「語り部」認定者数（まちづくり指標） 目標値 800人 実績 837人 達成率 104.6% →子ども語り部については、学校との連携を図りながら取り組むことができた。 認定語り部のためのスキルアップセミナー等を通じて研修の機会と場を提供した。</p> <p>○語り部スクーリングのほか、食の語り部研修会、初心者向けの昔話教室などを開催し、新たな語り部の発掘に努め、計画値を上回ることができた。</p> <p>○中心市街地の空き店舗を利活用し、語り部スポットを2箇所開設して語りを披露するなど中心市街地のにぎわいの創出につなげることができた。</p>			

事業費名	「遠野市史」編さん事業費	平成28年度 決算額	2,850,419円	
担当課	遠野文化研究センター市史編さん室			
取組状況	<p>○『遠野市史』『宮守村誌』は、いずれも昭和50年前後の刊行で、発刊から40年以上が経過しており、その後の市村合併を含め、市政の大きな転換期をまとめた現代編や通史編の必要性が求められているとともに、歴史的資料や人々のくらしに関わる資料の散逸、途絶なども懸念される。</p> <p>○このことから、「永遠の日本のふるさと遠野」として後世に引き継ぐべき資料を収集整理しながら遠野の歴史、文化を総合的にまとめるため、市史の編さんを行う。</p>	評価	達成	

	<p>平成31年度 現代編刊行 平成38年度 通史編刊行 平成39年度 民俗編刊行、遠野南部氏遠野統治400年イベントの開催</p> <p>○平成28年度から平成38年度にかけて、遠野市史編さん委員会、資料調査、執筆作業、収集資料を活用した講座などの開催による人材育成を進める。</p> <p>○遠野南部家資料、収集資料を収めた「資料編」を随時刊行する。</p>		
<p>成果</p>	<p>○遠野市史編さん委員会を2回（5月29日、11月27日）開催し、事業計画の審議、進捗状況の確認等を行った。</p> <p>○調査研究員による資料収集や古文書解読作業を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究員活動 <ul style="list-style-type: none"> 現代編担当 会議及び資料収集 17回 古文書担当 解読会 20回 ・資料調査 <ul style="list-style-type: none"> 遠野南部家資料調査 2回 通史編に関する調査 7回 現代編に関する調査 1回 <p>○人材育成として、市史編さん講座や古文書講座など、遠野の歴史や文化に触れる学習機会を提供し、参加者アンケート結果は高評価であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市史編さん講座「中世の東北と遠野」（7月2日開催）参加者 64人 ・古文書講座「はじめての古文書」（夜の部）（11月17日、24日、12月1日開催） 参加者 延べ58人 ・古文書講座「はじめての古文書」（午前の部）（1月19日、26日、2月2日開催） 参加者 延べ41人 ・古文書整理ボランティア活動 登録者 13人 活動回数 9回 <p>○広報活動（市広報で特集、ホームページ等）、資料の収集</p> <p>○市史編さん事業進捗率（まちづくり指標） 目標値 100% 実績 100% 達成率 100.0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各年度の事業進捗率については、①市史編さん委員会開催 ②資料収集・調査 ③刊行のための実務作業 ④教育普及・広報 の4項目（1項目を25%と設定）をすべて実施した場合に100%となるよう設定した。平成28年度は、上記のとおり4項目すべての事業を実施したことから、進捗率100%を達成した。 		

4 健康づくりの推進

(1) 健康づくり活動の推進

①健康づくり総合プログラムの推進 ②スポーツの振興

施策の展開に係る 全体総括	遠野市健康づくり総合大学「とすぼ」本校教室及びサテライト教室並びに大学祭の参加者が増加傾向にあることから、市民の健康づくりへの関心が高まりつつある。 また、小学校、保育園等に専門の外部講師を派遣することにより、児童の競技力の向上に寄与し、幼児期に楽しんでスポーツに親しむ機会を提供することができた。
課題	遠野市健康づくり総合大学「とすぼ」サテライト校の参加者は前年度より増えているものの、本校教室と比べると少ないことから、開催方法を検討する必要がある。 また、各種教室で例年開催している種目だけではなく、より多くの種目を参加者が体験することができるように検討したい。

事業費名	健康スポーツプログラム推進事業費	平成28年度 決算額	3,348,713円		
担当課	市民センター生涯学習スポーツ課				
取組状況	遠野市健康づくり総合大学「とすぼ」による健康づくり教室を本校（市民センター）とサテライト校（地区センター）で開催し、定期的に運動する機会を提供して健康増進の意識付けを図った。	評価	達成		
成果	<p>○本校教室、サテライト校教室、とすぼ大学祭のすべてについて、前年度より参加者が増加し、健康づくりに取り組む市民を増やすことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校教室 112回 延べ 1,771人参加 ・サテライト校教室 67回 延べ 1,065人参加 ・とすぼ大学祭 1回 230人参加 <p>○健康スポーツプログラム参加者数（まちづくり指標） 目標値 2,000人 実績 3,066人 達成率 153.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校では、1年を通して「わくわくフィットネス」「エンジョイ水中ウォーキング」「パワフルエクササイズ」の3つの教室を開催し、サテライト校では、スラックライン等地域のニーズに合わせた教室を開催した。 ・とすぼ大学祭では、元プロ野球選手による「ベースボールクリニック」、高齢者対象の「健康体操講習会」、児童対象の「スイミング教室」を開催した。 ・参加者は、平成26年度から増加傾向にある。 				

事業費名	子どもの体づくりプログラム推進事業費	平成28年度 決算額	870,420円	
担当課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	<p>○児童の運動能力の向上を図るため、希望する小学校に講師を派遣した。（児童運動能力アップトレーニング）</p> <p>○児童のバランス感覚や運動能力の向上を図るため、保育園等に講師を派遣した。（キッズ元気アップ応援隊）</p>	評価	未達成	
成果	<p>○児童運動能力アップトレーニングでは、希望した小学校の水泳教室に24回、スケート教室に5回講師を派遣した。特に、水泳教室は市内水泳記録会前に開催され、大会前の強化練習に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内8小学校（29教室） 延べ 1,238人参加 <p>○キッズ元気アップ応援隊では、プールでの顔つけや希望郷いわて国体に向けた「わんこダンス」を取り入れ、運動する楽しさを体験させることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内14保育園等（70教室） 延べ 1,239人参加 <p>○キッズ元気アップ教室参加者数（延べ人数）（まちづくり指標）</p> <p>目標値 1,550人 実績 1,239人 達成率 79.9%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は、各地区の子育てサークルとの連携や子育て支援センター「まなざし」での未就学児を対象とした教室を工夫し、参加者の拡大に努める。 			

事業費名	競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	平成28年度 決算額	14,749,482円	
担当課	市民センター生涯学習スポーツ課			
取組状況	<p>○多くの市民がスポーツを通じて健康増進と豊かなライフスタイルを実現できる環境の整備・充実を図った。</p> <p>○児童・生徒の健全育成を目的に、スポーツ少年団の育成と活動を支援し、専門的指導者によるジュニアスポーツのレベルアップに努めた。</p> <p>○スポーツ指導者の育成に努めるとともに、各種スポーツイベントを開催した。</p>	評価	達成	
成果	<p>○第34回日本のふるさと遠野じんぎすかんマラソンを8月28日に開催した。当日は、ホップ収穫祭も開催され、参加ランナーも気軽に足を運ぶなど、市街地の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者 1,634人（市内445人、市外1,189人） <p>○児童・生徒の健全育成を図るため、スポーツ少年団の育成と活動を支援し、3単位団が全国大会に出場するとともに、専門的指導者によるジュニアスポーツのレベルアップに努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ団体運営等補助 3団体 ・スポーツ講演・実技指導会の開催 全3回 ・スポーツ少年団全国大会出場 3単位団 			

- 市内スポーツ大会の開催や競技団体の育成を図るため、遠野市体育協会を支援した。またトップアスリートの育成に定評のある指導者を招いてスポーツ講演会を開催し、多くの参加者が指導法について学んだ。
 - ・岩手県民体育大会出場 18種目 210人
 - ・全国高校サッカー選手権大会出場に係る寄附金 3,000,000円
- 希望郷いわて国体には、7種目（サッカー、空手道、陸上、ソフトボール、ボクシング、馬術、スケート）に遠野市在住、在学、在勤等の選手13人が出場した。
- スポーツ施設利用者数（まちづくり指標）
 - 目標値 205,000人 実績 225,056人 達成率 109.8%
 - ・希望郷いわて国体の開催に向けて天然芝を養生するため、国体終了するまでの間、遠野運動公園の陸上競技場と多目的運動広場の利用を制限した。
 - ・市民サッカー場は、人工芝に張り替えてから年間4万人を超える利用者数となり、張替え前の約2倍の利用者数となっている。
 - ・市民体育館は、改修してから年間7万人近い利用者数となり、改修前の利用者数に戻りつつある。

③食育の推進

施策の展開に係る 全体総括	<p>各ライフステージに合わせ、必要とされる食を要とした健康に関する知識や技術の普及により、対象者の健康に対する意識づけを図った。</p> <p>さらに、高校生の「貧血克服！食生活改善教室」の対象者が年々減少傾向にあるなど、継続した事業の効果も得られている。</p> <p>また、減塩を意識している家庭が増え、脳卒中予防など健康と食への関心が広がっている。</p>
課題	<p>中学生から高校生へと学年が上がるにつれて朝食の欠食率が上がっていることや、生活環境の変化に伴う食習慣の変化への対応が必要とされる。</p> <p>また、高齢化に伴う食生活改善推進員の減少や高齢者への低栄養予防の支援がより必要とされる。</p>

事業費名	ばすぼる推進事業費	平成28年度 決算額	1,435,996円	
担当課	総合食育センター総合食育推進課			
取組状況	<p>○子どもから高齢者まで生涯にわたって明るく充実した生活を送るためには「食」が基本であることの認識に立ち、第2次食育推進計画「とおのっこプラン」を推進した。</p> <p>○食育及び栄養・食生活改善を推進するため、健康づくりサポーター（食生活改善推進員）の資質向上と組織の育成を支援した。</p> <p>○「とおのっこプラン」推進のため、食育関係団体や機関代表者によるネットワークを立ち上げた。</p>	評価	達成	

<p>成果</p>	<p>○ライフステージに合わせた調理実習や講演会の開催</p> <p>①小・中学生対象（小学生 18回、274人 中学生 4回、481人） ちびっこ栄養教室やおやこ食育講座などを通して、料理ができる力・食べ物を選ぶ力を身につける機会を提供した。</p> <p>②高校生対象（高校生 2回、38人 講演会 1回、160人） 講演会や食育講座を通して、自立に向けた食生活の基礎づくりのきっかけを提供した。</p> <p>③成人・高齢者対象 減塩やバランス食、高齢者には低栄養予防の支援により、食生活を見直す機会を提供した。</p> <p>○イベントの開催と料理カード集の作成</p> <p>①食育まつりや「ぱすぼるヘルスアップライブ」を開催し、食育について市民に周知し、食育の拠点「総合食育センターぱすぼる」の認知度を高めた。 ・ぱすぼる食育まつり 1回 300人参加 ・食と健康の集い 1回 150人参加</p> <p>②食生活改善推進員の協力により、「広報遠野」に連載している料理をまとめたカード集を作成し、食と健康についての関心を高めた。</p> <p>○食生活改善推進員の資質向上と組織育成の支援 減塩弁当コンテストや脳卒中予防寸劇コンクール入賞などの技術を発揮し、地域で開催した健康づくり講座に生かした。 ・食生活改善推進員研修会 47回 490人</p> <p>○遠野市食育推進ネットワーク会議の設置 ネットワーク会議を設置し、関係団体・機関で情報共有を行い、食育イベントを開催した。</p> <p>○朝食をとる習慣のある子どもの割合（まちづくり指標） 目標値 95.0% 実績値 96.8%（小学生98.5%、中学生92.1%） 【参考：高校生88.5%】 達成率 101.9% ・実績値が目標値を上回ったが、小学生から高校生までの割合を比較してみると、小・中・高と学年が上がるにつれて割合が低くなっていることから、高校生へのアプローチの強化を図っていく。</p>
-----------	---

5 子育て支援の推進

(1) 少子化対策・子育て支援

①少子化対策・子育て支援総合プランの推進 ②子育て支援の充実

<p>施策の展開に係る 全体総括</p>	<p>地域で子育てを応援する新規事業として、ファミリー・サポート・センター事業を開始した。育児の援助を受けたい者とそれを手伝いたい者を会員として組織化し、地域における相互援助活動を展開することにより、子育て支援機能の強化が図られた。</p> <p>また、保育士不足解消のため、国が定める「子育て支援員研修事業実施要綱」に基づき、保育補助者としての必要な知識や技能等を習得する支援員研修会を実施した。</p> <p>ひとり親世帯への新規支援としては、個別訪問を実施し、それぞれのニーズを調査した上で、高等職業訓練等給付金の支給など必要な支援の構築を図った。</p> <p>わらすっこプランに基づくライフサイクルを切れ目なく支援することができた。</p>
<p>課題</p>	<p>ライフサイクルにおける「出会い・結婚・出産・子育て・就職」のうち、少子化対策の一環として、出会い創出事業を重点として事業を構築する必要がある。</p> <p>市外の特別支援学校の寄宿舎で生活している児童について、保護者の送迎に関する負担の軽減を図るため、市として送迎サービスの充実を図る必要がある。</p>

<p>事業費名</p>	<p>家庭児童・女性相談事業費</p>	<p>平成28年度 決算額</p>	<p>4,694,446円</p>	
<p>担当課</p>	<p>子育て総合支援センター子育て総合支援課</p>			
<p>取組状況</p>	<p>○家庭相談員を配置し、児童養育上の相談、家庭、身上の相談及び指導を行った。また、関係する各機関と連携し、発達障がいや児童・生徒の問題行動などについて適切な指導及び助言を受けることができるようにした。</p> <p>○女性相談員を配置し、いろいろな悩みや問題を抱えた女性からの相談に応じ、問題解決のために必要な支援及び助言を行った。</p> <p>○経済的、社会的に多くの困難を抱えるひとり親世帯の実情を把握し、要保護者自立に必要な相談指導を行った。</p>		<p>評価</p>	<p>概ね達成</p>
<p>成果</p>	<p>○庁内関係機関のほか、民生児童委員、警察、学校、岩手県福祉総合相談センターとの連携を図り、問題や困りごとの早期解決の糸口をつかむことができた。</p> <p>○家庭相談件数 76件 内訳 養護相談 53件 保健相談 1件 障がい相談 8件 育成相談 14件</p> <p>○女性相談件数 320件</p>			

事業費名	児童福祉事務費（繰越明許費）	平成28年度 決算額	814,320円		
担当課	子育て総合支援センター子育て総合支援課				
取組状況	子ども・子育て支援法施行令等の一部改正に伴い、多子世帯に係る保育料の負担軽減措置が拡充等されたことから、関連情報システムの改修を行った。	評価	達成		
成果	多子世帯に係る保育料の負担軽減措置の拡充等に対応するため、関連情報システムの改修を行った。				

事業費名	看護保育安心サポート事業費	平成28年度 決算額	12,090,674円		
担当課	子育て総合支援センター子育て総合支援課				
取組状況	遠野わらすっこプランの理念に基づき、子育て環境整備の一環として整備した遠野市病児等保育施設「わらっぺホーム」を社会福祉法人遠野市保育協会に委託して運営することにより、子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成を図った。	評価	達成		
成果	<p>○核家族化や両親の共働き世帯が増える中、病気の子どもを保育する「わらっぺホーム」の需要は高く、登録者数は増加傾向にある。</p> <p>○子育てと就労の両立を支援するための施設としての役割を果たし、安心して子育てができる環境の維持に寄与した。</p> <p>○利用実績等（平成25年度から）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度（開設日数 241日） 登録者数 216人、年間利用者数延べ 553人（1日平均 2.29人） ・平成26年度（開設日数 242日） 登録者数 211人、年間利用者数延べ 527人（1日平均 2.18人） ・平成27年度（開設日数 241日） 登録者数 226人、年間利用者数延べ 591人（1日平均 2.45人） ・平成28年度（開設日数 242日） 登録者数 237人、年間利用者数延べ 553人（1日平均 2.29人） 				

事業費名	わらすっこの居場所事業費	平成28年度 決算額	108,041,440円		
担当課	子育て総合支援センター子育て総合支援課				
取組状況	両親が働いているなど、昼間家庭に保護者がいない児童の放課後の健全育成を図るため、児童館や児童クラブを利用した学童保育を行うとともに、健全な遊びを通して、児童の健康増進と豊かな情操を育んだ。	評価	達成		

成果	<p>○児童の放課後等の健全育成を図るため、社会福祉法人遠野市保育協会に管理運営を委託し児童館や児童クラブを利用しながら放課後の児童の健康管理や情緒の安定を図るとともに遊びを通して自主性や社会性、創造性を培う等、健康増進や豊かな情操教育に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館指定管理料 74,189,000円 ・児童クラブ運営業務委託 30,291,000円 <p>○育成団体等運営費補助金を交付し、親子行事や世代間交流事業等の様々な体験活動の事業実施に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠野市児童館及び児童クラブ育成団体等運営費補助金 3,110,000円 ・備品購入費 451,440円 <p>○児童館・児童クラブ年間利用延べ人数（まちづくり指標） 目標値 137,900人 実績 135,305人 達成率 98.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館及び児童クラブが地域交流事業など、特色ある活動に取り組んでいる一方、利用数が減少したことは児童数の減少が影響していることも原因のひとつである。 ・今後も、児童の健全育成の場、子どもの居場所として、活動内容の充実や児童館施設の計画的な整備を図り、利用者のニーズに沿った管理運営に努める。
----	--

事業費名	児童扶養手当給付費	平成28年度 決算額	106,190,688円	
担当課	子育て総合支援センター子育て総合支援課			
取組状況	児童扶養手当法に基づき、父又は母等のひとり親家庭に児童扶養手当を支給することにより、生活の安定と自立促進に寄与した。		評価	達成
成果	<p>○ひとり親家庭等の保護者で、支給要件に該当する児童を養育している親に児童扶養手当を支給した。</p> <p style="margin-left: 40px;">平成29年3月末現在 受給資格者数 252人 うち 手当基本月額全部支給者 75人 " 一部支給者 139人 " 全部停止者 38人</p> <p>○手当の支給のみならず、ニーズに合った各種支援につなげるため、現況届提出の際にアンケートを実施したほか、ひとり親家庭相談会実施の周知、戸別訪問を行い、ひとり親家庭等の生活の安定と自立促進に寄与した。</p>			

事業費名	子育て応援宣言のまち推進事業費	平成28年度 決算額	7,618,242円	
担当課	子育て総合支援センター子育て総合支援課			
取組状況	○地域子育て応援推進事業 育児の援助を受けたい者とそれを手伝いたい者を会員として組織化し、地域における相互援助活動を展開することにより、子育て支援機能の強化が図られた。		評価	達成

○子育て環境育成事業

認可外保育施設に入所している児童の保育料又は企業内託児施設の管理運営に要する経費の一部を助成し、経済的負担の軽減が図られた。

また、保育士不足解消のため、国が定める「子育て支援員研修事業実施要綱」に基づき、保育補助者としての必要な知識や技能等を習得する支援員研修会を実施した。

○わらすっこ基金助成事業

遠野市わらすっこ基金助成要綱により、子どもが健やかに育つ環境づくりの活動を充実し拡大することを目的に基金を活用し助成金を交付した。

○わらすっこ応援券交付事業

出生から小学校就学前までの子育てにかかる経済的負担の軽減等を図るため、木製写真立てと1万円分のわらすっこ応援券を贈呈した。

○出会い創出事業

独身男女の出会いの場を創出する事業を実施する場合に補助金を交付した。

○地域子育て応援推進事業（事業費 2,682,543円）

育児を援助したい者と育児の援助を受けたい者を会員として組織化するとともに、会員同士が行う相互援助活動を支援し、地域での子育て支援機能の強化を図った。

- ・おねがい会員（援助を依頼） 31人
- ・まかせて会員（地域で援助） 35人
- ・事前打合せ会 16件
- ・援助活動（平成28年10月1日から開始） 21件

○子育て環境育成事業（事業費 1,162,250円）

ベビーホームに入所している児童の保育料の一部を助成し、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、家庭的保育事業等の保育補助者などの職務に従事する者が必要な知識や技能等を習得することができた。

- ・ベビーホーム入所児童保育料助成 4人
- ・子育て支援員研修受講者 24人
- 講義・演習（29時間） 5日間
- 見学実習（市内保育施設） 2日間

○わらすっこ基金助成事業（事業費 1,240,000円）

市内全域に及ぶ子育てに寄与する事業に助成金を交付することにより、子どもが健やかに育つ環境づくりの活動が充実・拡大した。

- ・わらすっこ基金助成金交付団体 4団体

成果

○わらすっこ応援券交付事業（事業費 2,304,909円）

平成28年3月24日から平成29年3月17日までに出生した遠野市在住の新生児132人に、木製写真立てと1万円分のわらすっこ応援券を贈呈した。
わらすっこ応援券は、主に予防接種に活用されており、子育てに係る経済的負担の軽減に寄与することができた。

・わらすっこ応援券利用状況

①ロタウイルスワクチン	199件	941,500円
②インフルエンザワクチン	142件	366,000円
③病児等保育施設一部負担金	12件	39,000円
④一時保育利用料	6件	20,000円
⑤休日保育利用料	3件	8,000円
合計	362件	1,374,500円

○出会い創出事業

出会い創出事業費補助金交付（2団体）

平成29年1月から2月にかけて、出会い創出事業を2回実施し、独身男女44人が参加した。

○合計特殊出生率（まちづくり指標）

目標値 1.90 実績 1.64 達成率 86.3%

○わらすっこ割合（まちづくり指標）

目標値 14.02% 実績 13.71% 達成率 97.8%

- ・上記の2つの指標が目標数値を下回った原因については、晩婚化の現象とともに、25才～29才の女性が出産する率が、前年と比較して45%減少していることが大きいと考えられる。
- ・今後は、「子育てするなら遠野」の第2ステージとして、地域や事業所を巻き込みながら、市民協働による子育てを応援するまちづくりを図るとともに、少子化対策の一環として「とおのスタイル結婚応援事業」を展開し、男女の出会いから結婚、妊娠、出産、子育てと切れ目のない支援をさらに発展させ、施策を展開していく。

事業費名	児童館施設整備事業費	平成28年度 決算額	0円	
担当課	子育て総合支援センター子育て総合支援課			
取組状況	附馬牛保育園の移転改築に併せて、附馬牛児童館を同敷地内に新築し、児童の放課後の居場所づくりと健全な遊び場を提供するとともに地域の子育て環境を集約し、児童健全育成団体や地域の子育てサークルの活動拠点として、幼児から児童までの切れ目のない子育て環境を整備するため、実施設計業務を発注した。	評価	未達成	
成果	実施設計業務 履行期間 平成29年2月9日から5月26日まで（事業を平成29年度に繰り越した。）			

IV 外部評価の実施

平成29年10月12日（木）に、「遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況（平成28年度実施事業）の外部評価会議」を開催し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定により、学識経験を有する5名の外部評価員に、13ページから58ページまでの「Ⅲ 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検評価の結果」の内容について、下記のとおり意見等をいただきました。

【外部評価員】

（敬称略）

氏名	役職
山下 彰	遠野市校長会（達曾部小学校長）
石直典高	遠野市民センター運営協議会会長
木下敏子	主任児童委員
熊谷義弘	遠野市スポーツ少年団本部副本部長
松田希実	遠野市わらすっこ支援委員会委員長

【外部評価員からの主な意見、質疑等】

評価書ページ	事業費名等	主な意見、質疑等
16	わらすっこプラン推進事業費	<p>○「わらすっこ条例応援事業者認定制度」の内容とその成果は。</p> <p>→子育てのための休暇の取得、育児休暇の取得など、子育てに関する取組を積極的に推進している事業所を認定し、サインキューブを設置して、地域における子育てに係る取組のピーアールを図っている。これまで3事業所を認定していたが、平成28年度は新たに22事業所を認定した。</p> <p>→育児休暇の取得のほか、授業参観に行く際などに積極的に休暇を与えるなど、事業所によって取組の特徴は様々となっている。（子育て総合支援課）</p>
16	わらすっこプラン推進事業費	<p>○子どもが生まれてすぐの時期は、子どもと親とのふれあいが特に大事であることから、より多くの事業所が、6箇月、1年と育児休暇を取りやすい環境になってもらいたい。</p> <p>→0歳児の保育所への入所の割合は年々増加している状況にある。子育て支援を積極的に推進するためには、事業主の理解が不可欠であることから、引き続き、より多くの事業所の理解が得られるよう取り組んでいきたい。（子育て総合支援課）</p>

17	教育・保育の充実全般について	<p>○課題として、心理士のマンパワーのさらなる充実を図る必要があることが挙げられているが、どのような理由によるものか。</p> <p>→発達障がいをもつ子ども、又は特別な支援が必要と考えられる子どもの受入れのため、心理士の協力が必要となる。</p> <p>→わらすっこの育ち療育支援事業では、2名の心理士が各保育所に出向き、子どもたちへの接し方等について保育所の職員にアドバイスをするなどの取組を行っており、この取組をさらに充実させる必要がある。（子育て総合支援課）</p>
18	保育所等運営事業費	<p>○遠野市内では、いわゆる待機児童という状況はあるか。</p> <p>→現時点では、市内には待機児童という状況はない。保育所は学区がなく、定員に空きがあればどこでも入所は可能だが、保護者が入所を希望している保育所の定員が満員のため、入所までの間、欠員を待っているというケースはある。（子育て総合支援課）</p>
20	外国語指導助手招へい事業費	<p>○平成30年度から、小学校3・4年生の外国語活動の実施が入ってくるが、来年度以降の小学校へのALTの訪問についての計画はどのようになっているか。</p> <p>→平成29年度は、小学校には年6回～9回の訪問となっているが、平成30年度からは、できれば小学校には年18回、全授業の半分はALTが入った授業としたいと考えている。（学校教育課）</p>
22	特別支援教育推進事業費	<p>○特別支援教育支援員の中には、教育現場を経験したことのない方もいることから、スキルアップのための研修の機会が必要では。</p> <p>→4月当初に全体研修を実施し、8月には実際に1学期を経験してみたいの意見交換や困っていることを相談し合う場を設定している。また、夏休み中には、県主催の研修にも参加している。</p> <p>→今後は、支援員対象の研修に加え、学校や担任の先生が支援員をどう活用するかに関する研修の実施も検討していく。（学校教育課）</p>

23	いじめ防止等総合対策事業費	<p>○ケータイやスマホにかかわるネットいじめの問題については、保護者への意識啓発に関する取組がより必要ではないか。リーフレットの配付以外の啓発活動の実施についても検討が必要では。</p> <p>→いじめ防止啓発リーフレットについては、各家庭において、子どもたちが家族と一緒に活用することを目的に配付している。スマホやケータイによる危険性は、今後ますます高まっていくことが予想されることから、教育委員会と学校、保護者が協力して、一緒になって取り組んでいかなければならない。（学校教育課）</p> <p>→情報モラルの問題については、県の教育振興運動における全県統一課題となっていることから、本市においても、家庭教育ゼミナールのテーマとして講演会を実施するなど、重点的に取り組んでいる。（生涯学習スポーツ課）</p>
24	特定教科集中対策事業費	<p>○中学校の数学では、授業の内容が分かる子、少し分かる子、分からない子の差が開いているのではないか。小学校では、習熟度別のクラス分けで授業が行われているが、中学生に上がると差がさらに開いてしまい、なかなか効果が出ていないのではないか。</p> <p>○定期テストの問題はある程度解けても、実力テストになると解けなくなってしまうなど、授業やこれまでの勉強の積み重ねがなかなか定着していないというような現状があるのでは。この事業を実施しての、生徒側が感じた手応えや成果は。</p> <p>→1学期は学習支援員が授業に入って、生徒のサポートを行っていたが、2学期からは、サポートに加えて、宿題の問題の作成も支援員が行っている。新しい内容をより理解するためには、小学校のときに学習した内容をもう一度振り返ることが非常に大事であるため、その部分を事前に復習するように取り組むこととした。</p> <p>→小学校のときは分からなかった内容が、中学生になって徐々に分かってきていると実感できる生徒も多い。学力向上の取組については、これをやれば必ず効果が出る、というようなものはないことから、地道に、生徒一人一人の理解を大事にしながら取り組んでいく。（学校教育課）</p>
31	学校給食事業費	<p>○運動部に入っている中学生にとっては、学校給食のカロリーでは足りないような気がするが、何らかの取組等は実施しているか。</p> <p>→中学生の給食については、1食につき 約800キロカロリーと基準が定められているため、運動部に入部している、していないでの区別はないが、生徒の希望に対しては、盛り付けの工夫などで対応している。（学校給食センター）</p>

32	地域教育文化振興事業費	<p>○学校の授業参観日に、懇談会や家庭教育ゼミナールを併せて開催するような日程を組んでも、懇談会やゼミナールに参加する保護者が固定してしまっているという課題がある。</p> <p>○学校は地域に支えられている部分が非常に多いことから、地域住民の方々が学校に来ることができる機会が数多くあるべきと考える。例えば、家庭教育ゼミナールにも、地域の方々、地元企業や老人クラブのみなさんなどを招待する機会を設けるような取組も、今後必要となってくるのではないか。</p> <p>→家庭教育ゼミナールは、各学校の希望に応じて、テーマや程の設定など、様々な工夫が可能であることから、平成30年度の実施に向けて、いただいた御意見を持ち帰り、各学校へも情報提供していく。（生涯学習スポーツ課）</p>
38	放課後子どもプラン推進事業費	<p>○放課後子ども教室は、もう少し実施期間を延長してもいいのでは。ぜひ、今後も継続して取り組んでいただきたい。</p>
52	ぱすぽる推進事業費	<p>○まちづくり指標の「朝食をとる習慣のある子どもの割合」の実績から、子どもの朝食についてはほぼ心配ない、というように捉えていいか。この調査の内容はどのようなものか。</p> <p>→この内容は、県内の小学1年生と4年生、中学1年生と3年生の保護者を対象に岩手県が実施している、児童生徒の生活習慣に関する調査の中の設問の一つで、朝食をとる日数について、毎日とる、週2～3回とる、週4日以上とらない、から選択する形となっている。（総合食育推進課）</p> <p>○朝食については、とる回数も大事だが、その質も非常に大事だと思う。</p> <p>→栄養教諭が各学校を回って、朝食の大切さについての啓発活動を行っているほか、昨年度から、市PTA連合会の母親委員会からの要請で、バランスある朝食のレシピの講習会を実施している。今後も、母親委員会と連携し、活動を広めていくよう取り組んでいく。（総合食育推進課）</p>
56	子育て応援宣言のまち推進事業費	<p>○子育て環境育成事業について、子育て支援員の研修を実施した後の支援員の活用については、どのような状況か。</p> <p>→「子育て支援員研修事業」を受講した支援員は、みなし保育士として、保育士の補助として従事人数に組み込むことができる。本市では、朝及び夕方のシフトに組み込んでいる。</p> <p>→平成28年度は24人が研修を受講し、そのうち22人が保育所で業務に従事した。また、平成29年度は23人が研修を受講し、そのうち14人が業務に従事している。（子育て総合支援課）</p>

<p>—</p>	<p>その他</p>	<p>○保護者のみなさんが、もっと子どもに向き合うような取組が必要ではないか。中学生になると、家庭での生活のようすがそのまま学校生活に出る。また、小さい頃からの育て方、愛情の注ぎ方が、子どもにとっては、将来いろいろなことがあってもそれらを乗り越えていく力になる。それは本来、学校で教えるものではなく、家庭の中にあるものでは。</p> <p>○赤ちゃんの時期の子育てに関する施策にも力を入れて取り組んでいくべきでは。</p> <p>→学校や役所が手を尽くすだけでなく、周りの親どうしの声掛けも必要。各学校のPTAの取組においても、意識的に声掛けをしていくよう取り組んでいきたい。</p> <p>→毎年実施している「地域で子どもを育てる活動発表会」の内容についても、出席したみなさんから、周りの保護者に広めていただくような取組を進めていきたい。</p> <p>→男女共同参画も重要な要因となる。仕事が忙しく、なかなか子どもに向き合えないという母親のみなさんの声も多いことから、父親の協力が得られるような啓発活動が非常に重要であると考えます。（市民センター）</p>
----------	------------	--

【附属資料】

資料1 第2次 遠野市総合計画 前期基本計画

平成28年度まちづくり指標実績

(第2期 遠野市教育振興基本計画登載事業関連 34指標)

資料2 平成28年度 主要な施策の成果説明

(第2期 遠野市教育振興基本計画登載事業関連 47事務事業)

第2次 遠野市総合計画 前期基本計画 平成28年度まちづくり指標実績 (第2期 遠野市教育振興基本計画登載事業関連 34指標)

大綱 2 健やかに人が輝くまちづくり 7指標

- 1 朝食をとる習慣のある子どもの割合
- 2 健康スポーツプログラム参加者数
- 3 スポーツ施設利用者数
- 4 老人クラブ加入者数 (累計)
- 5 合計特殊出生率
- 6 わらすっこ割合
- 7 児童館・児童クラブ年間利用延べ人数

大綱 3 活力を創意で築くまちづくり 1指標

中学生の海外派遣数

大綱 4 ふるさとの文化を育むまちづくり 25指標

- 1 キッズ元気アップ教室参加者数 (延べ人数)
- 2 小学校標準学力検査偏差値
- 3 中学校標準学力検査偏差値
- 4 学校給食に使用する遠野産食材の割合
- 5 全講座における継続的講座数
- 6 市民センター・地区センター生涯学習講座の
延べ受講者数
- 7 家庭教育講座等の延べ参加者数
- 8 青年団体加入者数 (累計)

- 9 自主事業の顧客満足度
- 10 市民協働の芸術文化事業の参加者数
- 11 市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数
- 12 博物館入館者数
- 13 博物館講座等の受講者数
- 14 図書館の利用者数
- 15 市民への図書貸出冊数
- 16 移動図書館車の貸出冊数
- 17 学校図書館・児童館への貸出冊数
- 18 指定文化財説明板設置件数 (累計)
- 19 民俗芸能の映像記録件数 (累計)
- 20 遠野遺産推薦件数
- 21 遠野遺産保護活用活動実施割合 (実施団体数/認定件数)
- 22 遠野文化研究センター活動の参加者
- 23 遠野文化研究センター活動の参加者満足度
(11段階評価)
- 24 遠野こだわりの「語り部」認定者数
- 25 市史編さん事業進捗率 (①市史編さん委員会開催 ②資料
収集・調査 ③刊行のための実務作業 ④教育普及・広報)

大綱 5 みんなで考え支え合うまちづくり 1指標

各委員、協議会の女性参画率

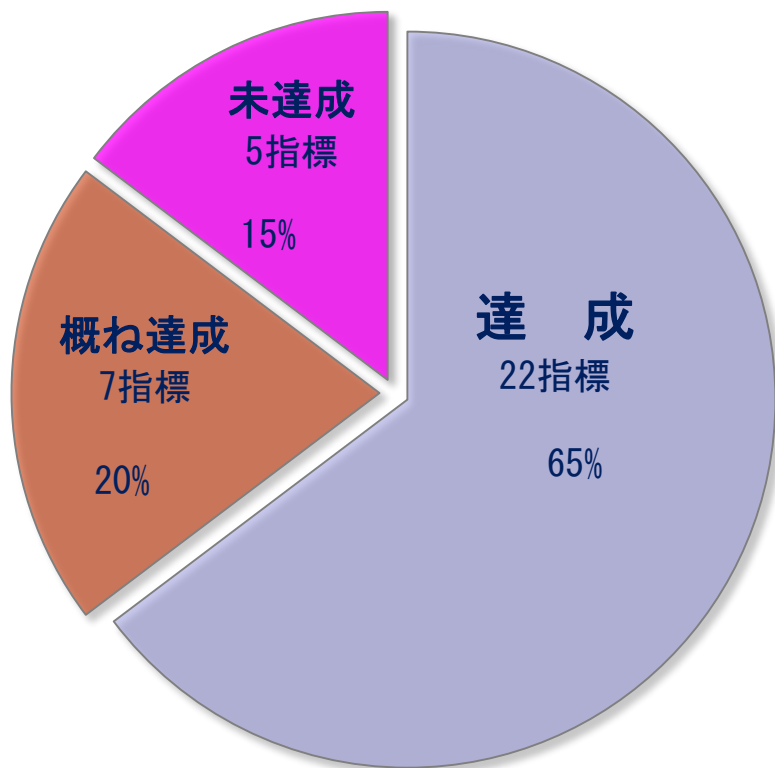
Point **1**

まちづくり指標について

第2次遠野市総合計画 前期基本計画
(計画期間：平成28年度～平成32年度)に
おける毎年度の段階的達成目標として、
「まちづくり指標」を設定しています。

平成28年度実績
第2期 遠野市教育振興基本計画掲載事業関連
まちづくり指標の総数 34指標のうち

29指標(約85%)が概ね達成

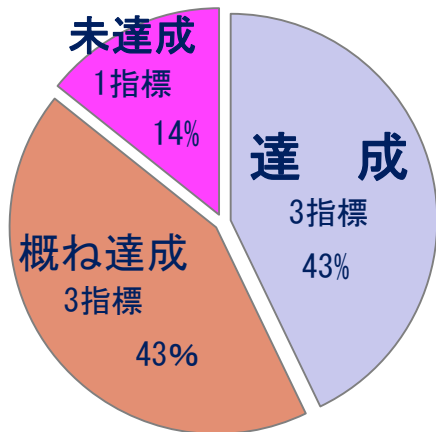


- 達成** …… 22指標 (約65%)
達成率 ……100%以上
- 概ね達成** …… 7指標 (約20%)
達成率 ……90%以上100%未満
- 未達成** …… 5指標 (約15%)
達成率 ……90%未満

Point 2

大綱別の達成状況

大綱2 健やかに人が輝くまちづくり 7指標



達成
3指標

- 朝食をとる習慣のある子どもの割合
- 健康スポーツプログラム参加者数
- スポーツ施設利用者数

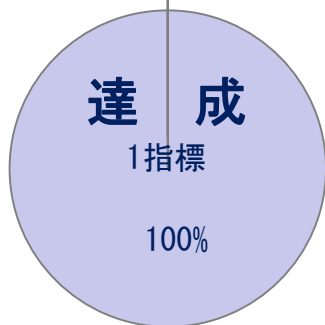
概ね達成
3指標

- 老人クラブ加入者数（累計）
- わらすっこ割合
- 児童館・児童クラブ年間利用延べ人数

未達成
1指標

- 合計特殊出生率

大綱3 活力を創意で築くまちづくり 1指標

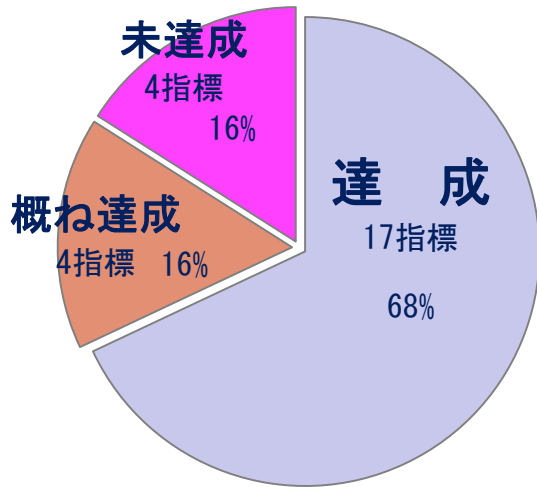


達成
1指標

- 中学生の海外派遣数

大綱別の達成状況

大綱4 ふるさとの文化を育むまちづくり 25指標



達成
17指標

○学校給食に使用する遠野産食材の割合 ○全講座における継続的講座数 ○家庭教育講座等の延べ参加者数 ○青年団体加入者数（累計） ○博物館講座等の受講者数 ○図書館の利用者数 ○市民への図書貸出冊数 ○移動図書館車の貸出冊数 ○学校図書館・児童館への貸出冊数 ○指定文化財説明板設置件数（累計） ○民俗芸能の映像記録件数（累計） ○遠野遺産推薦件数 ○遠野遺産保護活用活動実施割合 ○遠野文化研究センター活動の参加者 ○遠野文化研究センター活動の参加者満足度 ○遠野こだわりの「語り部」認定者数 ○市史編さん事業進捗率

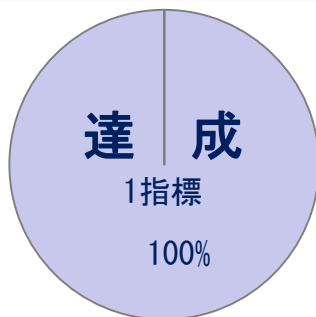
概ね達成
4指標

○小学校標準学力検査偏差値 ○中学校標準学力検査偏差値 ○自主事業の顧客満足度 ○市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数

未達成
4指標

○キッズ元気アップ教室参加者数（延べ人数） ○市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数 ○市民協働の芸術文化事業の参加者数 ○博物館入館者数

大綱5 みんなで考え支え合うまちづくり 1指標



達成
1指標

○各委員、協議会の女性参画率

Point **3**

未達成となった5指標の分析

未達成となった主な要因

…関係機関、団体等との連携や、啓発等の取組が不足していたこと等により、目標値としていた「達成率90%以上」に届かなかった。

◆ = 達成率が80%以上 90%未満の指標 3指標

- ◆ 市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数 89.8%
- ◆ 合計特殊出生率 86.3%
- ◆ 博物館入館者数 81.7%

● = 達成率が70%以上 80%未満の指標 2指標

- キッズ元気アップ教室参加者数（延べ人数） 79.9%
- 市民協働の芸術文化事業の参加者数 71.4%

**第2次遠野市総合計画 前期基本計画 平成28年度まちづくり指標実績
(第2期 遠野市教育振興基本計画登載事業関連 34指標)**

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (26年度)	年度別目標と実績					28年度		成果・評価	担当課		
		指標名	単位		区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	達成状況			達成率	
2 健康やかに人が輝くまちづくり (7指標)	1	朝食をとる習慣のある子どもの割合	%	94.8	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	達成	101.9	講演会や調理実習を中心とした食育講座を、小中学生に延べ25回(953人)行い、料理ができる力、食べ物を遊ぶ力を身につけ、小学生の「望ましい食習慣の定着」中・高校生の「自立に向けた食生活の基礎づくり」を支援した。 また、小中学生の「朝食をとる子どもの割合」は、目標95%に対し96.8%と目標値を上回った。 しかし、小学生から高校生までの割合を比較してみると、小学生98.5%、中学生92.1%、高校生88.5%と学年が上がるにつれて低い状況である。したがって、高校生へのアプローチ強化を図って行く。	総合食育推進課	
		2	健康スポーツプログラム参加者数	人	1,938	目標値	2,000	2,100	2,100	2,100	2,100	達成	153.3	遠野市健康づくり総合大学「とすぼ」として、本校(市民センター)教室とサテライト(全地区センター)教室を開催し、定期的に運動する機会を提供して健康増進の意識付けを図った。 本校では、1年を通して「わくわくフィットネス」、「エンジョイ水中ウォーキング」、「パワフルエクササイズ」の3つの教室を開催し、サテライト校では、スラックライン等地域のニーズに合わせた教室を開催した。 しかし、小学生から高校生までの割合を比較してみると、小学生98.5%、中学生92.1%、高校生88.5%と学年が上がるにつれて低い状況である。したがって、高校生へのアプローチ強化を図って行く。	生涯学習スポーツ課
						実績	3,066								
		3	スポーツ施設利用者数	人	204,435	目標値	205,000	205,200	205,400	205,600	205,800	達成	109.8	希望郷いわて国体開催に向けて天然芝を養生するため、国体が終了するまで遠野運動公園の陸上競技場と多目的運動広場の利用を制限した。 市民サッカー場は、人工芝に張り替えてから年間4万人を超える利用者数となり、張り替え前の約2倍の利用者数となっている。 市民体育館は、改修してから年間7万人近い利用者数となり、改修前の利用者数に戻りつつある。	生涯学習スポーツ課
						実績	225,056								
		4	老人クラブ加入者数(累計)	人	2,753	目標値	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	概ね達成	99.8	全老連、県老連が推進する会員増強運動と運動し、遠野市老人クラブ連合会においても会員拡大に取り組んだことにより、目標を概ね達成することができた。 平成28年度においては、休会していた単位クラブ(1クラブ)が活動を再開するなど、市老人クラブ連合会を中心とした積極的な取組が功を奏したこと、引き続き、魅力的で生きがいある老人クラブ活動の支援に努める。	生涯学習スポーツ課
実績						2,564									
	5	合計特殊出生率	—	1.90 (H25実績)	目標値	1.90	1.92	1.92	1.94	1.94	未達成	86.3	わらすっこプランによる事業の推進を図り、特に平成28年度については、子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、保育料の利用者負担額を国の基準額の半額程度に設定するなど、子育てにやさしい環境づくりを更に進めた。 また、「子育て応援宣言のまち推進事業」として、わらすっこファミリー・サポート・センターを開設し、子育てををする者が安心して働くことのできる環境を整備した。 更に、平成28年4月1日から公立保育所3園を遠野市保育協会に移管したことにより、市内の保育所運営体制の一元化が図られ、新たな保育基盤のもとに順調に運営されていると認識している。 指標である合計特殊出生率については、目標数値と比較して0.26下回っており、原因については晩婚化の現象とともに、25才～29才代の女性が出産する率が前年と比較して45%減少していることが大きな要因と考えられる。 今後は、「子育てするなら遠野」の第2ステージとして、地域や事業所を巻き込みながら、市民協働による子育てを応援するまちづくりを図るとともに、少子化対策の一環として「とおのスタイル結婚応援事業」を展開し、男女の出会いから結婚、妊娠、出産、子育てと切れ目のない支援をさらに発展させ、1.94を目指して施策を展開していく。	子育て総合支援課	
					実績	1.64									
	6	わらすっこ割合	%	14.02	目標値	14.02	14.02	14.02	14.02	14.02	概ね達成	97.8	わらすっこプランによる事業の推進を図り、特に平成28年度については、子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、保育料の利用者負担額を国の基準額の半額程度に設定するなど、子育てにやさしい環境づくりを更に進めた。 また、「子育て応援宣言のまち推進事業」として、わらすっこファミリー・サポート・センターを開設し、子育てををする者が安心して働くことのできる環境を整備した。 更に、平成28年4月1日から公立保育所3園を遠野市保育協会に移管したことにより、市内の保育所運営体制の一元化が図られ、新たな保育基盤のもとに順調に運営されていると認識している。 指標であるわらすっこ割合(年度末における、18歳以下の人口の割合)については、目標数値と比較して0.31%下回った。原因については晩婚化の現象とともに、25才～29才代の女性が出産する率が前年と比較して45%減少していることが大きな要因と考えられる。 今後は、「子育てするなら遠野」の第2ステージとして、地域や事業所を巻き込みながら、市民協働による子育てを応援するまちづくりを図り、わらすっこ関連事業をさらに発展させ、14.02を目指して施策を展開していく。	子育て総合支援課	
					実績	13.71									

**第2次遠野市総合計画 前期基本計画 平成28年度まちづくり指標実績
(第2期 遠野市教育振興基本計画登載事業関連 34指標)**

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (26年度)	年度別目標と実績					28年度		成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	達成状況			達成率
	7	児童館・児童クラブ年間利用延べ人数	人	136,814	目標値	137,900	138,400	138,950	139,450	140,000	概ね達成	98.1	平成28年度の延べ利用者数は、目標数値に対して2,595人下回る結果であった。児童館及び児童クラブが地域交流事業など、特色ある活動に取り組んでいる一方、利用数が減少したことは児童数の減少が影響していることも原因のひとつである。今後も、児童の健全育成の場、子どもの居場所として、活動内容の充実や児童施設の計画的な整備を図り、利用者のニーズに沿った管理運営に努める。	子育て総合支援課
3 活力を創意で築くまちづくり (1指標)	8	中学生の海外派遣数	人	9	目標値	9	9	9	9	9	達成	100.0	アメリカ合衆国テキサス州チャタヌーガ市へ、市内中学生を9名派遣した。海外での生活を体験し、国際的な視野を持ち、他文化・他者への理解を深めることにより、人材育成を図ることができた。今後も、各中学校や関係する機関団体と連携を図り、継続的に事業を実施し、計画的に派遣者数を維持していく。	生涯学習スポーツ課
4 ふるさとの文化を育むまちづくり (25指標)	9	キッズ元気アップ教室参加者数(延べ人数)	人	1,573	目標値	1,550	1,550	1,550	1,550	1,550	未達成	79.9	市内13保育園と子育て支援センター「まなざし」を会場に、園児を対象とした教室を平均5回開催したが、目標には届かなかった。今後は、各地区の子育てサークルとの連携や子育て支援センター「まなざし」での未就学児を対象とした教室を工夫し、参加者の拡大に努める。	生涯学習スポーツ課
	10	小学校標準学力検査偏差値	偏差値	53.8	目標値	53.8	53.8	53.9	53.9	53.9	概ね達成	98.1	平成28年4月に実施した小学校学力調査の結果は、目標値には1ポイント届かなかったものの概ね達成している状況である。各校においては、本結果を基に5月に分析を行い、成果と課題を明らかにし、中学校区毎の視点に基づく授業改善の取組により改善を図っている。特に、平成28年度は、日常の授業での実践の徹底と家庭学習の充実が課題であることから、各校が共通認識、共通目標をもって共通実践できるように校長のリーダーシップのもとに取り組んだ。また、家庭学習については、各校で工夫して取組を進めるとともに学校以外の機関との連携が進むよう体制づくりを行った。	学校教育課
	11	中学校標準学力検査偏差値	偏差値	48.4	目標値	48.5	48.5	48.6	48.6	48.6	概ね達成	98.8	平成28年4月に実施した中学校学力調査の結果は、目標値には0.6ポイント届かなかったものの概ね達成している状況である。大きな傾向として、数学に課題があり、中学1年生における指導の充実が必要である。また、家庭学習と中学校から始まる部活動との両立に課題がある。平成28年度から「特定教科集中対策事業」として数学支援員を各校へ配置し、中学1年生を中心に授業と家庭学習での支援を行った。また、小学校同様に全教科、全学年において日常の授業での実践の徹底と家庭学習の充実が課題であることから、各校が共通認識、共通目標をもって共通実践できるように校長のリーダーシップのもとに取り組んだ。	学校教育課
	12	学校給食に使用する遠野産食材の割合	%	65.3	目標値	65.5	65.8	66.1	66.4	66.6	達成	103.2	遠野産の食材を積極的に活用し、地産地消の推進及び消費拡大を図った。今年度は、天候不良による野菜の不作と台風被害による地場産の野菜不足が影響したが、地産地消率が67.6%と目標は達成できた。遠野まるごと給食の代わりとして、今年度から交流する給食を実施し、生産者や関係者等と共食することで感謝の気持ちと食の大切さを培う機会となったほか、郷土食の継承と地域の農産物への理解を深める機会となった。	総合食育推進課
	13	全講座における継続的講座数	講座	5	目標値	5	5	5	5	5	達成	200.0	継続的に実施することができた講座数は10講座で、市民の生涯学習の推進を図ることができた。今後も、市民ニーズに応えられるような講座を開発するよう、関係機関団体と連携していく。	生涯学習スポーツ課

**第2次遠野市総合計画 前期基本計画 平成28年度まちづくり指標実績
(第2期 遠野市教育振興基本計画登載事業関連 34指標)**

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (26年度)	年度別目標と実績					28年度		成果・評価	担当課
		指標名	単位		区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	達成状況		
14	市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数	人	4,911	目標値	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	未達成	89.8	目標値には届かなかったが、市民センター・地区センターで生涯学習講座を実施し、市民の生涯学習の推進を図ることができた。 なお、講座を企画するには、関係機関団体と連携し、より多くの市民が受講できるような工夫をするよう支援していく。	生涯学習スポーツ課
				実績	4,308								
15	家庭教育講座等の延べ参加者数	人	1,558	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	達成	109.4	市内全小中学校を会場とした家庭教育講座等と、市内全域を対象とした「家庭教育講演会」を開催。児童・生徒・保護者・教職員・地域関係者等の多数の参加を得て、情報機器の使用モラルや食育講座、進路学習会、学力向上に関する講演会等を実施し、家庭教育力の向上と子どもたちの健やかな成長促進に取り組むことができた。	生涯学習スポーツ課
				実績	1,313								
16	青年団体加入者数(累計)	人	76	目標値	80	80	83	85	85	達成	121.3	市青年団体協議会に対し補助金の交付と助言・指導等の活動支援を行い、会員の維持・確保と団体活動の活性化に努めた。 今後も、団体活動が活発かつ円滑に進むよう、各団体の動きを注視する。	生涯学習スポーツ課
				実績	97								
17	自主事業の顧客満足度	%	85.0	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	概ね達成	98.2	自主事業として、美川壱一コンサートを開催し、鑑賞者に対してアンケートを実施した。その多くが、事業に満足しているという内容であった。 今後も、市民に満足してもらえるような自主事業を企画していく。	生涯学習スポーツ課
				実績	83.5								
18	市民協働の芸術文化事業の参加者数	人	1,771	目標値	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	未達成	71.4	参加者数は、1,357人で目標値には届かなかったが、市民が芸術文化に親しみ、成果を発表する機会を提供することができた。 今後も、関係機関団体と連携し、より多くの市民が芸術文化に触れ、また興味を持てるような工夫をするよう団体を支援していく。	生涯学習スポーツ課
				実績	1,357								
19	市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数	人	9,792	目標値	8,770	8,770	8,770	8,770	8,770	概ね達成	93.8	人口減少が進む現状の中ではあるが、鑑賞者数は概ね達成となっている。 今後も、多くの市民の興味関心を喚起する芸術文化事業を展開し、市民の生活の質の向上に結び付けていく。	生涯学習スポーツ課
				実績	8,223								
20	博物館入館者数	人	19,613	目標値	20,000	20,200	20,400	20,600	20,800	未達成	81.7	夏季特別展「金山繁昌 一黄金に魅せられた人々」や企画展「加守田章二とその弟子たち」を開催。 また、遠野町家のひなまつりに合わせた特別展「遠野のひな人形」を開催し、商工会と連携して中心市街地への集客に貢献した。 すべての事業を計画どおりに実施したが、中心市街地の入込客数が減少したことや、夏季特別展「金山繁昌-黄金に魅せられた人々」の入館者数が昨年に比べて減少したことが要因となり未達成となった。 今後も、魅力的な特別展を実施し、PRを強化して目標の達成に努める。	文化課
				実績	16,349								
21	博物館講座等の受講者数	人	944	目標値	950	950	950	950	950	達成	119.1	特別展に合わせた講演会、ギャラリートークの開催、児童生徒を対象とした博物館教室等を計画通りに実施し目標を達成した。 今後も、郷土の歴史、文化、民俗などの学習機会を提供し、学校等と連携した事業の開催に努める。	文化課
				実績	1,131								

**第2次遠野市総合計画 前期基本計画 平成28年度まちづくり指標実績
(第2期 遠野市教育振興基本計画登載事業関連 34指標)**

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (26年度)	年度別目標と実績					28年度		成果・評価	担当課
		指標名	単位		区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	達成状況		
22	図書館の利用者数	人	17,008	目標値	16,300	16,000	15,800	15,500	15,300	達成	110.3	本に親しむ場所を提供するため、館内で季節ごとの図書の企画展、映画会、ボランティア等による読み聞かせの活動を行いながら、利用者拡大を図った。 今後も、館内での企画展等やレファレンスサービスの充実にも努め、利用しやすい、親しみやすい環境づくりに努めていく。	文化課
				実績	17,972								
23	市民への図書貸出冊数	冊	65,905	目標値	65,200	67,200	71,100	74,400	76,500	達成	105.1	利用者の声を反映させ、図書の選書の充実、使用しやすい配架、展示案内に配慮しながら広報等を活用して読書情報を提供し、読書推進に努めた。 今後も、利用しやすい環境づくりに努める。	文化課
				実績	68,528								
24	移動図書館車の貸出冊数	冊	11,526	目標値	11,200	11,300	11,300	11,400	11,400	達成	106.2	巡回場所、回数のあり方に配慮し、利用者の図書のリクエストに応じながら貸し出しの拡大を図った。 今後も、巡回場所、回数の利用状況を把握しながら、貸し出しの拡大及び読書の普及に努める。	文化課
				実績	11,899								
25	学校図書館・児童館への貸出冊数	冊	20,930	目標値	20,900	21,100	21,200	21,400	21,500	達成	100.1	学校の図書室との連携を図りながら、図書の選書、読書ボランティアによる読み聞かせ活動の協力など読書活動の充実を図った。また、小中学校及び児童館への図書貸出を行うなど、読書推進を図ることが出来た。 今後も、連携しながら図書の充実、読書の推進に努める。	文化課
				実績	20,930								
26	指定文化財説明板設置件数(累計)	基	88	目標値	90	91	92	93	94	達成	103.3	市指定文化財説明板2基(更新1基、新設1基)、国登録文化財説明板1基の新設により目標を達成した。劣化しにくい指定文化財説明板を設置し、市民の文化財に対する理解と保護啓発に努めた。 今後も、老朽化した標柱、説明板の更新を行うとともに、未設置となっている指定文化財の説明板を新設し、周知と啓発に努めていく。	文化課
				実績	93								
27	民俗芸能の映像記録件数(累計)	件	22	目標値	24	25	26	27	28	達成	100.0	郷土芸能の保存継承のため、映像記録を計画通りに製作し目標を達成した。 これまでに記録した資料を適切に管理保存していくとともに、未記録の郷土芸能について映像記録作成を継続して保存継承に努めていく。	文化課
				実績	24								
28	遠野遺産推薦件数	件	141	目標値	144	145	146	147	148	達成	103.5	推薦された新たな6件(新里の愛宕神社、卯子酉神社、程洞稲荷神社、長岡大日神社、鷹鳥屋獅子踊り、下同心丁枳形と法華題目の碑)を遠野遺産として認定し目標を達成した。 今後も、表示板の設置や公式ガイドブックの配布等により周知しながら、新たな遺産の掘り起こしに努め、文化的資産の保護を通じて郷土愛の醸成と地域づくりを推進していく。	文化課
				実績	149								
29	遠野遺産保護活用活動実施割合(実施団体数/認定件数)	%	-	目標値	60	60	60	60	60	達成	166.7	遠野遺産145件の推薦団体に対してアンケート調査を実施し、全ての遠野遺産で保護活動が行われ、認定後も地域の宝として保護されていると確認された。 今後も、定期的にアンケート調査を実施して保護活動を見守るとともに、遠野遺産認定制度の課題等の把握に努めていく。	文化課
				実績	100								

**第2次遠野市総合計画 前期基本計画 平成28年度まちづくり指標実績
(第2期 遠野市教育振興基本計画登載事業関連 34指標)**

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (26年度)	年度別目標と実績					28年度		成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	達成状況			達成率
5 みんなで考え支え合う まちづくり (1指標)	30	遠野文化研究センター活動の参加者	人	768	目標値	400	400	400	400	400	達成	206.8	平成28年度は、遠野文化フォーラム「遠野物語の新時代」や特別講演「危機と日本人」など発信力のあるテーマで開催した。遠野の歴史や民俗について学ぶ土曜講座(7回)では、野外や地区センターを会場にして活動の幅を広げるとともに、金曜夜の読書会「遠野古事記を読む」(11回)、昔話教室(3回)、遠野学会といった地道な学習活動を積み重ねる目標を達成することができた。 今後も、遠野の文化を広く発信し、人材育成を図る。	調査研究課
	31	遠野文化研究センター活動の参加者満足度(11段階評価)	点	-	目標値	6	6	6	6	6	達成	133.3	遠野文化研究センター活動の実施毎に、顧客推奨度指標11段階評価のNPS(ネット・プロモーター・スコア)による参加者アンケートを実施した結果、平均値8点の高い評価を得た。 これからも、市民のニーズを反映した参加者からの高い満足を得られる活動を展開し、郷土の文化を担う人材の育成に努める。	調査研究課
					実績	8								
	32	遠野こだわりの「語り部」認定者数	人	710	目標値	800	850	900	950	1000	達成	104.6	平成28年度は、昔話2人、子ども語り部37人、食5人、生業1人の合計45人を認定し、目標を達成することができた。 特に、子ども語り部については、学校との連携を図りながら取り組むことができた。認定語り部のためのスキルアップセミナーなどを通して研修の機会と場を提供した。 今後も、学校や地域団体などと連携しながら語り部の認定を行い、研修の機会と場を提供しながら、遠野の「語り」の文化を次代に継承していく。	調査研究課
実績					837									
33	市史編さん事業進捗率(①市史編さん委員会開催、②資料収集・調査、③刊行のための実務作業、④教育普及・広報)	%	-	目標値	100	100	100	100	100	達成	100.0	「永遠の日本のふるさと遠野」として後世に引き継ぐべき資料を収集整理しながら、遠野の歴史・文化を総合的にまとめるため市史編さんを行う。平成31年度「現代編」、平成38年度「通史編」、平成39年度「民俗編」の刊行を目指し、各年度の事業進捗率を①市史編さん委員会開催、②資料収集・調査、③刊行のための実務作業、④教育普及・広報の4項目をすべて実施した場合、100%(1項目25%)と設定した。 ①市史編さん委員会(2回)開催。 ②資料収集・調査(現代編担当調査研究員の会議及び資料収集17回、古文書担当調査研究員解説会20回、遠野南部家資料調査2回、通史編に関する調査7回、現代編に関する調査1回)実施。 ③刊行のための実務作業を実施。 ④教育普及(市史編さん講座1回、古文書講座6回、古文書整理ボランティア活動9回)実施し、遠野広報で活動を周知した。 以上の4項目を実施したことで、平成28年度は事業進捗率100%を達成した。これからも、市民協働で市史編さん事業を着実に進めていく。	市史編さん室	
				実績	100									
34	各委員、協議会の女性参画率	%	27.0	目標値	27.6	28.2	28.8	29.4	30.0	達成	102.9	条例等で設置されている4つの審議会等において女性委員の登用人数が増えたこと、新たに調査対象となった審議会等において女性委員登用率が高かったことにより目標値を達成することができた。 後期5か年中も女性参画率が伸びるよう女性委員の登用を呼び掛けるとともに、女性活躍に対する理解が進むよう「男女共同参画」の啓発に努めていく。	生涯学習スポーツ課	
				実績	28.4									

平成28年度 主要な施策の成果説明
 (第2期 遠野市教育振興基本計画登載事業関連 47事務事業)

民 生 費

◆高齢者元気アップ活動事業費	1
◆児童福祉事務費（繰越明許費）	2
◆わらすっこプラン推進事業費	3
◆看護保育安心サポート事業費	3
◆わらすっこの育ち療育支援事業費	4
◆わらすっこの居場所事業費	4
◆児童扶養手当給付費	5
◆保育所等運営事業費（保育所運営委託）	5
◆保育所等運営事業費（保育所設置者運営）	6
◆子育て応援宣言のまち推進事業費	7

衛 生 費

◆健康スポーツプログラム推進事業費	8
◆子どもの体力づくりプログラム推進事業費	8
◆ぱすぽる推進事業費	9

教 育 費

◆地域教育文化振興事業費	10
◆外国語指導助手招へい事業費	11
◆特色ある学校づくり事業費	11
◆平成・南部藩寺子屋交流事業費	12
◆特別支援教育推進事業費	12
◆遠野わらすっこ「夢の教室」事業費	13
◆幼稚園応援事業費	14
◆高校魅力化サポート事業費	15
◆学力向上対策事業費	16
◆特定教科集中対策事業費	16

◆育英事業費	17
◆通学対策費（小学校）	18
◆教材整備費（小学校）	18
◆就学援助費（小学校）	19
◆小学校プール整備事業費	19
◆通学対策費（中学校）	20
◆教材整備費（中学校）	20
◆就学援助費（中学校）	21
◆中学校屋内運動場整備事業費	21
◆プール改修事業費（繰越明許費）	22
◆学びのまちづくり推進事業費	23
◆若者と女性の活躍推進事業費	24
◆遠野「語り部」1000人プロジェクト事業費	25
◆遠野文化調査研究費	26
◆「遠野市史」編さん事業費	27
◆図書館費	28
◆博物館費	29
◆ブックスタート事業費	29
◆文化財調査保護費	30
◆埋蔵文化財発掘調査費	30
◆遠野遺産認定事業費	31
◆重要文化財千葉家住宅整備事業費	32
◆競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	33
◆学校給食事業費	34

※ 平成29年9月に遠野市長が遠野市議会に提出した「平成28年度
 主要な施策の成果説明書」のうち、第2期遠野市教育振興基本計画
 に登載している事業に関する部分を抜粋しています。

03款 民生費		01項 社会福祉費		03目 老人福祉費		
事業名 高齢者元気アップ活動事業費					単位：円	
事業内容	高齢者の心身の健康保持増進と他地域との交流を推進するため、各種大会等の実施を支援する。			計画値	大会数	5回
					参加者数	1,500人
成果	<p>高齢者が生きがいを持ち、健康で豊かな生活を過ごすことができるよう、老人クラブ活動の支援を行った。</p> <p>また、老人クラブが組織的に活動し、会員及び老人クラブが意欲的に地域活動等に参加するよう指導・助言を行った。</p> <p>特に、希望郷いわて国体の実施にあたっては、競技会場の環境整備ボランティアや花いっぱい運動で多くの会員に協力していただいた。</p> <p>1 各種スポーツ大会等</p> <p>ゲートボール・ペタンク大会 326人</p> <p>女性部グラウンドゴルフ大会 140人</p> <p>さわやかスポーツ大会 約400人</p> <p>壮年部グラウンドゴルフ大会（台風により中止）</p> <p>いきいきシニアスポーツ大会 90人</p> <p>健康ウォーキング 102人</p> <p>シルバー室内競技大会 約400人</p> <p>2 その他事業</p> <p>シルバー文化祭「展示部門・舞台部門」 舞台部門参加者 約500人</p> <p>県老人クラブ大会参加 26人</p> <p>リーダー研修会 160人</p> <p>女性部料理教室 24人</p> <p>シルバー室内競技大会(囲碁・将棋部門)24人</p> <p>環境整備ボランティア 約140人</p>			実績値	スポーツ大会	6回 1,458人
					その他事業	6回 874人
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
3,109,000	2,938,201	1,592,000	0	0	1,346,201	

03款	民生費	02項	児童福祉費	01目	児童福祉総務費															
事業名					児童福祉事務費（繰越明許費）	単位：円														
事業内容	子ども・子育て支援法施行令等の一部改正に伴い、多子世帯に係る保育料の負担軽減措置が拡充等されたことから、関連情報システムの改修を行う。			計	子ども・子育て支援システム改修															
				画																
成果	多子世帯に係る保育料の負担軽減措置の拡充等に対応するため、関連情報システムの改修を行った。			実	子ども・子育て支援システム改修															
				績																
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		1,000,000			814,320			407,000					0			0				407,320

03款	民生費	02項	児童福祉費	02目	児童措置費	
事業名					わらすっこプラン推進事業費	単位：円
事業内容	遠野市少子化対策・子育て支援総合計画（通称：遠野わらすっこプラン）に基づき、市内の子どもや保護者だけでなく、子どもの権利を保障する大人（保護者、地域、学校、事業者）も対象とした事業を展開する。			計画値	1 条例・プラン事業の普及啓発	1事業
	1 遠野市わらすっこ条例普及啓発事業 2 遠野市わらすっこ支援委員会運営事業 3 遠野市わらすっこ基金事業				2 わらすっこ支援委員会	3回
成果	1 わらすっこ条例応援事業者認定制度により、子育て支援を積極的に実施している事業者を認定することで、地域全体で子育てを応援する環境を促進することができた。			実績値	1 わらすっこ条例応援認定事業者	22事業所
	また、遠野テレビにおいて「子育て情報ガイド わらすっこナビ！」を放送し、子育て支援関連事業を周知することができた。				2 わらすっこ支援委員会	3回
2 わらすっこプラン関連事業における審議や、わらすっこプラン事業等の評価等を審議するため、遠野市わらすっこ支援委員会を年3回開催した。			実績値	3 わらすっこ基金への寄附金等	3,286,780円	
3 わらすっこ基金への寄附金7件 1,496,868円、運用利子 28,112円、ふるさと納税分（わらすっこプラン事業への寄附のうち経費等を除いた分）1,761,800円を積み立てした。						
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
4,500,000	4,129,520	0	0	3,536,780	592,740	

03款	民生費	02項	児童福祉費	02目	児童措置費	
事業名					看護保育安心サポート事業費	単位：円
事業内容	遠野わらすっこプランの理念に基づき、子育て環境整備の一環として整備した遠野市病児等保育施設「わらっぺホーム」を社会福祉法人遠野市保育協会に委託して運営することにより、子育てと就労の両立を支援するとともに児童の健全な育成に寄与する。			計画値	開設日数	240日
					登録者数	200人
成果	核家族化や両親の共働き世帯が増えるなか、病気の子どもの保育する「わらっぺホーム」の需要は高く、登録者数は増加傾向にある。子育てと就労の両立を支援するための施設としての役割を果たし、安心して子育てができる環境の維持に寄与した。			実績値	利用者数	500人
	【参考】				開設日数	242日
1 平成25年度（開設日数 241日）			実績値	登録者数	237人	
登録者数 216人、年間利用者数延べ 553人（1日平均 2.29人）				利用者数	553人	
2 平成26年度（開設日数 242日）			実績値	（実数 153人）		
登録者数 211人、年間利用者数延べ 527人（1日平均 2.18人）				1日平均	2.29人	
3 平成27年度（開設日数 241日）			実績値	利用者の年齢	0歳～10歳	
登録者数 226人、年間利用者数延べ 591人（1日平均 2.45人）						
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
12,970,000	12,090,674	5,806,000	0	1,045,000	5,239,674	

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 わらすっこの育ち療育支援事業費					単位：円
事業内容	<p>市内の障がいがある児童が健やかに安全で安心して過ごすことができるよう、療育支援の場の提供を行うとともに、軽中等度の難聴児に対する補聴器具の購入について一部補助を行う。</p> <p>また、日中一時支援事業を利用した児童の保護者に対し、その自己負担分を助成することにより、保護者の経済的負担を軽減し、療育支援を図る。</p>			計 画 値	療育支援教室 のびっこ教室 13人 ジャンプ教室 3人 補聴器購入助成 6件
	成果	<p>1 支援が必要と思われる就学前の児童に対して、療育支援教室及び幼児ことばの教室を開催し、個別活動等適正な指導により、心身や言語の育成の助長を行うとともに、保護者への子育て支援を行った。</p> <p>2 軽度・中等度の難聴児に対し補聴器具の購入費用を助成し、言語の習得及びコミュニケーション能力の向上を促すとともに、保護者の経済的負担の軽減を図った。</p> <p>3 児童の生活機能の向上や社会的な自立生活に向けた支援の充実を図るため、日中一時支援事業利用料の自己負担額の全額を助成し、保護者の経済的負担の軽減を図った。</p>			実 績 値
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳		
8,400,000	7,509,507	国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
		36,000	0	0	7,473,507

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 わらすっこの居場所事業費					単位：円
事業内容	<p>両親が働いているなど、昼間家庭に保護者がいない児童の放課後の健全育成を図るため、児童館や児童クラブを利用した学童保育を行うとともに健全な遊びを通し、児童の健康増進と豊かな情操を育む。</p> <p>1 児童館指定管理料 2 放課後児童健全育成業務委託（児童クラブ運営業務委託） 3 遠野市児童館及び児童クラブ育成団体等運営費補助金</p>			計 画 値	児童館 6カ所 児童クラブ 5カ所 利用延べ人数 137,900人
	成果	<p>児童の放課後等の健全育成を図るため、社会福祉法人遠野市保育協会に管理運営を委託し、児童館や児童クラブを利用しながら放課後の児童の健康管理や情緒の安定を図るとともに、遊びを通して自主性や社会性、創造性を培う等、健康増進や豊かな情操教育に努めた。</p> <p>また、育成団体等運営費補助金を交付し、親子行事や世代間交流事業等の様々な体験活動の事業実施に努めた。</p> <p>1 児童館指定管理料 74,189,000円 2 児童クラブ運営業務委託料 30,291,000円 3 遠野市児童館及び児童クラブ育成団体等運営費補助金 3,110,000円 備品購入費 451,440円</p>			実 績 値
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳		
108,049,000	108,041,440	国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
		32,871,000	0	0	75,170,440

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 児童扶養手当給付費					単位：円
事業内容	児童扶養手当法に基づき、父または母等のひとり親家庭に児童扶養手当を支給することにより、生活の安定と自立促進に寄与する。			計 画 値	新規申請者 35人
					資格喪失者 25人
成果	ひとり親家庭等の保護者で、支給要件に該当する児童を養育している親に児童扶養手当を支給した。 また、手当支給のみならず、ニーズに合った各種支援につなげるため、現況届提出の際にアンケートを実施したほか、ひとり親家庭相談会実施の周知等を行い、ひとり親家庭等の生活の安定と自立促進に寄与した。			実 績 値	年間支給延べ人数 2,973人
	平成29年3月末現在受給資格者数 252人 うち 手当基本月額全部支給者 75人 " 一部支給者 139人 " 全部停止者 38人				新規申請者 21人 資格喪失者 33人 年間支給延べ人数 2,805人 うち全部支給者 1,074人 一部支給者 1,731人
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
106,618,000	106,190,688	35,404,326	0	0	70,786,362

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 保育所等運営事業費（保育所運営委託）					単位：円
事業内容	保護者や同居の親族が仕事や病気、障がい、出産等のため、児童を保育できないと認められる場合、保護者等に代わって保育所において児童の保育を実施する。 平成28年度から公立幼稚園保育所3園の運営を社会福祉法人遠野市保育協会に移管し運営費を負担する。 また、学校法人岩手キリスト教学園認定こども園めぐみ遠野聖光こども園においても保育を実施しているため、運営費を負担する。			計 画 値	私立認可保育所定員 790人
					認定こども園定員 223人
成果	公立幼稚園保育所3園を民営化し、新たな保育基盤のもと平成28年度事業を実施した。市内12カ所の保育所の運営を委託し、2カ所の認定こども園の運営費を負担することにより、安心して充実した子育て環境の提供を実現し、児童の健全な育成に寄与した。 【年度末現在入所者数】 遠野 103人(93.6%)、神明 87人(96.7%)、綾織 55人(91.7%)、 岩滝 33人(82.5%)、附馬牛 35人(87.5%)、白岩 108人(98.2%)、 松崎 60人(100.0%)、土淵 65人(92.9%)、青笹 101人(101.0%)、 上郷 52人(104.0%)、宮守 73人(73.0%)、達首部 35人(87.5%)、 鱒沢 8人(40.0%)、聖光 89人(72.4%)、合計 904人(89.2%) 括弧内記載の割合は定員に対する充足率			実 績 値	年度末現在年齢別入所者数
					0歳児 110人 1歳児 121人 2歳児 154人 3歳児 177人 4歳児 173人 5歳児 169人 合計 904人
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
983,999,000	982,646,103	563,361,750	0	101,483,670	317,800,683

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費	
事業名 保育所等運営事業費（保育所設置者運営）					単位：円
事業内容	<p>保育サービスの向上を図るため、特別保育事業として「障がい児保育事業」、「保育所地域活動事業」、「地域子育て支援拠点事業」、「延長保育事業」、「一時預かり事業」の実施を社会福祉法人遠野市保育協会、認定こども園めぐみ遠野聖光こども園に委託する。</p> <p>また、私立認可保育所の円滑な運営を図るため、社会福祉法人遠野市保育協会に対し運営費を補助する。</p>			計 画 値	特別保育事業 4事業 地域子育て支援センター 1カ所 運営費補助 1件
	成果	<p>1 生活・就労形態の多様化に応じた特別保育事業を実施することにより、良質で充実した子育て環境の提供に寄与した。</p> <p>(1) 特別保育事業（利用者延べ1,161人） 6,459,680円</p> <p>(2) 地域子育て支援拠点事業（利用者延べ3,018人） 7,516,035円</p> <p>(3) 平成27年度子ども・子育て支援交付金返還金 521,000円</p> <p>2 社会福祉法人遠野市保育協会に対し運営費補助金を交付することで、保育所・認定こども園の円滑な運営に寄与した。</p> <p>(1) 社会福祉法人遠野市保育協会運営費補助金 40,772,000円</p>			実 績 値
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
60,530,000	55,268,715	6,203,000	0	0	49,065,715

03款 民生費		02項 児童福祉費		02目 児童措置費		
事業名 子育て応援宣言のまち推進事業費					単位：円	
事業内容	<p>1 地域子育て応援推進事業 育児の援助を受けたい者とそれを手伝いたい者を会員として組織化し、地域における相互援助活動を展開することにより、子育て支援機能の強化を図る。</p> <p>2 子育て環境育成事業 認可外保育施設に入所している児童の保育料または企業内託児施設の管理運営に要する経費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。 また、保育士不足解消のため、国が定める「子育て支援員研修事業実施要綱」に基づき、保育補助者としての必要な知識や技能等を習得する。</p> <p>3 わらすっこ基金助成事業 遠野市わらすっこ基金助成要綱により、子どもが健やかに育つ環境づくりの活動を充実し拡大することを目的に基金を活用し助成金を交付する。</p> <p>4 わらすっこ応援券交付事業 出生から小学校就学前までの子育てにかかる経済的負担の軽減等を図るため、木製写真立てと1万円分のわらすっこ応援券を贈呈する。</p> <p>5 出会い創出事業 独身男女の出会いの場を創出し事業を実施する場合補助金を交付する。</p>			計画値	<p>1 年間依頼件数 30件</p> <p>2 ベビーホーム入所児童 保育料助成 10人 企業内託児施設助成 1施設 子育て支援員研修受講者 25人</p> <p>3 わらすっこ基金助成金交付 5団体</p> <p>4 贈呈予定人数 180人</p> <p>5 出会い創出事業費補助金交付 5団体</p>	
	<p>1 地域子育て応援推進事業 平成28年10月1日からわらすっこファミリー・サポート・センターを開設し、子育て支援機能の強化が図られた。</p> <p>2 子育て環境育成事業 認可外保育施設保育料の一部を助成し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。 また、保育補助者としての必要な知識や技能を習得するため、30時間の子育て支援員研修を実施した。</p> <p>3 わらすっこ基金助成事業 各団体に助成金を交付して、子どもが健やかに育つ環境づくりの活動を充実し拡大することができた。</p> <p>4 わらすっこ応援券交付事業 主任児童委員との連携により、木製写真立てと1万円分のわらすっこ応援券を贈呈した。</p> <p>5 出会い創出事業 若者定住の一端として、独身男女の出会いの場を1月及び2月に開催し男女合わせて44人が参加した。</p>				実績値	<p>1 おねがい会員(援助を依頼) 31人 まかせて会員(地域で援助) 35人 事前打合せ会 16件 援助活動 21件</p> <p>2 ベビーホーム入所児童 保育料助成 4人 企業内託児施設助成 0施設 子育て支援員研修受講者 24人</p> <p>3 わらすっこ基金助成金交付 4団体</p> <p>4 贈呈人数 132人</p> <p>5 出会い創出事業費補助金交付 2団体</p>
予算額	決算額	財源内訳				
9,887,000	7,618,242	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		1,769,000	0	2,740,000	3,109,242	

04款	衛生費	01項	保健衛生費	03目	健康づくり推進事業費	
事業名					健康スポーツプログラム推進事業費	単位：円
事業内容	遠野市健康づくり総合大学「とすぼ」による健康づくり教室を本校（市民センター）とサテライト校（地区センター）で開催し、定期的に運動する機会を提供して健康増進の意識付けを図る。			計 画 値	健康づくり教室 ・本校教室 112回 ・サテライト校教室 54回 ・とすぼ大学祭 1回	
	成果	本校教室・サテライト校教室・とすぼ大学祭すべて前年度より参加者が増加し、健康づくりに取り組む市民を増やすことができた。			実 績 値	健康づくり教室 ・本校教室112回 延べ1,771人 ・サテライト校教室67回 延べ1,065人 ・とすぼ大学祭1回 230人
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,585,000	3,348,713	0	0	851,600	2,497,113	

04款	衛生費	01項	保健衛生費	03目	健康づくり推進事業費	
事業名					子どもの体力づくりプログラム推進事業費	単位：円
事業内容	1 児童の運動能力の向上を図るため、希望する小学校に講師を派遣する。（児童運動能力アップトレーニング） 2 幼児のバランス感覚や運動能力の向上を図るため、保育園等に講師を派遣する。（キッズ元気アップ応援隊）			計 画 値	児童運動能力アップトレーニング ・市内小学校 11校 キッズ元気アップ応援隊 ・市内保育園等13カ所 70教室	
	成果	1 児童運動能力アップトレーニングでは、希望した小学校の水泳教室に24回、スケート教室に5回講師を派遣した。特に水泳教室は、市内水泳記録会前に開催され、大会前の強化練習に寄与した。 2 キッズ元気アップ応援隊では、プールでの顔つけや希望郷いわて国体に向けた「わんこダンス」を取り入れ、運動する楽しさを体験させることができた。			実 績 値	児童運動能力アップトレーニング ・市内8小学校29教室 延べ1,238人 キッズ元気アップ応援隊 ・市内14保育園等70教室 延べ1,239人
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
978,000	870,420	0	0	0	870,420	

04款	衛生費	01項	保健衛生費	03目	健康づくり推進事業費	
事業名					ぱすぼる推進事業費	単位：円
事業内容	<p>子どもから高齢者まで生涯にわたって明るく充実した生活を送るためには「食」が基本であることの認識に立ち、第2次遠野市食育推進計画「とおのっこプラン」を推進する。</p> <p>また、食育及び栄養・食生活改善を推進するため、地域で活動する健康づくりサポーター（食生活改善推進員）の資質向上と組織の育成を支援する。</p> <p>平成28年度から5年計画の第2次遠野市食育推進計画「とおのっこプラン」推進のため、食育関係団体や機関代表者によるネットワークを立ち上げる。</p>				<p>食育講座・講演会</p> <p>小学生対象 22回 200人</p> <p>中学生対象 3回 100人</p> <p>高校生対象 2回 40人</p> <p>同 講演会 1回 160人</p> <p>市民向けイベント</p> <p>ぱすぼる食育まつり</p> <p>1回 200人</p> <p>食生活改善推進員の育成</p> <p>食生活改善推進員研修会</p> <p>20回 200人</p> <p>朝食をとる子どもの割合</p> <p>小・中学生 95.0%</p>	
	<p>1 ライフステージに合わせた調理実習や講演会を開催した。</p> <p>【小・中学生対象】ちびっこ栄養教室やおやこ食育講座などを通して、料理ができる力・食べ物を選ぶ力を身につける機会となった。</p> <p>【高校生対象】講演会や食育講座を通して、自立に向けた食生活の基礎づくりのきっかけとなった。</p> <p>【成人・高齢者対象】減塩やバランス食、高齢者には低栄養予防の支援で食生活を見直す機会となった。</p> <p>2 イベントの開催と料理カード集を作成した。</p> <p>食育まつりや「ぱすぼるヘルスアップライブ」を開催し、食育について市民に周知し、食育の拠点「総合食育センターぱすぼる」の認知度を高めた。また、食生活改善推進員の協力により、広報に連載している料理をまとめたカード集を作成し、食と健康について関心を高める機会となった。</p> <p>3 食生活改善推進員の資質向上と組織育成の支援を実施した。</p> <p>減塩弁当コンテストや脳卒中予防寸劇コンクール入賞など、技術を発揮し地域で開催した健康づくり講座に生かした。</p> <p>4 遠野市食育推進ネットワーク会議を設置した。</p> <p>ネットワーク会議を設置し、関係団体・機関で情報共有を行ない食育イベントを開催した。</p>	<p>食育講座・講演会</p> <p>小学生対象 18回 274人</p> <p>中学生対象 4回 481人</p> <p>高校生対象 2回 38人</p> <p>同 講演会 1回 160人</p> <p>市民向けイベント</p> <p>ぱすぼる食育まつり</p> <p>1回 300人</p> <p>食と健康の集い</p> <p>1回 150人</p> <p>食生活改善推進員の育成</p> <p>食生活改善推進員研修会</p> <p>47回 490人</p> <p>朝食をとる子どもの割合</p> <p>小・中学生 96.8%</p> <p>内訳:小98.5、中92.1</p>				
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
1,669,000	1,435,996	0	0	11,100	1,424,896	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					地域教育文化振興事業費	単位：円
事業内容	子どもたちの学習環境の充実を目的に、児童生徒、保護者、地域関係者等を対象に、様々な課題に応じた講演会・研修会等を小中学校等と連携して開催する。			計画値	家庭教育ゼミナール開催 14回 家庭教育ゼミナール等参加者 1,200人 家庭教育講演会開催 1回	
	成果	1 小中学校と連携して「家庭教育ゼミナール」を市内14会場で実施。情報モラルや食育講座、東日本大震災の体験を踏まえた講演など、各校の課題やニーズに対応した講座を実施し、保護者などの家庭教育に対する意識の向上に取り組んだ。 2 学校・PTA・地域による実践活動について、市内2小学校と教育委員会から事例発表をする「地域で子どもを育てる活動発表会」と「家庭教育講演会」を同時開催した。秋田県東成瀬村の取り組みについての講演会と2小学校の事例発表を行い、地域の中で子どもたちを育てる機運を高めることができた。			実績値	家庭教育ゼミナール開催回数 14回 家庭教育ゼミナール参加者数 1,033人 地域で子どもを育てる活動発表会参加者数 280人
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
155,000	79,714	79,714	0	0	0	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					外国語指導助手招へい事業費	単位：円
事業内容	「知・徳・体」の「知」に位置付けて実施する事業。 小学校の外国語活動、中学校の英語教育及び小中学校の国際理解教育の推進を図るため、専門業者から外国語指導助手の派遣を受け、児童生徒が本物の英語に触れる機会を設ける。			計画値	派遣学校数 派遣回数	14校 200回
	成果	児童生徒が外国語指導助手の生きた英語に触れることで、英語力の4つの要素のうち、「聞く」「話す」のコミュニケーションに関する能力を養い、英語による表現力を育み、英語力の向上を図ることができた。 派遣回数：小学校85回、中学校120回、合計205回			実績値	派遣学校数 派遣回数
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
5,184,000	5,158,080	0	0	0	5,158,080	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					特色ある学校づくり事業費	単位：円
事業内容	「知・徳・体」の全てに位置付けて実施する事業。 児童生徒一人一人の学習・生活の基礎力の充実及び個性と能力の伸長に努め、生命と体と心を育む教育の具現化を図るため、市内各小中学校ではそれぞれ企画・立案した事業計画をもとに地域の歴史・文化・伝統・特徴を生かして、農業体験、伝統芸能の継承など地域理解学習に取り組む。			計画値	実施学校数	14校
	成果	市内全ての小中学校が事業に取り組み、各校の教育目標や地域の特色に応じて歴史、文化、自然等を学ぶ活動を積極的に展開した。平成28年度は多くの学校で郷土芸能の伝承活動や農業を通じた食育活動に取り組んだ。 地域住民が講師となって授業が実施されており、遠野に伝わる伝統や文化に触れることに止まらず、児童生徒や学校が地域住民と繋がりをもつ貴重な機会となっており、地域に開かれた学校づくりの一助となっている。			実績値	実施学校数
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,400,000	1,250,763	0	0	0	1,250,763	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名		平成・南部藩寺子屋交流事業費				単位：円	
事業内容	<p>「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する事業。 根城南部氏の縁でつながる八戸市との相互訪問による、交流活動を行う。 日常生活と環境の異なる集団活動の中で郷土の歴史や自然に親しみ、集団生活のあり方や公衆道徳などの体験を積むことにより、郷土を愛し将来を担う人材の育成を図る。</p>			計 画 値	参加児童 26人		
	<p>市内小学校11校の代表児童が一同に集まり、八戸市の児童と交流活動を行う中で、南部氏の歴史や両市の文化について学んだ。 学校とは異なる集団の中でのコミュニケーションの取り方やリーダーとしての在り方を学ぶとともに、ふるさと遠野の良さを自らを振り返ることができ、事業の目的とする人材の育成を図ることができた。 特に平成28年度は、30周年事業として八戸市児童との交流内容を一新したことにより、例年以上に活発な交流を行うことができた。 1 受入交流 7月26日から7月28日まで八戸市児童41人が来遠 2 派遣交流 8月3日から8月4日まで遠野市児童26人が八戸市を訪問</p>				実 績 値	参加児童 26人	
予	算	額	決	算		額	財 源 内 訳
				国	県	支	出
				金	地	方	債
				そ		の	
				他		一	
				般		財	
				源		760,000	
829,000		760,000		0		0	
				0		0	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名		特別支援教育推進事業費				単位：円	
事業内容	<p>「知・徳・体」の「知」に位置付けて実施する事業。 市内小中学校の通常学級に在籍し、個別に特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活における介助及び学習活動における支援を行うため、担任教諭の補助等を行う特別支援教育支援員を配置する。 要支援児童生徒に対する指導の充実を図るため、巡回指導を行う学習指導講師を配置する。 市内小中学校に在席する外国人児童生徒に対し、日本語の個別指導を行う日本語指導講師を外国人児童生徒在席校に配置する。</p>			計 画 値	特別支援教育支援員の配置 16人 学習指導講師の配置 1人 日本語指導講師の配置 3人		
	<p>1 特別支援教育支援員が児童生徒の学習や生活面において適切な指導と必要な支援を行うことで、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成するとともに、特別支援教育の充実を図ることができた。 【配置数 小学校11校(15人)、中学校1校(1人)】 2 学習指導講師の巡回指導により、児童のニーズに応じて適切な「ことば」の指導が実施され、児童6人がことばの教室を退級できた。 【巡回指導実施数 6校、12人】 3 外国人児童生徒が転入した小中学校に、日本語指導講師を配置して、日本語の習熟指導を行うとともに、学校生活でのコミュニケーション支援を行うことで、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう支援した。 【配置数 小学校1校(1人)、中学校1校(1人)】</p>				実 績 値	特別支援教育支援員の配置 16人 学習指導講師の配置 1人 日本語指導講師の配置 2人	
予	算	額	決	算		額	財 源 内 訳
				国	県	支	出
				金	地	方	債
				そ		の	
				他		一	
				般		財	
				源		17,788,015	
18,311,000		17,788,015		0		0	
				0		0	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					遠野わらすっこ「夢の教室」事業費	単位：円
事業内容	<p>「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する事業。 児童の心身の健全な発達に向けて、公益財団法人 日本サッカー協会が取り組んでいるところのプロジェクト「夢の教室」を活用し、現役スポーツ選手やトップアスリート経験者が「夢先生」として、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを伝える授業を行う。</p>			計画値	実施校数 4校 実施回数 10回	
	成果	<p>各小学校では「夢の教室」をキャリア教育の一環として、児童が自分の将来を考えるきっかけづくりの一つとなるよう位置付けて取り組んだ。 児童たちは、夢先生の実体験に基づいた話に感動する姿が見られ、授業前後に実施したアンケートの結果では、授業後に「夢を実現すること」や「自信を持つこと」「失敗してもあきらめないこと」といった前向きな回答が、大幅に増加している。 【実施状況】 遠野小学校、遠野北小学校、宮守小学校（5・6年生） 青笹小学校（5年生）</p>			実績値	実施校数 4校 実施回数 10回
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,472,000	1,304,440	0	0	1,000,000	304,440	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					幼稚園応援事業費	単位：円
事業内容	市内に設置する私立幼稚園を運営する法人に対し、運営費及び就園等にかかる補助金を交付し、幼児教育の振興を図ることを目的とする。			計画値	市内私立幼稚園園児数 1園 57人	
	成果	<p>1 私立幼稚園運営費補助金 5月1日現在の児童数に2,500円を乗じた額に、400,000円を加えた金額を上限額とし、幼稚園環境整備費等について補助金を交付し、運営を支援した。</p> <p>2 私立幼稚園就園奨励費補助金 私立幼稚園に就園する園児の保護者の所得状況に応じて助成し、保護者の経済的負担を軽減した。</p> <p>3 私立幼稚園保育料助成事業補助金 私立幼稚園に児童を通園させている保護者の保育料から上記2の補助金額を減じた額を助成し、市内認定こども園及び保育所に通園させる保護者との経済的負担の均衡化を図った。</p>			実績値	<p>1 補助対象幼稚園 1園</p> <p>2 補助対象園児数（幼稚園就園奨励費） 56人</p> <p>3 補助対象園児数（幼稚園保育料助成） 35人</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
9,966,000	8,874,700	2,421,000	0	0	6,453,700	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費
事業名					単位：円
高校魅力化サポート事業費					
事業内容	<p>平成28年3月に岩手県教育委員会が策定した「新たな県立高校再編計画」の前期計画期間（平成28年～平成32年）において統合予定校とされた遠野高等学校及び遠野緑峰高等学校の2校を存続させ、地域の高校教育の質の維持と中学生の多様な進路希望を実現させることを目的に、「高校魅力化アクションプラン」を策定する。</p> <p>併せて、両校の特徴的な取組に対する各種支援策を実施するとともに、両校の魅力を市内外の中学生、保護者、市民等に広く周知することにより、入学者数の増加につなげる。</p>			<p>高校魅力化アクションプランの策定</p>	
	<p>1 高校魅力化アクションプランの策定 中学生及び保護者対象のアンケート調査結果の分析により、進学や進路に関する意向の現状等を把握し、遠野市総合計画審議会、遠野市総合教育会議、高校再編を考える市民会議等での意見を取り入れ、「高校魅力化アクションプラン」を策定した。</p> <p>2 両校の活動や魅力の周知に関する取組への支援 中学生や保護者への積極的な情報提供を行うとともに、中高生同士の交流や両校の新たな魅力の創出に関する取組への支援を行った。</p> <p>(1) 高校説明会の早期開催 (2) 両校の魅力紹介プロモーションビデオの作成業務委託 (3) 両校の一日体験入学への支援（中学生参加に係る送迎バス特別運行） (4) 高校生出前講座の実施、中学校文化祭への高校生の参加 (5) 両校の文化祭の周知支援（新聞折込チラシ配布、ケーブルテレビでの紹介） (6) 両校応援モバイルサイト「学び場遠野」の作成及び公開業務委託 (7) 地域学習やスマートフォンを活用した授業カリキュラムの検討、準備 (8) 小学校・中学校・高校教職員の授業交流会の実施 (9) 学力向上対策先進地視察研修（秋田県東成瀬村）の実施</p>			<p>高校魅力化アクションプランの策定</p> <p>両校応援モバイルサイト作成及び公開業務委託</p> <p>映像記録撮影業務委託並びに高校の魅力発信画像及び映像収集・記録業務委託</p>	
成果				実績値	
予	算	額	決	算	額
				財源内訳	
				国	県
				支	出
				金	
				地	方
				債	
				そ	の
				他	
				一	般
				財	源
2,000,000	1,258,684	0	0	0	1,258,684

10款	教育費	01項	教育総務費	03目	教育研究所費
事業名					単位：円
学力向上対策事業費					
事業内容	<p>「知・徳・体」のうち「知・徳」に関する事業。 児童生徒等の学校生活に関する教育相談等の担当として、教育相談員を配置する。</p> <p>市内小中学生（小2～中3）を対象にして、標準学力検査（NRT）及び知能検査を実施する。その結果をもとに各中学校区で研究部会を開催し、課題の解決に向けての調査、研究及び発表を行い、各学校へ還元する。</p> <p>教育課程に関する実践研究を行い、その成果は学校公開の場で発表し、その成果を市内小中学校へ還元する。</p>			計画値	標準学力検査及び知能検査の実施 1回
					教育相談員の配置 4人
成果	<p>中学校区ごとの授業改善のための「2つの視点」に基づき、小中学校が連携した授業改善を図り、教員の「一人一授業」の評価研修等に取り組んだ。</p> <p>市内3校において学校公開研究会を開催したほか、1月には研究成果を中学校区ごとに発表し合い、研究授業の成果を皆で共有した。また、先進地である秋田県東成瀬村の小中学校の授業の様子を視察することで、教員の意識改革が進んでおり、徐々に授業の質向上につながっている。</p> <p>遠野市教育研究所及び市内3中学校に教育相談員を配置し、生徒や保護者の教育相談を通して不安や悩みの解消に努めた。また、適応指導教室を設置し、学校への登校が困難な生徒に対して、学校復帰に向けた支援を行うとともに、卒業に向けての進路指導等を行った。</p>			実績値	標準学力検査及び知能検査の実施 1回
					教育相談員の配置 4人
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳	
				国 県 支 出 金	地 方 債
21,744,000		19,742,000		0	0
				そ の 他	一 般 財 源
				0	19,742,000

10款	教育費	01項	教育総務費	03目	教育研究所費
事業名					単位：円
特定教科集中対策事業費					
事業内容	<p>市内中学校に、教育委員会が指定する特定教科（平成28年度は数学）の学習支援を行うための特定教科学習支援員を配置する。</p> <p>特定教科学習支援員は、教科担当教諭と協力して、生徒の学習状況を具体的にとらえ、適切な指導・助言を行い、効果的な学習活動が展開できるよう授業のサポートを行う。</p>			計画値	特定教科学習支援員の配置 3人
成果	<p>市内中学校に1人ずつ特定教科学習支援員を配置し、1年生を中心とした数学の授業においてチームティーチングを行い、生徒一人ひとりの理解度に応じた指導が実践された。</p> <p>また、授業で学んだ内容の習熟状況を確認するための家庭学習プリントを作成し、生徒が繰り返し取り組むことで、「わかる」から一歩進んだ「できる」状態となるよう学習サポートを行った。</p>			実績値	特定教科学習支援員の配置 3人
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳	
				国 県 支 出 金	地 方 債
3,120,000		3,095,550		0	0
				そ の 他	一 般 財 源
				0	3,095,550

10款	教育費	01項	教育総務費	04目	育英事業費	
事業名					育英事業費	単位：円
事業内容	<p>遠野市奨学資金貸与条例（平成17年遠野市条例第88号）に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって、経済的事由により修学困難な者に対して学資の貸与を行い、有能な人材を育成する。</p> <p>遠野市少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすっこプラン」の子育て支援策として、平成20年度から大学生等の採用枠を23人から30人に拡大している。</p> <p>【貸与額】 高校生 15,000円以内/月 大学生等 40,000円以内/月</p>			計 画 値	新規奨学生採用数 35人 うち大学生等 30人 うち高校生 5人 継続奨学生数 61人 うち大学生等 58人 うち高校生 3人	
	成果	<p>新規奨学生の募集を行い、新たに27人の奨学生を決定し、継続奨学生59人と合わせて86人に奨学金を貸与した。</p> <p>平成29年3月末で、継続奨学生のうち24人が貸与期間を満了した。</p> <p>また、年度当初に2人、年度途中で2人の計4人から、自己都合による貸与辞退の申出があった。</p> <p>【貸付状況】 新規奨学生 11,680,000円 継続奨学生 26,460,000円 計 38,140,000円</p>			実 績 値	新規奨学生決定数 27人 うち大学生等 23人 うち高校生 4人 継続奨学生数 59人 うち大学生等 56人 うち高校生 3人
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
38,260,000	38,178,066	0	0	38,178,066	0	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費	
事業名					通学対策費	単位：円
事業内容	<p>遠距離から小学校に通学する児童のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小友小、附馬牛小、土淵小、宮守小、達首部小、鱒沢小に遠距離から通学する児童を対象に、スクールバス等を運行する。 ・路線バスで遠野北小に通学する松崎地区の児童を対象に、定期券を購入し配付する。 ・上郷小に通学する来内地区の児童の一部を対象に、タクシーを運行する。 ・遠距離（片道4km以上）から通学する児童を対象に、通学費を助成する。 ・教育課程における児童の移動手段としてスクールバスの特別運行を行う。 ・スクールバスを計画的に更新し、児童のより安全な通学に資する。 			計 画 値	<p>スクールバス等の運行 （バス5台、ワゴン3台、タクシー1台、路線バス委託） 遠距離通学費補助金 支給見込児童数 25人 スクールバス更新 1台</p>	
	成果	<p>スクールバス等の運行により、遠距離から小学校に通学する児童の負担の軽減と通学時の安全が図られた。</p> <p>遠距離通学児童のうちスクールバス等の通学対策の対象とならない児童に対しては、遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。</p> <p>学校運営上必要な行事や、市が主催する各種事業等における児童の送迎のため、スクールバス等の特別運行を行い、有効活用を図った。</p> <p>宮守小で使用しているスクールバスを更新し、より安全な通学手段を確保することができた。</p>			実 績 値	<p>スクールバス等の運行 （バス5台、ワゴン3台、タクシー1台、路線バス委託） 遠距離通学費補助金 支給児童数 22人 スクールバス特別運行 許可件数 176件 スクールバス更新 1台</p>
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
35,151,000	33,921,441	3,770,000	10,400,000	0	19,751,441	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費	
事業名					教材整備費	単位：円
事業内容	<p>小学校における教育活動に必要な教材備品及び図書を購入するとともに、パーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。</p> <p>また、国の補助事業を活用し、観察、実験等を通じた理科・算数の効果的な教育活動に資する教材備品を整備する。</p>			計 画 値	<p>教材備品購入 図書購入 パーソナルコンピュータ借上げ 375台 理科・算数教材備品整備 4校</p>	
	成果	<p>教育活動に必要な教材備品の購入や、読書による言語活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためのパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境のさらなる整備充実を図った。</p> <p>また、理科・算数教材備品の整備により、観察、実験等を通じた実践的な教育活動の充実を図ることができた。</p> <p>【主な理科・算数教材備品の整備内容】 宮守小学校：双眼実体顕微鏡、光電池 等 達首部小学校：双眼実体顕微鏡、昆虫標本 等 鱒沢小学校：車輪式距離測定器、月と太陽の位置関係モデル 等 遠野小学校：顕微鏡、生物飼育用具 等</p>			実 績 値	<p>教材備品購入数 64品目 図書購入数 1,540冊 パーソナルコンピュータ借上げ 375台 理科・算数教材備品整備 4校 購入数 29品目</p>
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
14,096,000	13,917,257	479,000	0	400,000	13,038,257	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費																									
事業名					就学援助費	単位：円																								
事業内容	<p>経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、通学費、クラブ活動費、PTA会費、学校病医療費、学校病医療通院費及び学校給食費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。</p>			計画値	支給見込児童数	130人																								
	成果	<p>就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。なお、下記のうち被災児童8人分の就学援助費については、国補助金(10/10)の対象として交付した。</p> <p>【項目及び支給内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費(128人)</td> <td>1,388,480円</td> <td>通学用品費(120人)</td> <td>255,892円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費(128人)</td> <td>241,672円</td> <td>新入学用品費(7人)</td> <td>143,290円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費(30人)</td> <td>782,955円</td> <td>通学費(1人)</td> <td>8,000円</td> </tr> <tr> <td>クラブ活動費(3人)</td> <td>720円</td> <td>PTA会費(89人)</td> <td>288,430円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療費(36人)</td> <td>300,360円</td> <td>学校病医療通院費(15人)</td> <td>18,270円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費(128人)</td> <td>5,255,244円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			学用品費(128人)	1,388,480円	通学用品費(120人)	255,892円	校外活動費(128人)	241,672円	新入学用品費(7人)	143,290円	修学旅行費(30人)	782,955円	通学費(1人)	8,000円	クラブ活動費(3人)	720円	PTA会費(89人)	288,430円	学校病医療費(36人)	300,360円	学校病医療通院費(15人)	18,270円	学校給食費(128人)	5,255,244円			実績値	支給児童数
学用品費(128人)		1,388,480円	通学用品費(120人)	255,892円																										
校外活動費(128人)	241,672円	新入学用品費(7人)	143,290円																											
修学旅行費(30人)	782,955円	通学費(1人)	8,000円																											
クラブ活動費(3人)	720円	PTA会費(89人)	288,430円																											
学校病医療費(36人)	300,360円	学校病医療通院費(15人)	18,270円																											
学校給食費(128人)	5,255,244円																													
予算額	決算額	財源内訳																												
9,017,000	8,683,313	国県支出金	地方債	その他	一般財源																									
		583,258	0	0	8,100,055																									

10款	教育費	02項	小学校費	03目	学校建設費	
事業名					小学校プール整備事業費	単位：円
事業内容	<p>昭和44年に建築され、老朽化の著しい宮守小学校のプールを改築し、児童が安全に、かつ、安心して水泳実習を受けることができる環境を整備する。</p>			計画値	宮守小学校 プール改築工事 設計業務委託 工事監理業務委託	
	成果	<p>平成28年11月に国庫補助金の決定を受けたため、年度内の改築工事及び監理業務の発注が困難であることから、事業費92,255,000円を平成29年度に繰り越した。 学校の意見を取り入れ、児童の動線の確保及び施設管理の効率化を図るとともに、地盤の補強を盛り込んだ実施設計とした。</p>			実績値	宮守小学校 設計業務委託
予算額		決算額	財源内訳			
96,899,000	4,644,000	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		0	4,600,000	0	44,000	

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費	
事業名					通学対策費	単位：円
事業内容	<p>遠距離から中学校に通学する生徒のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠野中、遠野東中、遠野西中に遠距離から通学する生徒を対象に、スクールバス等を運行する。 ・遠距離（片道6km以上）から通学する生徒を対象に、通学費を助成する。 ・教育課程における生徒の移動手段としてスクールバスの特別運行を行う。 			計 画 値	<p>スクールバス等の運行 （バス10台、ワゴン8台） 遠距離通学費補助金 支給見込生徒数 10人</p>	
	成果	<p>スクールバス等の運行により、遠距離から中学校に通学する生徒の負担の軽減と通学時の安全が図られた。</p> <p>遠距離通学生徒のうちスクールバス等の通学対策の対象とならない生徒に対しては、遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。</p> <p>学校運営上必要な行事やクラブ活動等における生徒の送迎のため、スクールバス等の特別運行を行い、有効活用を図った。</p>			実 績 値	<p>スクールバス等の運行 （バス10台、ワゴン8台） 遠距離通学費補助金 支給生徒数 5人 スクールバス特別運行 許可件数 282件</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
47,762,000	47,283,095	0	0	0	47,283,095	

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費	
事業名					教材整備費	単位：円
事業内容	<p>中学校における教育活動に必要な教材備品及び図書を購入するとともに、パーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。</p> <p>教科書の改訂により必要となる教師用指導書及び指導資料を購入し、教員の指導力の向上と生徒の学力の向上に資する。</p> <p>また、国の補助事業を活用し、観察、実験等を通じた理科の効果的な教育活動に資する教材備品を整備する。</p>			計 画 値	<p>教材備品購入 図書購入 パーソナルコンピュータ借上げ 164台 理科教材備品整備 3校</p>	
	成果	<p>教育活動に必要な教材備品の購入や、読書による言語活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためのパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境のさらなる整備充実を図った。</p> <p>教師用指導書及び指導資料を購入し、教員の指導力の向上を図った。</p> <p>また、理科教材備品の整備により、観察、実験等を通じた実践的な教育活動の充実を図ることができた。</p> <p>【主な理科教材備品の整備内容】 遠野中学校：電子てんびん、電気分解・燃料電池実験セット 等 遠野東中学校：天体望遠鏡、電源装置 等 遠野西中学校：電子てんびん、電源装置 等</p>			実 績 値	<p>教材備品購入数 22品目 図書購入数 553冊 パーソナルコンピュータ借上げ 164台 理科教材備品整備 3校 購入数 12品目</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
13,617,000	13,523,018	500,000	0	100,000	12,923,018	

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費																									
事業名					就学援助費	単位：円																								
事業内容	<p>経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、学校病医療費、学校病医療通院費及び学校給食費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。</p>			計画値	支給見込生徒数	115人																								
	成果	<p>就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。なお、下記のうち被災生徒4人分の就学援助費は、国補助金(10/10)の対象として交付した。</p> <p>【項目及び支給内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費(101人)</td> <td>2,200,380円</td> <td>通学用品費(62人)</td> <td>137,517円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費(101人)</td> <td>229,085円</td> <td>新入学用品費(35人)</td> <td>824,250円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費(30人)</td> <td>2,191,652円</td> <td>クラブ活動費(100人)</td> <td>2,080,960円</td> </tr> <tr> <td>生徒会費(101人)</td> <td>216,000円</td> <td>PTA会費(92人)</td> <td>234,000円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療費(12人)</td> <td>73,670円</td> <td>学校病医療通院費(4人)</td> <td>5,520円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費(100人)</td> <td>4,889,624円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			学用品費(101人)	2,200,380円	通学用品費(62人)	137,517円	校外活動費(101人)	229,085円	新入学用品費(35人)	824,250円	修学旅行費(30人)	2,191,652円	クラブ活動費(100人)	2,080,960円	生徒会費(101人)	216,000円	PTA会費(92人)	234,000円	学校病医療費(12人)	73,670円	学校病医療通院費(4人)	5,520円	学校給食費(100人)	4,889,624円			実績値	支給生徒数
学用品費(101人)		2,200,380円	通学用品費(62人)	137,517円																										
校外活動費(101人)	229,085円	新入学用品費(35人)	824,250円																											
修学旅行費(30人)	2,191,652円	クラブ活動費(100人)	2,080,960円																											
生徒会費(101人)	216,000円	PTA会費(92人)	234,000円																											
学校病医療費(12人)	73,670円	学校病医療通院費(4人)	5,520円																											
学校給食費(100人)	4,889,624円																													
予算額	決算額	財源内訳																												
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																									
13,627,000	13,082,658	610,584	0	0	12,472,074																									

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費	
事業名					中学校屋内運動場整備事業費	単位：円
事業内容	<p>遠野東中学校屋内運動場は、昭和63年の旧青笹中学校屋内運動場としての建築後28年が経過していることから、大規模改造工事を実施し、施設の長寿命化を図る。</p>			計画値	遠野東中学校 屋内運動場大規模改造工事 設計業務委託 工事監理業務委託	
	成果	<p>平成28年11月に国庫補助金の決定を受けたため、年度内の大規模改造工事及び監理業務の発注が困難であることから、事業費73,482,000円を平成29年度に繰り越した。 学校の意見を取り入れ、大規模改造により既存の施設のさらなる利活用を図った実施設計とした。</p>			実績値	遠野東中学校 設計業務委託
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
78,018,000	4,536,000	0	4,500,000	0	36,000	

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費	
事業名					プール改修事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	<p>遠野西中学校のプールを改築し、生徒が安全に、かつ、安心して水泳実習を受けることができる環境を整備する。 平成27年11月の国庫補助金の追加決定を受け、平成28年2月から既存プールの解体を開始したため、事業を平成28年度に繰り越した。</p> <p>【事業の概要】 工期 平成28年2月1日から7月29日まで 工事内容 プール改築（25メートル×14メートル、6コース） 附属建物（玄関、更衣室、トイレ、機械室及び用具室）</p>			計画値	遠野西中学校 プール改築工事 工事監理業務委託	
	成果	<p>プール改築工事を実施し、安全かつ安心な教育環境の整備を図った。 プール本体はメンテナンスと長寿命に長けたステンレス製とし、設備配管は点検及び修繕に対応しやすいピット型を採用した。また、生徒の利便性に資するため、温水シャワー設備を設置した。 トイレは汲取り式から水洗式に改修するとともに、清潔感ある洋式トイレを採用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成年月日 平成28年7月29日 ・建築工事 34,411,440円 ・機械設備工事 7,067,440円 ・工事監理業務委託 1,836,000円 ・完成検査申請手数料 18,000円 			実績値	遠野西中学校 プール改築工事 工事監理業務委託
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
43,736,000	43,332,880	26,416,000	7,500,000	0	9,416,880	

10款	教育費	04項	社会教育費	01目	社会教育総務費		
事業名					学びのまちづくり推進事業費	単位：円	
事業内容	1 地区センターを地域社会教育の拠点として、各種の講座を開催する。 2 生涯学習講座や芸術振興事業について業務を委託し、民間活力を活かした生涯学習等の充実を図る。				継続的な講座数 5講座 生涯学習講座の受講者等 4,800人	計 画 値	
	成果	1 各地区センターでちぎり絵や手芸講座など、地域のニーズ把握に努め、各種講座を開催した。 2 生涯学習講座、芸術振興事業に関し業務を委託し、民間活力を活かした事業を推進した。 (1) 生涯学習講座 IT講座、郷土理解講座、絵画教室等 青少年活動サポート事業 少年少女ふるさと発見探偵団 囲碁・将棋教室 (2) 芸術振興事業 美川憲一コンサート(7月31日) 遠野市民センターバレエスタジオ 第39回発表会 遠野少年少女合唱隊 第27回発表会				継続的な講座数 10講座 生涯学習講座の受講者数 4,308人	実 績 値
予		算	額	決	算	額	財 源 内 訳
				国	県	支	出
				金	地	方	債
				所	の	他	一
				源	般	財	源
57,501,000	55,088,671	0	0	24,005,250	31,083,421		

10款	教育費	04項	社会教育費	01目	社会教育総務費	
事業名					若者と女性の活躍推進事業費	単位：円
事業内容	<p>1 青少年育成団体等に対する活動を支援する。 (1)成人式実行委員会 (2)わらすっこまつり実行委員会 (3)青年団体協議会 2 女性団体への活動支援を行う。</p>			計画	<p>1 成人式対象者 250人 2 わらすっこまつり開催 3 記念事業の開催</p>	
	<p>1 青少年育成団体の活動支援 (1)成人式実行委員会 新成人が主体的に式典を運営するために実行委員会を組織し、式典の企画・運営を自ら行うことで新成人としての意識を高め、地域のために活動する意欲の醸成を図ることができた。 (2)遠野わらすっこまつり実行委員会 保育協会をはじめとする関係団体と協力し、様々な遊びや体験を通じて子どもたちの健やかな成長を促す機会を提供することができた。 (3)青年団体協議会 青年団体協議会に補助金を交付し、合併10周年記念式典やスポーツ事業、出会い創出事業への取組を支援した。 2 女性団体の活動支援 女性の視点で地域と暮らしを支える活動に取り組む女性団体に対し補助金の交付や助言・活動支援を行い、活動の活発化を図ることができた。 また、希望郷いわて国体では、郷土料理のお振る舞いを行い、全国からの選手や来場者を歓迎した。</p>				実績	<p>1 新成人参加者 221人 2 遠野わらすっこまつり (他イベントと合同開催) 5,500人 3 合併10周年記念事業参加者数 200人</p>
成果	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,260,000	1,532,124	0	0	240,000	1,292,124

10款	教育費	04項	社会教育費	03目	文化政策費	
事業名					遠野「語り部」1000人プロジェクト事業費	単位：円
事業内容	遠野の豊かな文化を継承・発展させるため、多様なジャンルの「語り部」を遠野の大切な人的文化資源と位置づける。「昔話」「歴史」「郷土芸能」「食」「生業」の5ジャンルの「語り部」を育成し、遠野のにぎわい創りのきっかけとして、交流人口の拡大に貢献する。			計画値	語り部認定者数（累計） 800人	
	成果	平成28年度の認定者数45人（昔話2人、子ども語り部37人、食5人、生業1人）で、累計者数は837人となった。 語り部スクーリングのほか、食の語り部研修会、初心者向けの昔話教室などを開催し、新たな語り部の発掘に努め、計画値を上回ることができた。 また、中心市街地の空き店舗を利活用し、語り部スポットを2カ所開設して語りを披露するなど、中心市街地のにぎわいの創出につなげることができた。			実績値	語り部認定者数（累計） 837人
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,534,000	1,484,596	0	0	0	1,484,596	

10款	教育費	04項	社会教育費	03目	文化政策費	
事業名					遠野文化調査研究費	単位：円
事業内容	<p>遠野の文化を多角的に解明するとともに、次代を担う「人づくり」と未来を見据えた「まちづくり」を推進するため、遠野の文化に関する調査・研究に努める。 また、出版物の刊行やフォーラムの開催などにより、研究成果の公開や啓発を行う。</p>				計画値	<p>遠野文化研究センター活動の参加者数 400人 活動毎の参加者アンケート平均6点以上(11段階中)</p>
	成果	<p>遠野の文化を解明し、広く発信するため次の事業などを実施し、多くの参加者に遠野の文化を発信することができた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 遠野文化フォーラムの開催 平成28年8月21・22日(日・月) 内容：遠野文化賞表彰、遠野遺産・遠野こだわりの「語り部」認定証交付、遠野遺産活用事例発表 講演・シンポジウム「『遠野物語』の新時代」 参加者：380人 市民講座(顧問等による講座・遠野学叢書講座などの土曜講座、金曜夜の読書会、遠野学会など)、開催数：19回、総参加者：447人 出版事業 遠野学叢書：(『三陸文化復興プロジェクト - 遠野1500日の記録』500部、『遠野案内』300部、『上閉伊西部教育資料郷土のすがた』300部)、遠野文化フォーラム報告書：300部 その他 平成29年に生誕150年を迎える郷土史家・台湾人類学者の伊能嘉矩の講座を遠野文化友の会と共催し、郷土研究に大きな足跡を残した伊能の功績を学ぶきっかけ作りを行った。また、貴重な郷土資料をデジタル化し保存するため、ボランティア活動により資料保存に努めた。 				実績値
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
15,743,000	15,118,058	0	0	3,023,368	12,094,690	

10款	教育費	04項	社会教育費	03目	文化政策費
事業名 「遠野市史」編さん事業費					単位：円
事業内容	<p>『遠野市史』『宮守村誌』は、いずれも昭和50年前後の刊行で、発刊から40年以上が経過している。その後の市村合併を含め、市政の大きな変換期をまとめた現代編や通史編の必要性が求められているとともに、歴史的資料や人々の暮らしに関わる資料の散逸、途絶なども懸念される。</p> <p>「永遠の日本のふるさと遠野」として後世に引き継ぐべき資料を収集整理しながら遠野の歴史、文化を総合的にまとめるため、市史の編さんを行う。</p> <p>平成31年度 現代編刊行 平成38年度 通史編刊行 平成39年度 民俗編刊行 遠野南部氏遠野統治400年イベントの開催 平成28～38年度 編さん委員会、資料調査、執筆作業、収集資料を活用した講座などの開催による人材育成を進める。 遠野南部家資料、収集資料を収めた「資料編」は随時刊行する予定。</p>			計画	各年度の事業進捗率100% 下記4項目*（1項目25%）すべてを実施した場合100%と設定 * 市史編さん委員会開催 資料収集、調査 刊行のための実務作業 教育普及・広報
	成果	<p>市史編さん委員会を開催し事業計画の審議、進捗状況の確認等を行った。また、調査研究員により資料収集や古文書解読作業を進めた。人材育成として、市史編さん講座や古文書講座など、遠野の歴史や文化に触れる学習機会を提供し、参加者アンケート結果は高評価であった。</p> <p>1 遠野市史編さん委員会2回開催 5月29日、11月27日 2 調査研究員活動 (1) 現代編担当 会議及び資料収集 17回 (2) 古文書担当 解読会 20回 3 資料調査 (1) 遠野南部家資料調査 2回 (2) 通史編に関する調査 7回 (3) 現代編に関する調査 1回 4 人材育成 (1) 市史編さん講座「中世の東北と遠野」 開催日：7月2日、参加者：64人 (2) 古文書講座「はじめての古文書」（夜の部） 開催日：11月17日、24日、12月1日、参加者：延べ58人 (3) 古文書講座「はじめての古文書」（午前の部） 開催日：1月19日、26日、2月2日、参加者：延べ41人 (4) 古文書整理ボランティア活動 登録者13人、活動回数9回 5 広報活動 市広報12月号で特集、ホームページ等 6 資料収集</p>			実績
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,194,000	2,850,419	0	0	2,616,000	234,419

10款	教育費	04項	社会教育費	04目	図書館博物館費	
事業名					図書館費	単位：円
事業内容	<p>読書普及活動と図書館の利用促進・図書館資料の収集保存・館外奉仕活動と施設貸出の利用促進・自主活動グループへの支援と育成を行なう。 図書館総合システムを活用し、図書館業務の効率化と迅速化を図る。 利用促進につなげるため、広報誌、ホームページ等の情報発信に努める。</p> <p>学校図書館、読書ボランティアとの情報共有をはかるとともに、学校図書館、児童館、福祉施設と連携し貸出につとめ配架図書の普及促進を図る。 移動図書館車の効率的な運行を推進し読書の普及に努める。 貴重な郷土資料、図書館資料の情報収集、整理、保存の適切な管理に努める。 まちなか図書室を活用して市民が読書に親しめる環境づくりに努める。</p>			<p>図書館の利用者数 16,300人 市民への図書貸出冊数 65,200冊 移動図書館車の貸出冊数 11,200冊 学校図書館等への貸出冊数 20,900冊</p>		
	<p>図書の貸出や図書館教室、館内での企画展の開催などの活動を通じて、子どもたちの本に親しむ機会を増やし、読書環境を整備した。 児童を対象にした図書館教室、総合学習のための資料の貸出し、多読者表彰を実施し、図書館の利用と読書普及を図ることができた。 職場体験学習を中高生対象に実施したほか、職場体験研修を受け入れるなど、図書館への関心を高めた。 移動図書館車を巡回し利用者の利便性を図った。 本の読み聞かせなど自主的に活動しているグループに館内外活動の支援として本の貸し出しを実施した。 岩手の読書週間に遠野地区学校図書館協議会と連携して、「読書と子ども」をテーマに講演会等を行い読書活動の推進を図った。 また、台風10号により水損被害を受けた図書資料を用いて、自然災害時などの有事において迅速な資料救出活動を行う人材育成のため「水損資料レスキュー」講習会を実施した。</p>			<p>図書館の利用者数 17,972人 市民への図書貸出冊数 68,528冊 移動図書館車の貸出冊数 11,899冊 学校図書館等への貸出冊数 20,930冊</p>		
成果				実績値		
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
23,641,000	23,149,175	0	0	24,693	23,124,482	

10款	教育費	04項	社会教育費	04目	図書館博物館費		
事業名		博物館費				単位：円	
事業内容	<p>特別展を開催し、遠野の歴史や民俗、文化について市内外に発信し、交流人口の拡大を図る。特別展「金山繁昌 黄金に魅せられた人々」や企画展「加守田章二とその弟子たち」、特別展「遠野のひな人形」を開催する。</p> <p>学校教育に対応した「博物館教室」を開催し、郷土愛の醸成を図り、豊かな人間性を有する人材の育成に努める。 市民対象の講座を開催し、文化に親しむ機会を提供する。 博物館資料の充実を図りながら、資料の収集・整理・保存に努める。</p>				計画値	博物館入館者数 20,000人 博物館講座等の受講者数 950人	
	成果	<p>夏季特別展「金山繁昌 黄金に魅せられた人々」や企画展「加守田章二とその弟子たち」を開催。遠野町家のひなまつりに合わせた特別展「遠野のひな人形」を開催、商工会と連携し中心市街地への集客に努めた。 児童生徒を対象とした博物館教室等を開催し、郷土の歴史、文化、民俗などの学習機会を提供し、市民の学習ニーズに応えた。</p> <p>1 特別展「金山繁昌 黄金に魅せられた人々」(4,694人) 会期 平成28年7月22日(金)～9月19日(月・祝)</p> <p>2 企画展「加守田章二とその弟子たち」(1,810人) 会期 平成28年10月14日(金)～11月23日(水・祝)</p> <p>3 特別展「遠野のひな人形」(1,741人) 会期 平成29年2月10日(金)～3月12日(日)</p>				実績値	博物館入館者数 16,349人 博物館講座等の受講者数 1,131人
予算額		決算額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
15,492,000	14,860,448	0	0	6,283,134	8,577,314		

10款	教育費	04項	社会教育費	04目	図書館博物館費		
事業名		ブックスタート事業費				単位：円	
事業内容	<p>市内に生まれた赤ちゃんとその親、家族が本を通じたふれあいの中からお互いに幸せを感じ成長するための機会をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生まれた時から、本とふれあうことにより本に興味をもってもらう。 ・絵本、袋の配布 ・対象1歳児 ・ボランティアグループによる絵本等の読み聞かせ ・遠野市立図書館の利用案内 				計画値	読み聞かせ回数 12回 対象者 180組	
	成果	<p>健康福祉の里において、1歳児健康相談時に本等の配布を実施した。参加できなかった対象者へは、後日、民生児童委員を通じての配布を実施した。</p> <p>対象者 164組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1歳児健康相談時に配布 140組 ・民生児童委員による配布 24組 ・対象者に対する配布率 100% <p>1歳児健康相談時に絵本等の読み聞かせ、本の紹介、図書館への利用の促進を図ることができた。 少子化により対象者は微減しているものの、本を手にとって身近に活用できることから好評を得ている。</p>				実績値	読み聞かせ回数 12回 対象者 164組
予算額		決算額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
400,000	399,176	0	0	317,000	82,176		

10款	教育費	04項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					文化財調査保護費	単位：円
事業内容	文化や歴史を物語る貴重な文化財の調査・保護、啓蒙により、文化の向上を図る。 1 指定文化財及び一般文化財の調査、保護啓蒙の実施 2 民俗芸能の育成			計 画 値	民俗芸能の映像記録件数 平成28年度 24件（累計）	
	成果	「旧遠野寶物館」の調査を実施し国の登録文化財として価値付けを行なうと共に、「鞍迫観音堂算額」の調査を実施し県指定有形文化財として指定を受けた。指定文化財「青笹のエゾエノキ」の樹勢回復事業を実施して文化財の保護を図るとともに、「田屋の大杉」「早池峯神社黒門」「旧遠野寶物館」の文化財説明板3基を更新・新設して周知に努めた。 また、郷土芸能の保存育成を目的として、「細越しし踊り」「一日市南部ばやし」「白山神楽」「塚沢神楽」の4団体に対し、備品整備費用を補助した。活動支援を目的として「郷土芸能共演会」「神楽共演会」に支援を行った。			実 績 値	指定・登録 2件 文化財保護 2件 郷土芸能備品補助 4件 郷土芸能活動補助 2件 文化財説明板設置件数累計 93基 民俗芸能映像記録件数累計 24件
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,919,000	3,602,225	0	0	1,540,000	2,062,225	

10款	教育費	04項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					埋蔵文化財発掘調査費	単位：円
事業内容	緊急開発に伴う発掘調査、埋蔵文化財分布調査・試掘調査・調査整理作業・調査報告書作成により各種開発事業の円滑な実施と埋蔵文化財の保護・活用を図り文化の向上に資する。			計 画 値	発掘調査等 1式 調査報告書作成 1式 文化財教室 2回	
	成果	各種開発行為に伴う埋蔵文化財の取り扱いについて調整し、開発行為が遺跡に該当した場合、試掘調査を行い円滑な事業の実施と埋蔵文化財保護に努めた。また、個人住宅建築に伴い「和山遺跡」の発掘調査を行って、消滅する遺跡の記録保存を図った。 公開活用を視野に市内遺跡出土遺物のデータベース作成を推進するとともに、企画展「佐比内鉄鉱山遺跡展」「ミニひな祭り展」を開催し調査成果を公開した。 「縄文土器作り教室」「勾玉作り教室」の文化財教室を開催し、埋蔵文化財に関する知識の普及啓蒙に努めた。			実 績 値	遺跡照会回答数 142件 試掘調査 9件 本発掘調査 1件 データベース入力 7遺跡分3,022件 企画展開催 2回 埋文教室開催 4回 (参加者151人)
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9,896,000	9,854,912	2,400,000	0	22,000	7,432,912	

10款	教育費	04項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					遠野遺産認定事業費	単位：円
事業内容	<p>市民から推薦される地域の文化的資産を「遠野遺産」として認定し、光を当て、遺産をめぐる活動を支援することにより、市内にある文化的遺産、自然遺産を市民協働で次世代に守り伝え、活気ある地域づくりを推進する。活動の支援は、市民協働課との連携により、活動に対する補助金の適用、活動に対する助言等を行う。</p>			計 画 値	<p>認定件数 6件 ガイドブック作成 3,000部 遠野遺産標示板設置 3基</p>	
	<p>新規の遺産6件（新里の愛宕神社・卯子酉神社・程洞稻荷神社・長岡大日神社・鷹鳥屋獅子踊り・下同心丁枡形と法華題目の碑）を認定し、累計数が149件となった。 遠野遺産表示板等の設置、ガイドブック作成、広報遠野、視察・学習会対応を通じた周知・情報発信に努め、遺産保護活動が促進された。 また、みんなで築くふるさと遠野推進事業を活用した環境整備事業等（鍋倉城跡、能傳坊神社、八坂神社、小友町裸参り、加茂神社、遠野南部ばやし、綾織駒形神社、新山神社、菅原神社、山口の薬師堂、行山流湧水鹿踊、一日市のお雛見）が実施され、市民協働の地域づくりが推進された。</p>				<p>認定件数 6件 ガイドブック作成 3,000部 遠野遺産表示板設置 3基 視察・学習会対応 6件</p>	
成果	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,403,000	1,299,282	0	0	1,000,000	299,282

10款	教育費	04項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					重要文化財千葉家住宅整備事業費	単位：円
事業内容	<p>国指定重要文化財千葉家住宅を今後100年保存活用していくため、保存修理工事を実施し、それにあわせて防災施設整備計画及び整備活用基本計画の策定に向けて、各種調査、有識者及び市民の意見聴取のための委員会等を開催する。事業の周知及び完成後に活用するため、整備事業の映像記録を行う。</p>			<p>保存修理工事 八セ小屋全解体、便所・鳥小屋全解体、土蔵、石蔵一部解体、共通仮設工事 防災施設調査 一式 整備活用調査 一式 整備事業映像記録 一式</p>		
	<p>1 保存修理工事 土蔵は1階床板の解体、石蔵は後補の腰壁モルタル塗の解体を行った。八セ小屋は部材の調査を行いながら全解体を行った。納屋は庇の一部を解体した。主屋及び土蔵の解体のための足場設置のため、外便所及び鳥小屋を解体した。解体部材の保存小屋を2棟設置し、防災道路からの仮設鉄橋を設置するなどの工事を実施した。</p> <p>2 整備活用基本計画の策定作業等 重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を2回、復原ワーキンググループを2回開催し整備に関して検討した。また、市民組織である重文千葉家の活用を考える会や高校生を交えて学習会等を行ったほか、周辺地域の建物等の各種調査を実施した。整備事業に関する映像記録を行った。</p> <p>3 防災施設整備調査 消火配管埋設位置掘削調査、稲荷社裏岩石ボーリング調査、避雷針接地抵抗調査、各種設備に関する調査を実施し、計画の素案をまとめた。</p>			<p>保存修理工事 八セ小屋全解体、便所・鳥小屋全解体、土蔵、石蔵一部解体、共通仮設工事 防災施設調査 一式 整備活用調査 一式 整備事業映像記録 一式</p>		
成果				実績値		
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
62,331,000	59,696,827	34,794,000	14,400,000	0	10,502,827	

10款	教育費	05項	保健体育費	01目	保健体育総務費	
事業名					競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	単位：円
事業内容	<p>多くの市民がスポーツを通じて健康増進と豊かなライフスタイルを実現できる環境の整備・充実を図る。 児童・生徒の健全育成を目的に、スポーツ少年団の育成と活動を支援し、専門的指導者によるジュニアスポーツのレベルアップに努める。 スポーツ指導者の育成に努めるとともに、各種スポーツイベントを開催する。</p>				計画値	遠野じんぎすかんマラソン参加者 1,400人 スポーツ団体運営等補助 3団体
	成果	<p>第34回目となる「日本のふるさと遠野じんぎすかんマラソン」を8月28日に開催した。当日は、ホップ収穫祭も開催され、参加ランナーも気軽に足を運ぶなど市街地の活性化に寄与した。 児童・生徒の健全育成を図るため、スポーツ少年団の育成と活動を支援し3単位団が全国大会に出場するとともに、専門的指導者によるジュニアスポーツのレベルアップに努めた。 市内スポーツ大会の開催や競技団体の育成を図るため、遠野市体育協会を支援した。 また、トップアスリートの育成に定評のある指導者を招いてのスポーツ講演会を開催し、多くの参加者が指導法について学んだ。 国民体育大会には、7種目（サッカー、空手道、陸上、ソフトボール、ボクシング、馬術、スケート）に遠野市在住、在学、在勤等の選手13人が出場した。</p>				実績値
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
15,190,000	14,749,482	0	0	0	14,749,482	

10款	教育費	05項	保健体育費	02目	学校給食費	
事業名					学校給食事業費	単位：円
事業内容	<p>市内の児童生徒に対し、適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図るとともに、伝統的な食文化と日常生活における食事について正しい理解を深め、望ましい食習慣を養成すること、好ましい人間形成等を目標として学校給食を実施する。</p> <p>学校給食の実施にあたっては、遠野産の食材を使用し地産地消を推進するとともに、衛生管理を徹底し安全安心でおいしい給食の提供に努める。</p> <p>給食実施校数 小学校 12校（うち1校は特別支援学校） 中学校 4校（うち1校は特別支援学校） 給食供給人数 2,232人 年間給食実施回数 小中学校168回</p>			計 画 値	年間給食実施回数 168回 米飯回数 126回 パン回数 42回 学校給食食材に占める地場産物使用割合 65.5%	
	成果	<p>遠野産の食材を積極的に使用し、地産地消の推進と消費拡大を図るとともに、栄養バランスのとれたおいしい給食を安全かつ確実に提供することができた。また、国体おもてなしメニューを給食に取り入れ、多彩なメニューを提供した。</p> <p>アレルギー専用設備と人員配置により、アレルギーのある児童生徒に対し、主菜の代替食を継続して提供した。</p> <p>今年度から交流すまいる給食を実施し、給食食材の生産者や関係者との共食を通して、食文化や地域の農産物への理解など食育の推進に努めた。</p> <p>学校給食の試食の機会をPTAや学校関係者だけでなく、一般の方にも提供し、試食後のアンケートをその後の学校給食献立に反映させることができた。</p>			実 績 値	年間給食実施回数 168回 米飯回数 126回 パン回数 42回 学校給食食材に占める地場産物使用割合 67.6%
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
209,690,000	208,615,803	0	0	101,405,629	107,210,174	